取扱説明書

HITACHI

日立デジタルレコーダー

ＤＳ-Ｈ４０形

このたびは日立デジタルレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

特　長

■ **高画質**
JPEG圧縮方式によるデジタル方式の採用により、水平解像度400本以上の高画質を実現。

■ **長時間録画**
大容量ハードディスクドライブ内蔵により、長時間の記録が可能。

■ **多彩な記録モード**
画質設定　4モード　　記録間隔設定　20モードの設定が可能。
通常のフレームスイッチャ記録に加え、アラーム／タイマー記録と多彩な設定で用途に合った記録が可能。

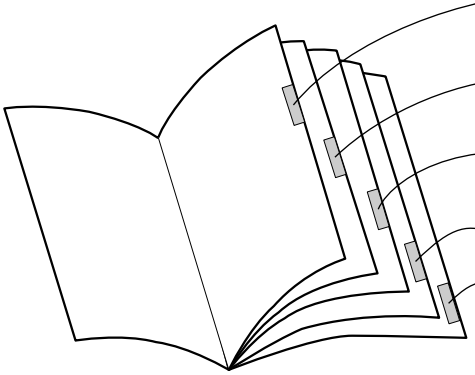
■ **多彩なアラーム記録機能**
3モード
プリアラーム記録
ポストアラーム記録

■ **8入力マルチプレクサ機能**
リアルタイム監視においても、10分割画面／4分割画面／1画面表示可能。
自動切換え可能。
再生においても、10分割画面／4分割画面／1画面表示可能。

■ **多彩な検索機能**
- タイムデートサーチ
  見たい場面を日付、時刻から頭出し可能。
- アラームサムネール（アラーム検索）
  アラームがあった場面をすばやくサムネール表示し容易な検索が可能。
- タイムシェアサムネール（時分割検索）
  決定的瞬間を、日→時間→分→秒と絞り込んで探し可能。
  サムネール表示で検索が容易。

■ **PCMCIAインターフェースを介した録画情報のバックアップ機能**
PCカードによる録画情報のバックアップ。

この取扱説明書の構成



はじめに　各部のなまえ、接続のしかた、電源について説明してあります。

基本の使いかた　マルチ画面で見る方法やオートスイッチャー機能の使いかたが説明してあります。

録る・見る　本機の特長を活用した記録方法、再生方法などが説明してあります。

便利な使いかた　タイマー記録や、記録した内容のデータを検索する方法が説明してあります。

ご参考・その他　アフターサービスなどを説明してあります。

■ **表記の約束**

⚠警告
⚠注意

……安全に関する表記です。
4〜8ページをよくお読みください。

お知らせ ……操作上、お守りいただきたいことが書いてあります。

……参照ページです。

メモ ……操作上のアドバイスです。

Windows®は米国Microsoft Corp.の登録商標です。

もくじ

特　長 2
この取扱説明書の構成 2
安全にお使いになるためのご注意 4
使用上のご注意 9

はじめに

各部のなまえ 10
メニュー画面で選べる設定について 12
表示のかえかた 13
接続のしかた
　CONTROL端子にコードをつなぐ 14
　CONTROL端子の機能 15
　電源を入れる 16
　リセットのかけかた 16
　補助電源コンセントの使いかた 16

基本の使いかた

停電したとき 17
日付・時刻を合わせる、
　時刻更新の基準信号を選ぶ 18
モニター画面の見かた 20
1画面にして見る（フル画面表示） 21
マルチ画面で見る（4分割、10分割表示） ... 22
映像を自動的に切り換える
　（オートスイッチャー機能） 26
10分割表示でオートスイッチャー
　機能を働かせる 27
4分割表示でオートスイッチャー
　機能を働かせる 28

録る・見る

録る（記録）
記録する（タイムラプス記録） 29
繰り返し記録する（リサイクル機能） 35
見る（再生）
再生画面の種類 38
再生のしかた 39
再生スピードを変える 40
いろいろな再生 41
　見たい場面を止めて見る（静止画再生） 41
　画像を見ながら見たい場面を探す
　　（早送り再生／早戻し再生） 41
　逆の動きで見る（逆転再生） 42
　ゆっくりとした速さで見る（コマ送り再生） ... 42
　逆の動きをゆっくり見る（逆転コマ送り再生） 42
特に注目したい再生画を大きく表示する 43

便利な使いかた

タイマー記録をする 44
　タイマー記録の流れ 44
　タイマー予約画面について 44
　タイマー予約の設定 45
　タイマー予約する 49
　タイマー予約の訂正のしかた 50
　こんなときは… 50
アラーム記録をする 51
　アラーム設定画面について 52
　設定のしかた 53
　アラーム入力があると 56
スイッチャーの切り換わりタイミングを設定する 58
チャンネルスキップ
　（フル画面／10分割表示のとき） 59
間隔を調節する（4分割表示のとき） 60
カメラ番号を表示する
　タイトルを設定する 61
4、10分割表示の中心を、
　モニター画面の中心に合わせる 64
4分割表示の水平位置を微調節する 65
検索ボタンの使いかた 66
見たい場面を、日付・時刻から頭出しする
　（タイムデートサーチ） 67
アラーム検索をする 69
指定した場面を時間・分・秒で検索する
　（時分割検索） 72
RS-232C設定について 75
CONTROL端子の出力を設定する 80
LAN接続の設定をする 82
PCカードを使う 84
PCカードにデータをアップロードする 85
LAN機能を使う 87
誤操作を防ぐ（モードロック機能） 88
ハードディスクの残量がなくなると 89

ご参考・その他

故障かな…と思ったら 90
メッセージについて 94
ラックに取り付ける 95
保証とアフターサービス 96
別売品のご紹介 97
仕　様 98
日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表 99

安全にお使いになるためのご注意

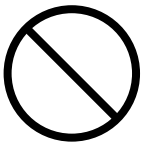
この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

表示について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害（※2）を負う可能性が想定される」内容および「物的損害（※3）のみの発生が想定される」内容を示しています。

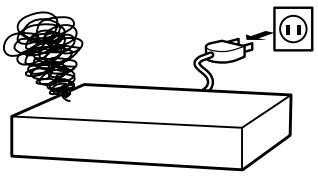
※1重傷 ..... 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害 ..... 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3物的損害..... 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

注意	この記号は、気をつけていただきたい**「注意」**内容です。	接触禁止	この記号は、手を触れてはいけない**「接触禁止」**を表しています。
 禁止	この記号は、してはいけない**「禁止」**内容です。	ぬれ手禁止	この記号は、**「ぬれた手で扱うことを禁止する」**ことを表しています。
水ぬれ禁止	この記号は、**「水にぬらすことを禁止する」**ことを表しています。	強制	この記号は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。
分解禁止	この記号は、**「分解禁止」**を表しています。	プラグを抜く	この記号は、コンセントから**「電源プラグを抜く」**ことを表しています。

⚠警告

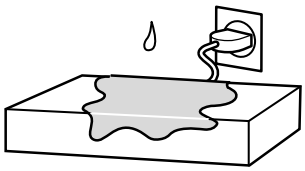
煙が出ている、へんな臭いがするなど異常なときは、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 異常状態に気づいたらすぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水にぬらさない



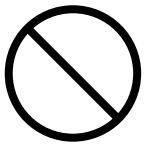
内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

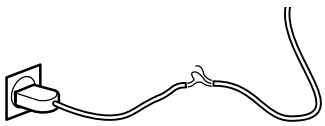
- 内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重いものや角が鋭利なものを乗せない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- たばねない
- 敷物などでおおわない

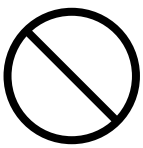


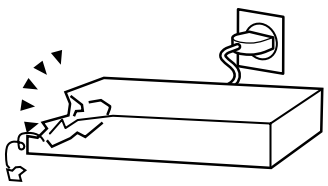


破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、コードが破損したときは、電源プラグをコンセントから外して販売店にご相談ください。

落としたり､キャビネットを破損しない

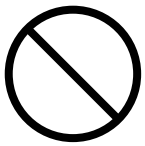


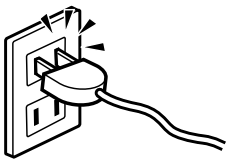


落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても内部に異常がある場合があります。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

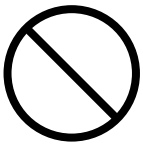
電源プラグが不完全な接続のまま使わない

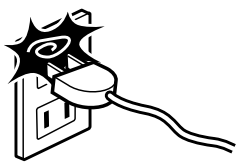




接触不良で発熱し、火災の原因となります。

電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない



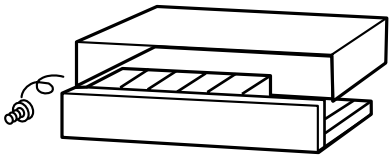


電源プラグに異物が付着したまま使用すると発熱し、火災・感電の原因となります。

- 万一、付着しているときは、電源プラグをコンセントから外し、取り除いてください。

⚠警告

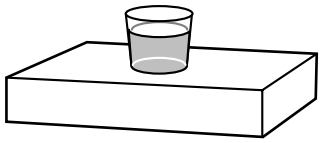
分解・改造しない、カバーを開けない



分解・改造すると、火災・感電の原因となります。

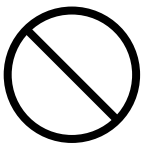
- カバーの内部には電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

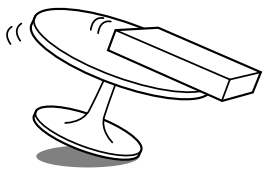
水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない



本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。火災・感電の原因となります。

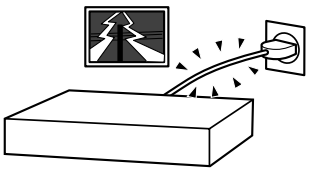
不安定な場所に置かない





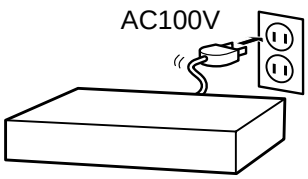
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

雷がなるときは電源コードに触れない



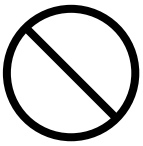
雷が鳴り始めたら、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

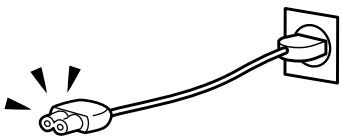
表示された電源電圧で使用する



表示された交流１００ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

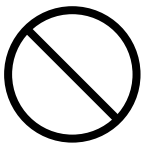
電源コードだけをコンセントに差し込んだままにしない

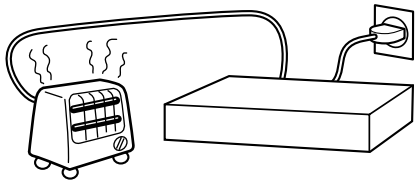




電源コードだけを、コンセントに差し込んだまま放置しないでください。火災･感電の原因となります。

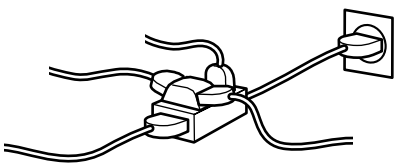
補助電源コンセントに熱器具などをつながない





消費電力表示を超える機器（熱器具など）の電源コンセントとして使わないでください。火災の原因となります。

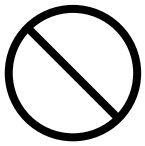
タコ足配線しない

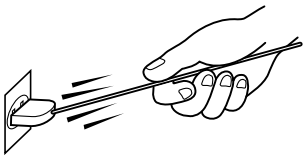


タコ足配線しないでください。火災・過熱の原因になります。

⚠注意

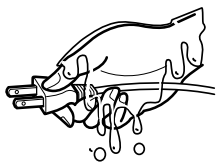
電源コードを持って抜かない





電源コードを持って引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

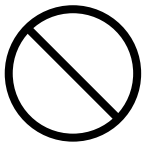


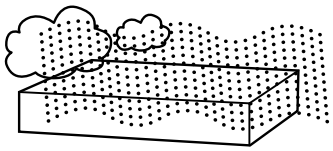
ぬれていると感電する原因となることがあります。

湿気、ほこり、湯気は避ける
振動が激しい場所は避ける

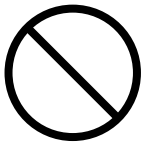
火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。

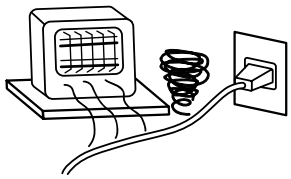
- 湿気やほこりの多い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 温風または冷風が当たる場所
- 振動が激しい場所





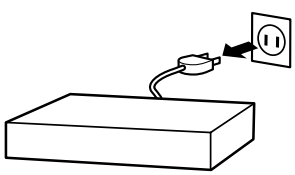
電源コードを熱器具に近づけない





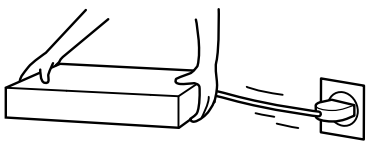
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

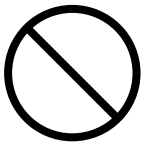
移動させるときは注意する

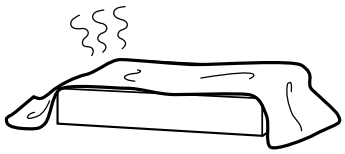


移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。外さないで移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

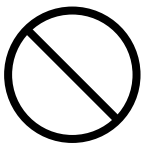
通風孔をふさがない

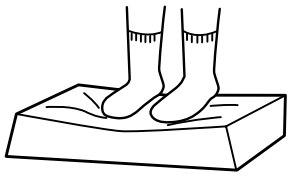




通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機を専用のビデオラック以外の本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。

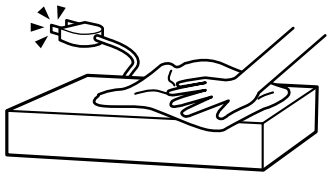
本機の上に乗らない





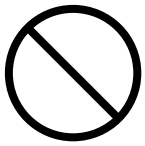
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

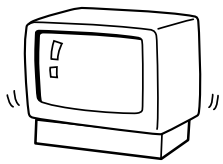
お手入れするときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の上に重いものを置かない





本機の上に重いものやテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

保守点検について

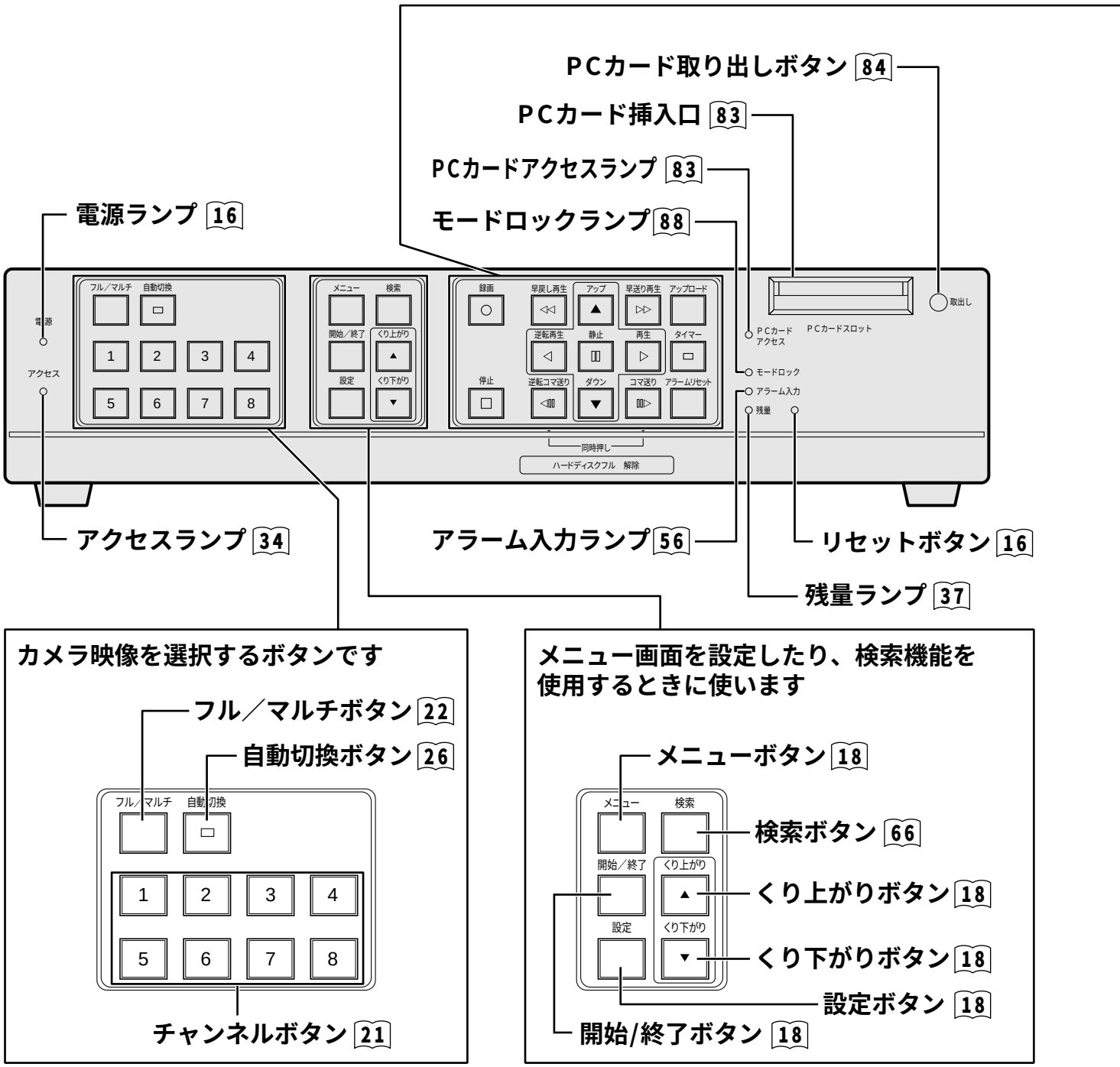
保守点検を販売店などにご相談ください。長い間掃除しないと本機内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店などにご相談ください。

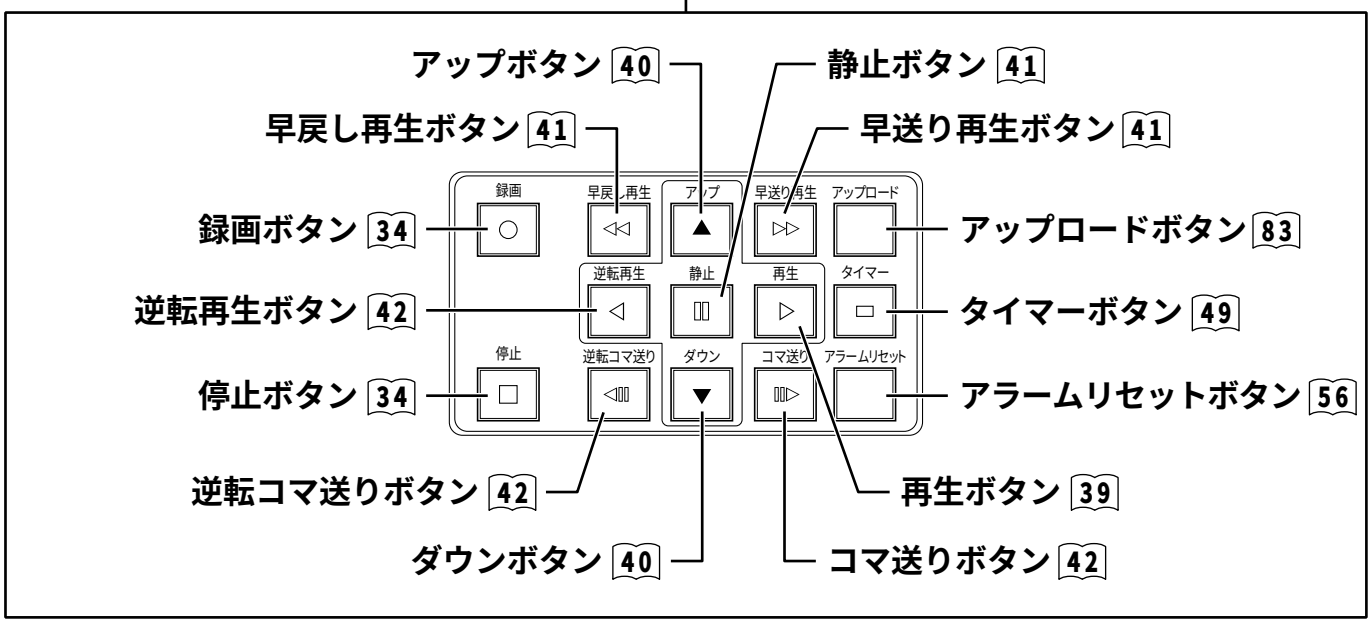
使用上のご注意

ラジオの近くに置かない	● 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ ブー ”というハム音がでることがあります。本機から離してご使用ください。
直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない	● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
本機の上にものを置かない	● キャビネットが変形したり､内部の温度が上昇して故障の原因になります。
熱を発するものの上に、本機を置かない	● 内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。
通風孔や放熱ファンをふさがない	● 内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。壁などに近づけて放置しないでください。 ● 本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。
強力な磁気のあるところに置かない	● 磁気の影響を受けて映像が乱れたり､故障の原因となることがあります。
接続機器の取り扱いについて	● 本機に接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくお読みください。
お手入れについて	● 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ● キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ● キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ● キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
電源コードを抜いたあと、すぐに移動しない	● 本機の移動は、電源を抜いて30秒以上たってから行ってください。 ハードディスクの故障の原因となります。
温度差のある場所への移動に注意する **※表面や内部に水滴がつくことを結露といいます。**	● 特に、移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露が生じることがあります。結露したまま使用すると、ハードディスクの故障や、火災・感電の原因となります。 ● 温度差のある場所へ移動した場合には、使用する場所で数時間そのまま放置してからご使用ください。
本機に強い衝撃を与えない	● 本機は精密機器です。落としたりして強い衝撃を与えると、故障の原因となることがあります。 ● 輸送するときは、付属のカートン、または同じようなもので梱包し、本機に衝撃を与えないようご注意ください。
激しい振動のあるところで使わない	● 本機は精密機器です。激しい振動を与えると故障の原因となることがあります。
縦置きはしない	● 本機は、水平位置で使用するように設計してあります。垂直にしたり、極端に傾けての使用は避けてください。
外国では使わない	● 本機は日本国内用です。外国では信号方式、電源電圧が異なりますので使用できません。 ● <This video product can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。	
本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。	

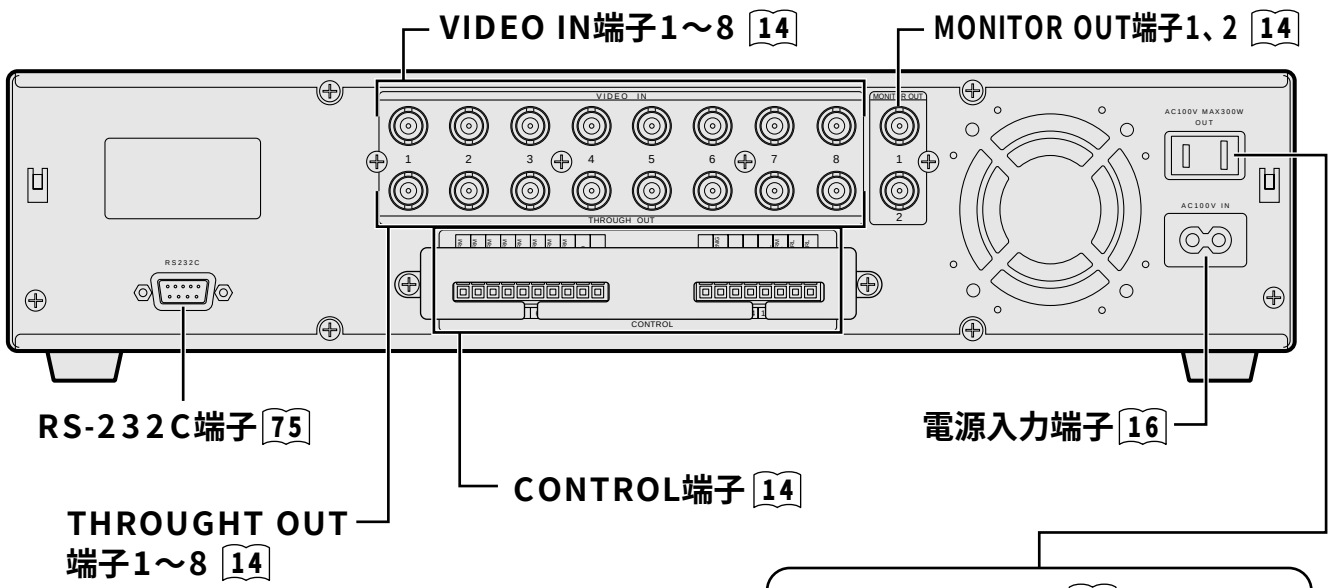
各部のなまえ

前 面


PCカード取り出しボタン 84
PCカード挿入口 83
PCカードアクセスランプ 83
モードロックランプ 88
電源ランプ 16
フル／マルチ
自動切換
メニュー
検索
録画
早戻し再生
アップ
早送り再生
アップロード
開始／終了
くり上がり
逆転再生
静止
再生
タイマー
設定
くり下がり
停止
逆転コマ送り
ダウン
コマ送り
アラーム/リセット
1
2
3
4
5
6
7
8
電源
アクセス
PCカード
アクセス
PCカードスロット
取出し
モードロック
アラーム入力
残量
同時押し
ハードディスクフル 解除
アクセスランプ 34
アラーム入力ランプ 56
リセットボタン 16
残量ランプ 37
カメラ映像を選択するボタンです
フル／マルチボタン 22
自動切換ボタン 26
チャンネルボタン 21
メニュー画面を設定したり、検索機能を
使用するときに使います
メニューボタン 18
検索ボタン 66
くり上がりボタン 18
くり下がりボタン 18
設定ボタン 18
開始/終了ボタン 18



後 面

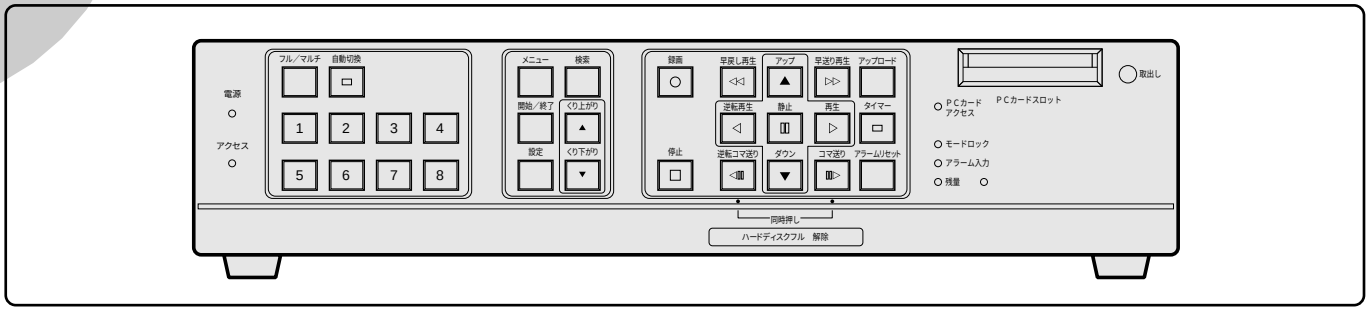


補助電源コンセント 16

⚠警告

補助電源コンセントは最大300Wです。300Wを超える機器（熱器具など）は絶対に接続しないでください。火災の原因となります。

メニュー画面で選べる設定について



通常画面（第1〜第3画面） 13

```
01-01-01 00:00:    ⊡0.03
```

- 日付・時刻のほか、録画モードなどを表示します。

① 日付・時刻設定画面 18

```
[CLOCK SET]

01-01-01  MON
 0:00:
          AC
```

- 日付・時刻合わせと、時刻の更新に用いる基準となる信号を設定する画面です。

② 記録チャンネルパターン設定画面 29

```
[REC CHANNEL]

          12345678
CASE A:   ○○○○○○○○
CASE B:   ○○○○××××
CASE C:   ××××○○○○
CASE D:   ○×××××××
```

- 記録するチャンネルパターンを設定する画面です。

③ 記録モード設定画面 31

```
[REC MODE SET]
INTERVAL:     0.03
P.QUALITY:    FINE
(SIZE:        704X240)
(REC TIME:    11h    )
REC CHANNEL:  A

[RECYCLE FUNCTIONS]
  STOP IF ALARM
```

- 記録間隔／画質の設定をする画面です。
- リサイクル機能もこの画面で設定してください。

④ タイマー予約画面 44

```
[1] A 0:00 →  0:00 0.03
[2] A 0:00 →  0:00 0.03
[3] A 0:00 →  0:00 0.03
[4] A 0:00 →  0:00 0.03
[5] A 0:00 →  0:00 0.03
[6] A 0:00 →  0:00 0.03
[7] A 0:00 →  0:00 0.03
MON:*,* TUE:*,* WED:*,*
THU:*,* FRI:*,* SAT:*,*
       SUN:*,*
```

- タイマーを録画する時間帯および、曜日ごとにどの時間帯でタイマー録画するかを予約する画面です。

⑤ アラーム設定画面 52

```
[ALARM SET]

MODE:              1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE·POST: 0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

- アラーム入力されたときの録画条件を設定する画面です。

⑥ オートスイッチャー設定画面 58

```
[AUTO SW SET]

FULL/MULTI AUTO SW
 CH1:    1s  CH2:    1s
 CH3:    1s  CH4:    1s
 CH5:    1s  CH6:    1s
 CH7:    1s  CH8:    1s
QUAD AUTO SW
 QUAD A:        1s
 QUAD B:        1s
```

- 自動切り換えの時間を設定する画面です。

⑦ タイトル設定画面 61

```
[TITLE SET]
 TITLE:      OFF
  CH1:         1
  CH2:         2
  CH3:         3
  CH4:         4
  CH5:         5
  CH6:         6
  CH7:         7
  CH8:         8
```

- タイトルを設定する画面です。

⑧ ポジション設定画面 64

```
[POSITION SET]

CENTER POSITION

SCREEN POSITION
```

- １０分割・４分割の中央の位置を設定する画面です。

⑨ RS-232C/CONTROL端子設定画面 75

```
[RS-232C SET]
BAUD RATE:      1200BAUD
(DATA LENGTH:   8BIT)
(PARITY BIT:    NONE)
(STOP BIT:      1BIT)

 [REAR CONTROL PIN SET]
WARNING OUT:ACTIVE CLOSE
```

- RS-232Cに関する設定をする画面です。
- CONTROL端子の出力を設定する画面です。

⑩ LAN設定画面 82

```
[LAN SET] L

IP ADDRESS
 000.000.000.000
SUB NET MASK
 000.000.000.000
```

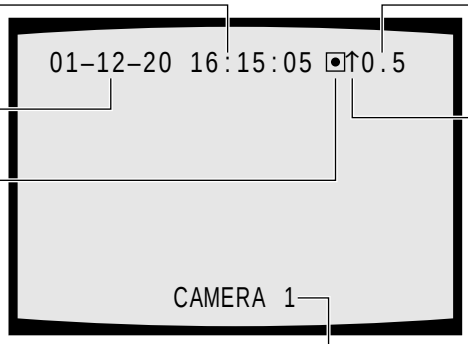
- LANに関する設定をする画面です。

お知らせ

- メニュー画面①〜⑩で表示している選択内容は、工場出荷時の設定です。

表示のかえかた

電源が入っているときの通常画面表示は、次のようになります。フル画面表示（21）で説明しています。



時刻表示（時、分、秒）
- 本機の時刻は24時間表示です。午後4時は16時になります。

日付表示（年、月、日）
年は西暦（2桁）で表示されます。

状態表示

●	記録中
❚❚	一時停止中
▶	再生中
◀	逆転再生中
▶❚	コマ送り中
❚◀	逆転コマ送り中
▶▶	早送り再生中
◀◀	早戻し再生中
■	停止中

記録間隔表示

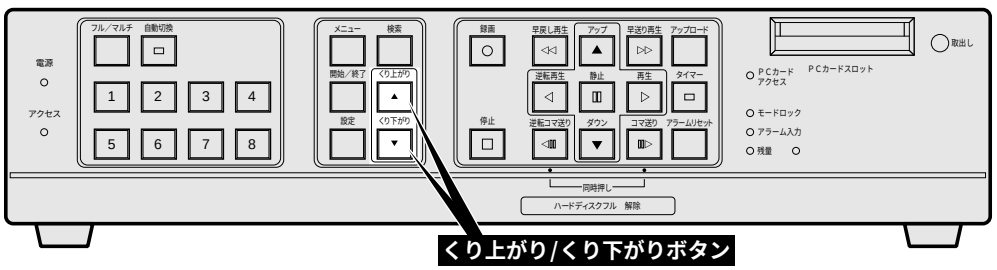
再生状態表示

=	記録間隔と同じ間隔で再生中
↓	記録間隔よりも広い間隔で再生中
↑	記録間隔よりも狭い間隔で再生中

この画面を第１画面と呼びます。

タイトル表示
- タイトル表示を「ON」にしているときに表示します。

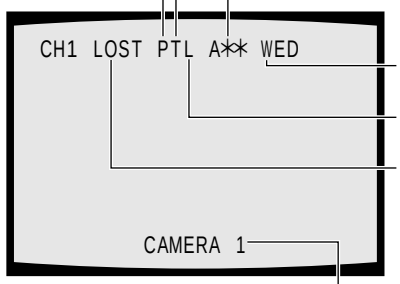
画面表示を変えたいとき、または画面表示を消したいときは



第1画面でくり上がりボタンを押すと

アラーム記録の数や、停電があったかどうかなどを確認することができます。

お知らせ
- 下記の警告（n%を除く）があると、自動的にこの画面になります。他の画面にしたいときは、くり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。



停電お知らせ表示
タイマー表示
アラーム表示
曜日表示
モードロック表示
警告表示
タイトル表示

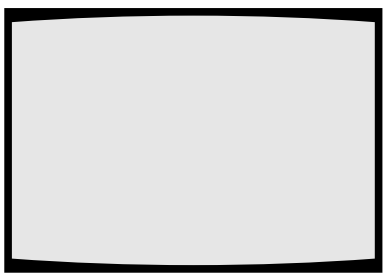
この画面を第2画面と呼びます。

HDD M-HDD ERROR S-HDD ERROR	ハードディスク異常表示（M/S） ハードディスク異常表示（Mのみ） ハードディスク異常表示（Sのみ）	優先順位 ↓ 警告がないときは、常にハードディスクの残量が表示されます。
NO HDD LIFE	ハードディスク寿命表示	
FAN TROUBLE	ファン異常表示	
CHn LOST（n=1～8）	入力信号異常表示	
CARD ERROR	カード異常表示	
HDD FULL	ハードディスクフル表示	
n%（n=1～100）	ハードディスク残量表示	

- 警告が2つ以上重なったときは、優先順位の高いものが表示されます。

第1画面でくり下がりボタンを押すと

画面表示が消えます。

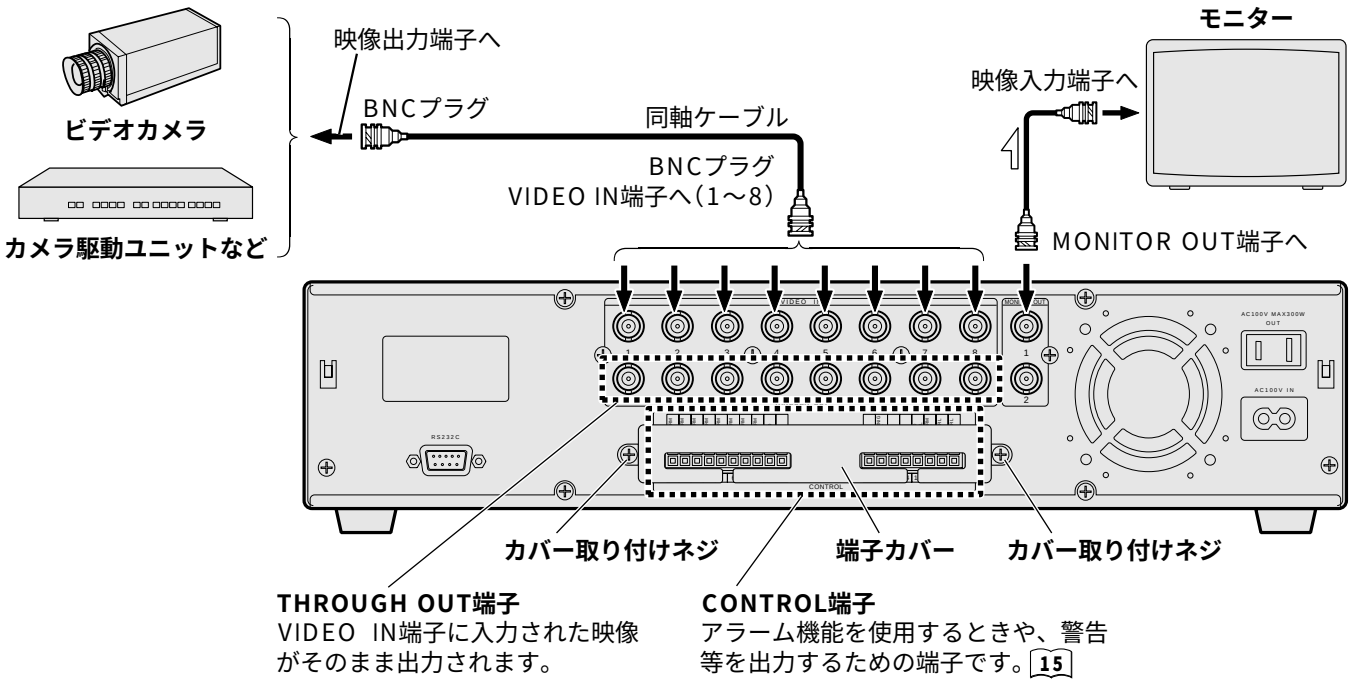


この画面を第3画面と呼びます。

接続のしかた

ビデオカメラの映像出力端子や、カメラ駆動ユニットなどの映像出力端子（BNC接栓）からの映像信号を最大8系統入力できます。（電源同期のカメラは使用できません）
推奨カメラは、VK-C77MK2、VK-C306、VK-C336、VK-C456、VK-C170、VK-C838、VK-C858、VK-C878、VK-M306、VK-M17です。97

お知らせ ● ご使用になるカメラレンズのアイリスを、開きすぎないようにしてください。



CONTROL端子にコードをつなぐ

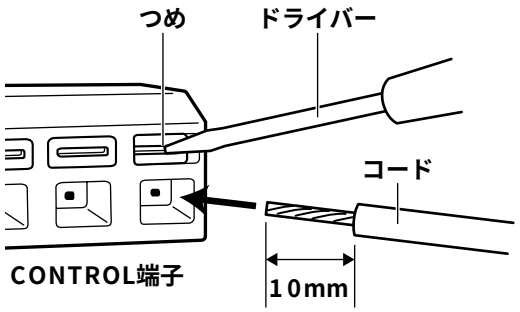
1 CONTROL端子カバーを外す

● カバー取り付けネジ2個をゆるめ、コントロール端子カバーを外してください。

2 コードの被覆を10mmほどはがす

3 ドライバーなどで、つめの部分を押しながらコードを挿入する

● つめを奥まで確実に押しながらコードを入れてください。



4 ドライバーを外す

● コードが固定されます。

5 CONTROL端子カバーを取り付ける

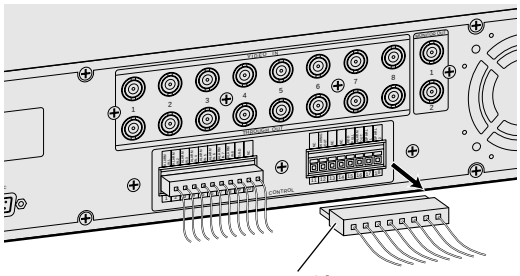
● カバー取り付けネジ2個を締めてください。

コードを抜くとき

つめをドライバーで押しながら、コードを抜いてください。

お知らせ

- CONTROL端子は、コードを接続したまま取り外しができます。メンテナンスするときなど、コードを外さずにCONTROL端子ごと取り外してご使用いただけます。



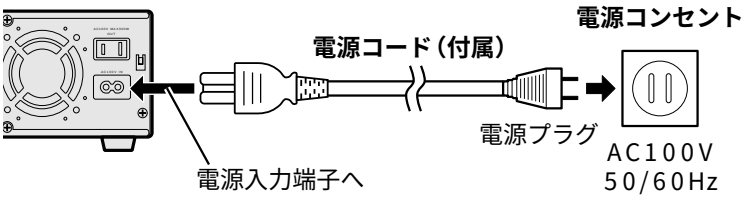
CONTROL端子

CONTROL端子の機能

No.	機　能
1 2 3 4 5 6 7 8	**ALARM IN 1〜8** 入力期間300ms以上のGNDショートによって、アラーム入力を受け付けます。これにより、アラーム設定画面 52 で設定した内容でアラーム動作します。 接続機器はGNDショートしたときの抵抗値が1kΩ以下で、解放時は電圧のかからないものをご使用ください。 **メモ　アラーム入力があると** ● アラーム設定画面 52 で「ALARM REC MODE2」にしておくと、アラーム入力されたチャンネルの映像を重点的に録画します。 ● アラーム入力された場所のチャンネルボタンのランプが点灯（緑）します。モニター画面も、アラーム入力された画面に自動的に切り換わります。 ● 同時に2か所以上のアラーム入力があると、1秒間隔で映像が切り換わります。
9	**GND** グランド端子です。
10	――
11	――
12	**WARNING OUT** オープンコレクタ出力です。 CONTROL端子設置画面 80 で設定した出力をします。 CLOSE：ハードディスク、ファンまたはビデオ入力の異常を検知したときにGNDと短絡します。 OPEN：ハードディスク、ファンまたはビデオ入力の異常を検知したときにOPENとなります。 また本機の電源が入ってない場合は、設定に関係なくOPENとなります。
13	――
14	――
15	**HDD FULL** リサイクル機能で、「STOP」または「STOP IF ALARM」を選んでいるとき、ハードディスクの残量が10%以下になるとGNDと短絡します。
16	**ALARM OUT** オープンコレクタ出力です。アラーム記録中にGNDと短絡します。
17	**SPARE 1** 何も接続しないでください。
18	**SPARE 2** 何も接続しないでください。

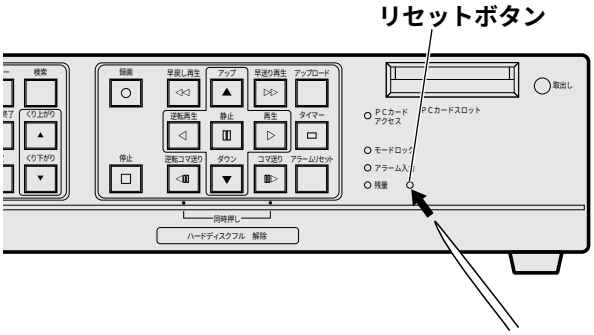
電源を入れる

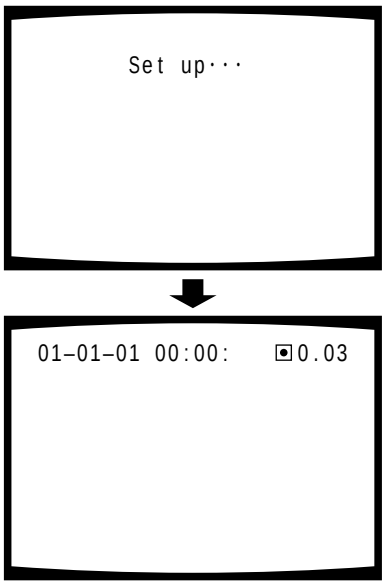
電源は必ず14ページの接続が終わってから入れてください。
付属の電源コードを使い、本機の電源入力端子と電源コンセントをつないでください。つないでから映像が映し出されるまで、約10秒かかります。
前面の電源ランプが赤く点灯すれば、電源が入っている状態です。



リセットのかけかた（オールリセット）

初めて通電したときは、必ずリセットボタンを先の細い棒などで押してください。また、本機を使用中に動作に異常が生じた場合にもこのリセットボタンを押すか、または、電源コンセントを抜いて、再び差し込んでください。

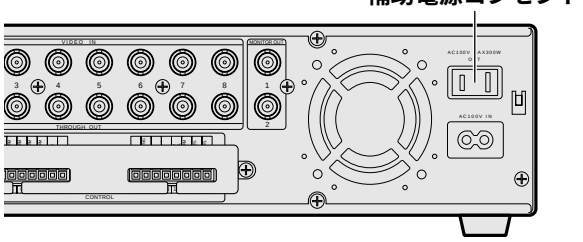




- リセットボタンを押すと「Set up･･･」が表示され、初期画面になります。
- このリセットをすると、ポジション設定 64、LAN設定 82 以外の内容は工場出荷時の状態になります。

補助電源コンセントの使いかた

外部機器に電源を供給することができます。

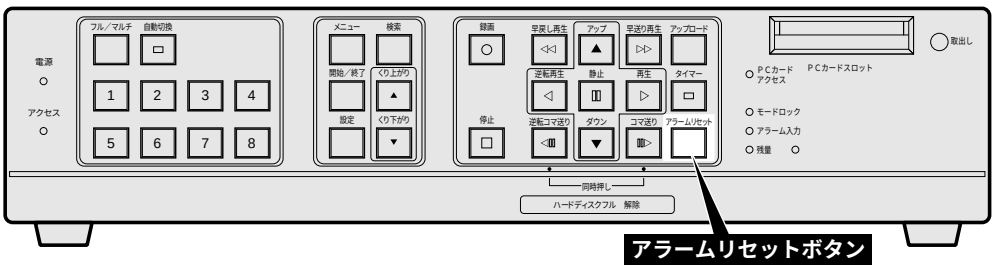


⚠警告

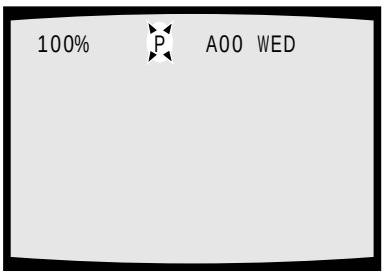
- 300Wを超える機器（熱器具など）は絶対に接続しないでください。火災の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災の原因となります。

停電したとき

本機は電源プラグをコンセントに接続し、通電状態を約2日間（48時間）以上続けると、内蔵されたバックアップ用電池がフル充電されます。フル充電された状態のときに停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても約1か月間（720時間）までは、日付・時刻や設定した内容をバックアップしています。

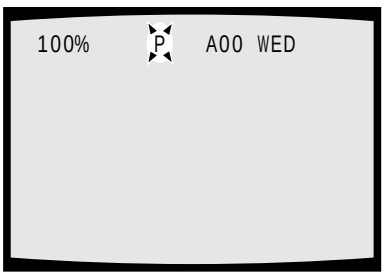


第2画面で「P」が点滅しているときは



- 初めて通電したときや、停電があったときに「P」が点滅します。
- アラームリセットボタンを押して、「P」の点滅を消してください。

録画中に停電したときは



- 停電復帰後、もとの録画状態に戻ります。
- 「P」が点滅して、停電があったことをお知らせします。

本機をいったん使用したあと、約1ヶ月以上通電しなかったときは

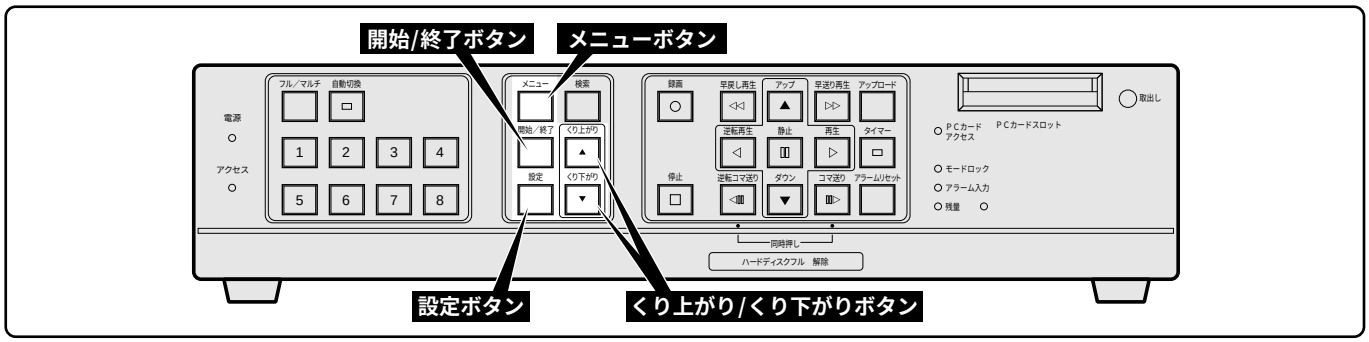
- アラームリセットボタンを押して「P」の点滅を消してください。
- もう一度、時刻設定などを設定し直してください。

メモ

- 正常に動作しないときは、リセットボタンを押してください。 16

日付・時刻を合わせる、時刻更新の基準信号を選ぶ

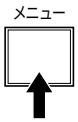
初めてお使いになるときや、電源プラグを約1か月間以上抜いていた場合は、日付・時刻を合わせてください。日付・時刻を合わせないと検索機能 66、アップロード機能 85 が正しく動作しません。
また、時刻の更新の基準信号を以下の2種類から選ぶことができます。
「AC」　　：交流電源の周波数（50Hzまたは60Hz）をもとにカウントする方法
「CRYSTAL」：本製品に内蔵されております水晶発振子の周波数をもとにカウントする方法
工場出荷時には「AC」に設定されています。お客様が商用電源をお使いの場合はこのままお使いになることをおすすめします。
電源周波数（50Hzまたは60Hz）が変動する自家発電等の電源をお使いの場合は「CRYSTAL」を選択し、お使いになることをおすすめします。

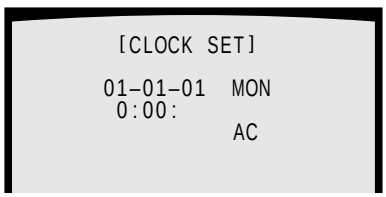


たとえば、西暦2001年12月20日　木曜日　午後2時30分に合わせるとき

1 メニューボタンを押す

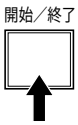
- 日付・時刻設定画面が表示されます。

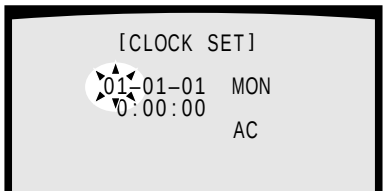




2 開始/終了ボタンを押す

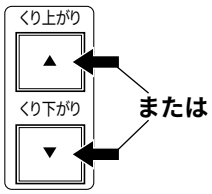
- 「年」が点滅します。

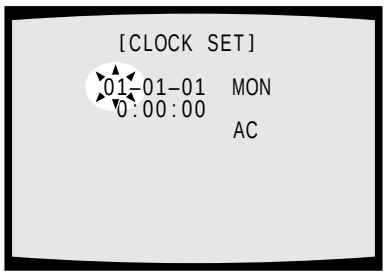




3 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して「年」を合わせる

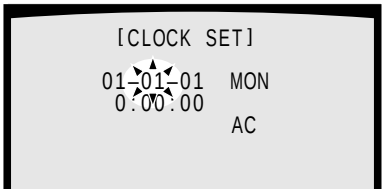
- 西暦の下2けたを合わせてください。
- 2001年は01に合わせてください。





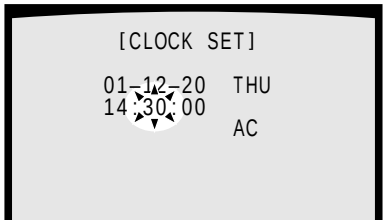
4 設定ボタンを押す

- 「月」が点滅します。



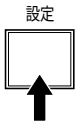
5 手順❸と❹を繰り返して、日付と時刻（分まで）を合わせる

- 時間は24時間表示です。
- 曜日は、日付を設定すると自動的に選択されます。



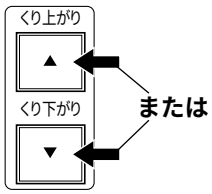
6 設定ボタンを押す

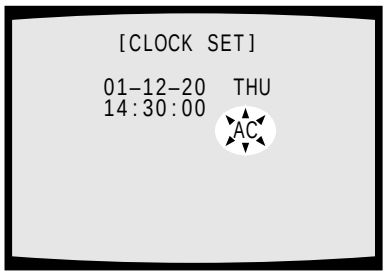
- 「AC」が点滅します。



7 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して時刻更新の基準信号を選択する

「AC」：本体電源の周波数（50Hz／60Hz）を基準に時刻をカウントします。
「CRYSTAL」：本体内蔵の水晶発振子を基準に時刻をカウントします。

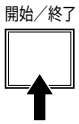




例：時刻更新の基準信号を「AC」に設定した場合

8 開始/終了ボタンを押す

- 時計が動き始めます。



9 メニューボタンを押す

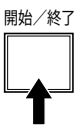
- 元の画面に戻ります。

いったん合わせた時刻を直すとき

あらかじめ、日付・時刻設定画面を表示させてください。

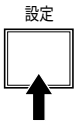
1 開始/終了ボタンを押す

- 「分」が点滅します。

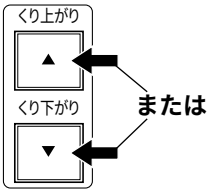


2 設定ボタンを押す

- 直したいところが点滅するまで、設定ボタンを繰り返し押してください。

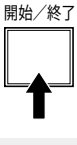


3 くり上がり、またはくり下がりボタンで直す

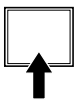


4 直し終わったら、開始/終了ボタンを押す

- 時計が動き始めます。

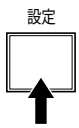


5 メニューボタンを押す



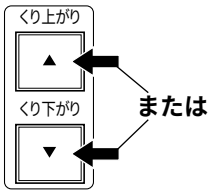
設定中に直すとき

1 直したいところが点滅するまで、設定ボタンを繰り返し押す



2 くり上がり、またはくり下がりボタンで直す

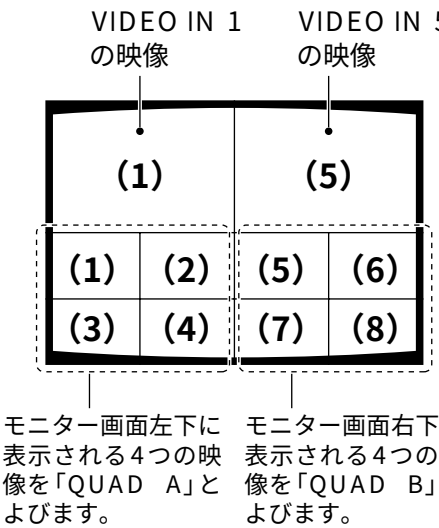
- 合わせ終わったら、開始/終了ボタンを押してください。



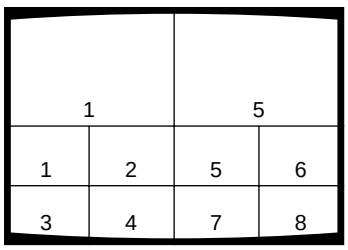
モニター画面の見かた

8つの映像をすべて入力した場合、工場出荷時のままの設定のときは、次のように10分割画面でモニターに表示します。

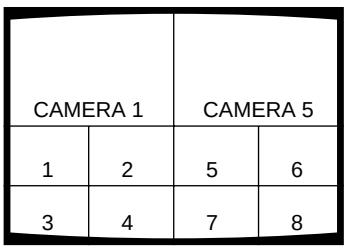
10分割画面



- VIDEO IN端子1の映像は（1）の場所に、VIDEO IN端子2の映像は（2）の場所に、というように8つの映像が10の画面で表示されます。
- 下図のように、画面にカメラ番号（VIDEO IN端子の番号）を入れたり、英数字や記号を使ってタイトルを入れることができます。



カメラ番号を入れた場合 61



タイトルを入れた場合 61

- 小画面には、カメラ番号が表示されます。

4分割画面で表示したときは

4分割画面のときは、「QUAD A」「QUAD B」の内容で表示されます。

QUAD A

VIDEO IN 1の映像 1	VIDEO IN 2の映像 2
VIDEO IN 3の映像 3	VIDEO IN 4の映像 4

QUAD B

VIDEO IN 5の映像 5	VIDEO IN 6の映像 6
VIDEO IN 7の映像 7	VIDEO IN 8の映像 8

メモ

- 映像は任意の位置に並べ換えることができます。 24
- 次のような場合、チャンネルは黒く表示されます。
  －映像を入力していないとき
  －58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。

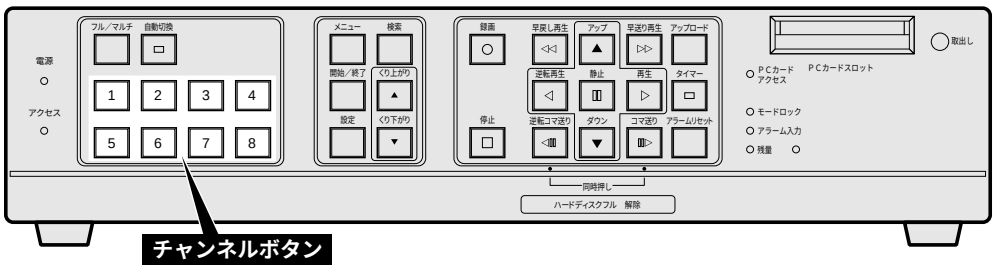
お知らせ

- 入力する映像がQUAD Aの4入力のみの場合、QUAD Bの4分割画面は表示されません。同様にQUAD Bの4入力のみの場合、QUAD Aは表示されません。また10分割画面も表示されなくなります。

1画面にして見る（フル画面表示）

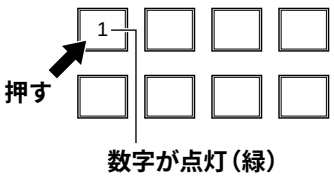
本機後面のVIDEO IN端子（1～8）に接続したビデオカメラの映像を、1画面ずつ選んで見ることができます。
入力された個々の映像はチャンネルといいます。

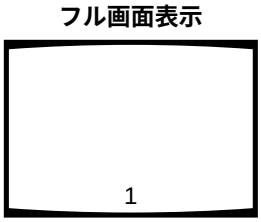
お知らせ フリーズ機能はありません。



1 チャンネル（1～8）ボタンを押す

- 見たい映像のチャンネルボタンを押してください。押したチャンネルボタンの数字が、緑色に点灯します。同様にほかのチャンネルも見ることができます。





- たとえば1のボタンを押すと、VIDEO IN端子1のカメラの映像を見ることができます。
- 4分割表示および10分割表示中でも、チャンネルボタンを押すとフル画面表示します。
- 4分割/10分割表示で映像を見るときは、22ページをご覧ください。

メモ

- フル／マルチボタンを繰り返し押して、フル画面にすることもできます。

お知らせ

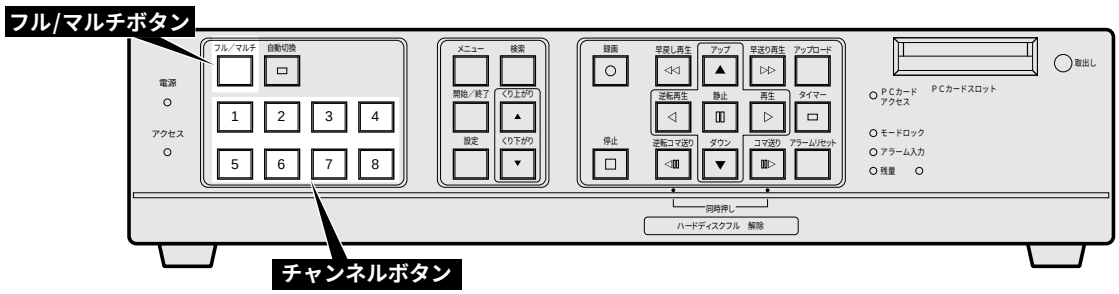
次の場合はフル画面表示されません。

- カメラが接続されていない（VIDEO IN端子に映像が入力されていない）チャンネルボタンを押したとき。
- 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを、「SKIP」に設定したチャンネルボタンを押したとき。

マルチ画面で見る（4分割、10分割表示）

21ページのフル画面表示では、各チャンネルを1つずつ選択してモニター画面に映し出しますが、マルチ画面では入力された映像を一度にモニター画面に表示しますので、10分割表示にした場合は入力されているすべての映像を同時に見ることができます。

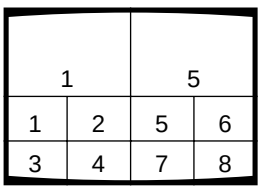
お知らせ フリーズ機能はありません。



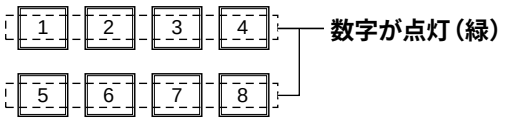
1 希望する表示になるまでフル/マルチボタンを繰り返し押す

- フル/マルチボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

10分割表示

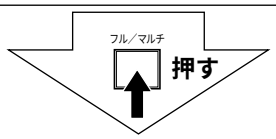


- VIDEO IN端子（1～8）のすべての映像が、モニター画面に同時に映し出されます。
- 8つの映像のうち2つを画面上半分に大きく表示できます。
- 10分割表示中はチャンネルボタンの数字がすべて点灯します。

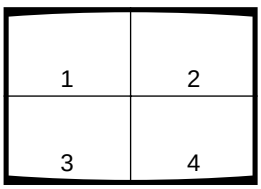


メモ
- 映像は任意の位置に並べ換えることができます。24

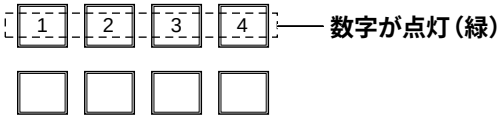
お知らせ
- 入力する映像がQUAD A(もしくはQUAD B)の4入力のみの場合、10分割画面は表示されません。
- 次のような場合、チャンネルは黒く表示されます。
  - 映像を入力していないとき。
  - 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。



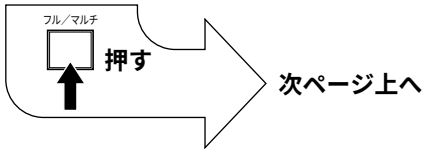
4分割表示



- 10分割表示で映し出された画面のうち左下の4画面の映像が映し出されます。この画面を「QUAD A」と呼びます。
- 4分割表示中は、映し出されているチャンネルのチャンネルボタンの数字が点灯します。

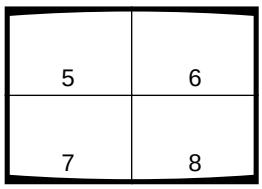


お知らせ
- 次のような場合、チャンネルは黒く表示されます。
  - 映像を入力していないとき。
  - 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。

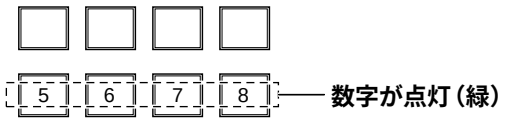


前ページから

4分割表示

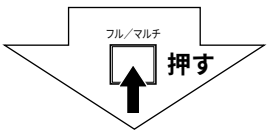


- 10分割表示で映し出された画面のうち右下の4画面の映像が映し出されます。この画面を「QUAD B」と呼びます。
- 4分割表示中は、映し出されているチャンネルのチャンネルボタンの数字が点灯します。

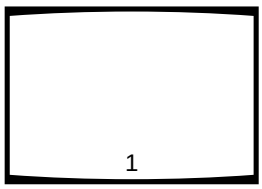


お知らせ

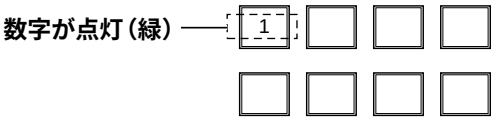
- 次のような場合、チャンネルは黒く表示されます。
  — 映像を入力していないとき。
  — 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。



フル画面表示

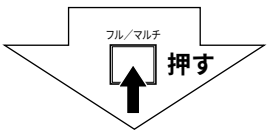


- VIDEO IN端子（1〜8）に入力された映像のうち、いずれか1つをモニター画面全体に映し出します。
- フル画面表示中は、映し出されているチャンネルのチャンネルボタンの数字が点灯します。たとえば、VIDEO IN端子1の映像がフル画面表示されているときは、チャンネルボタンの1が点灯します。



お知らせ

- 次のような場合、チャンネルは表示されません。
  — 映像を入力していないとき。
  — 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。

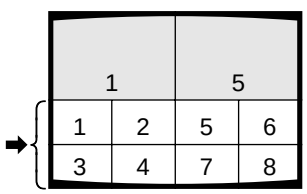


10分割表示に戻ります

カメラ番号について

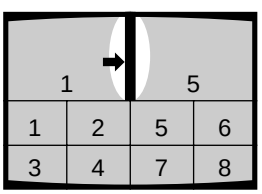
- 各画面の下にある数字をカメラ番号といいます。初期設定では番号は表示されません。本機後面のVIDEO IN端子の番号と一致していますので、番号を表示させておくと便利です。61
- カメラ番号の代わりに、タイトルを入れることもできます。61

10分割表示の下半分の画面について



- この画面は、4つの入力を数コマおきに表示を更新しているため、カメラの映像にフリッカーがあると目立ちます。カメラ側にフリッカーキャンセルモードがある場合は、このモードにしてご使用ください。
- フル画面表示から10分割表示に切り換えた瞬間、この画面に縞模様が出ますが故障ではありません。

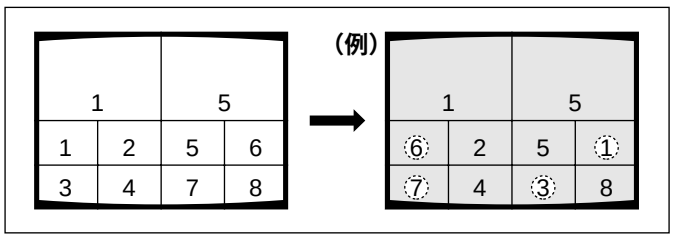
10分割表示の上半分の画面について



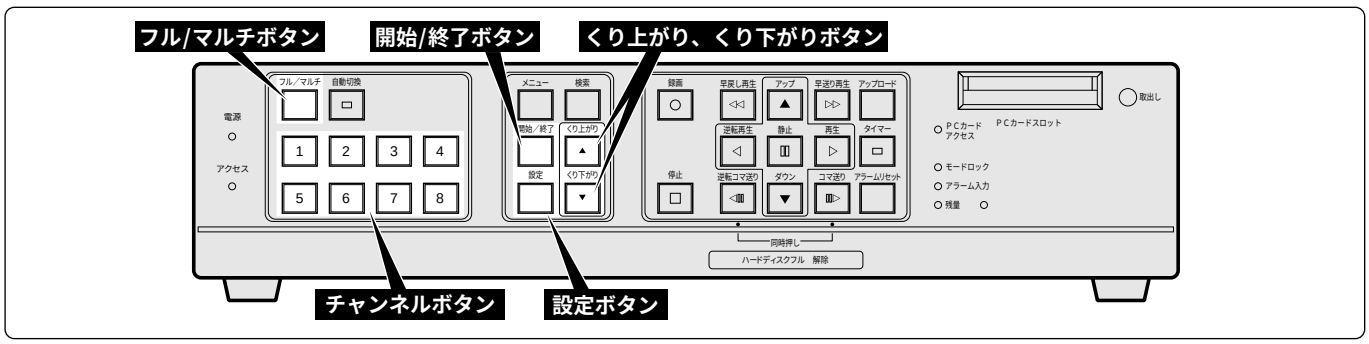
- 65ページの「4分割表示の水平位置を微調節する」を行ったあとに10分割表示した場合、上半分の中央の仕切り線が太くなることがありますが、故障ではありません。

10分割表示の映像を並べ換える

10分割表示の映像を並べ換えることができます。



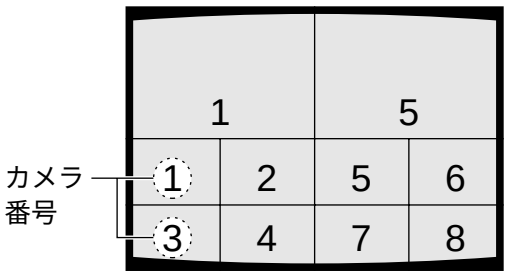
お知らせ 4分割表示のときは、映像を並べ換えることはできません。



1 10分割表示するまでフル/マルチボタンを繰り返し押す

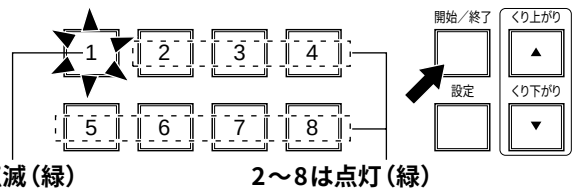
- 工場出荷時、VIDEO IN端子（1～8）の映像は図のように表示されます。

お知らせ
- カメラ番号が表示されていないときは、カメラ番号を表示させてください。61

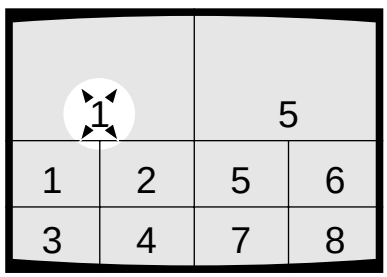


2 開始/終了ボタンを押す

- 画面左上のカメラ番号が点滅します。同時にチャンネルボタンの数字も点滅します。

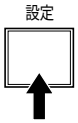


- カメラ番号とチャンネルボタンの数字が点滅しているときは並べ換えができます。

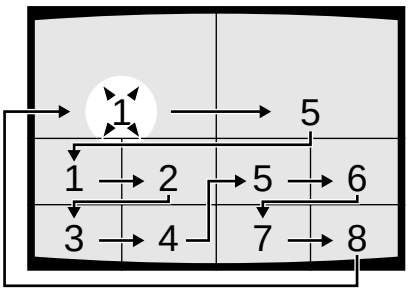


3 並べ換えたい映像のカメラ番号が点滅するまで設定ボタンを押す

- 設定ボタンを押すと右の図のように、矢印の方向に点滅が移動します。

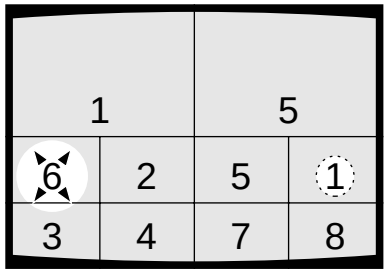


- 同時に、点滅しているカメラ番号のチャンネルボタンのランプも点滅します。



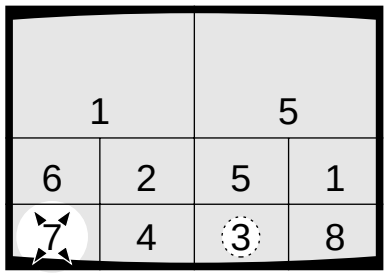
4 並べ換えたいチャンネルのチャンネルボタンを押す

- たとえばチャンネル1の位置へチャンネル6の映像を入れたいときは、チャンネルボタンの6を押します。このとき、チャンネル6が映っていた位置にはチャンネル1が映ります。
- 上半分の2画面を除いて同じチャンネルを重複して入れることはできません。



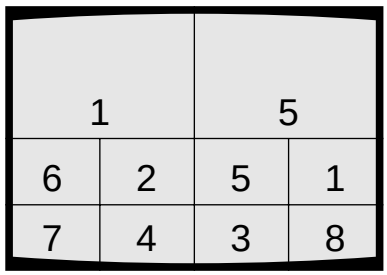
5 他のチャンネルも並べ換えたいときは手順❸、❹を繰り返す

- 右の画面は、チャンネル3とチャンネル7を入れ換えたときの例です。



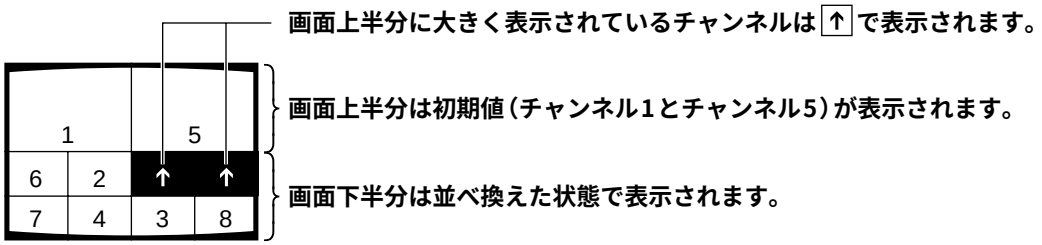
6 並べ換えたら開始/終了ボタンを押す

- カメラ番号とチャンネルボタンのランプが点滅から点灯に変わります。



お知らせ

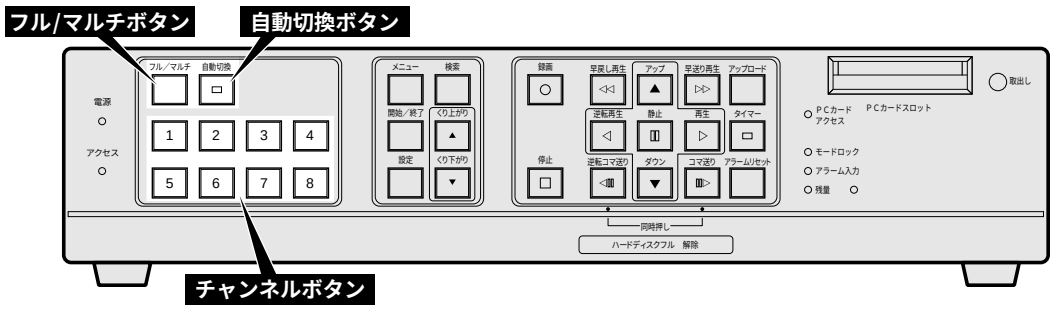
- 映像を並べ換えたあと録画した場合、再生画面は次のように表示されます。



- 再生中は、画面下半分に表示される映像のうち2つを上半分の映像に並べ換えることができます。43
  ただし、画面下半分の8つの映像どうしの並べ換えはできません。

映像を自動的に切り換える（オートスイッチャー機能）

フル画面、4分割画面、10分割画面を表示中に、映像を自動的に切り換えながら見ることができます。

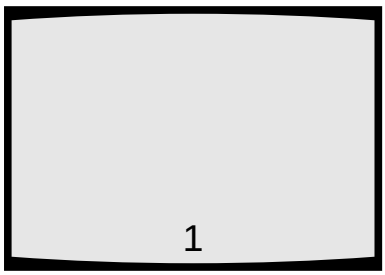


フル画面表示でオートスイッチャー機能を働かせる

1 フル画面表示にする

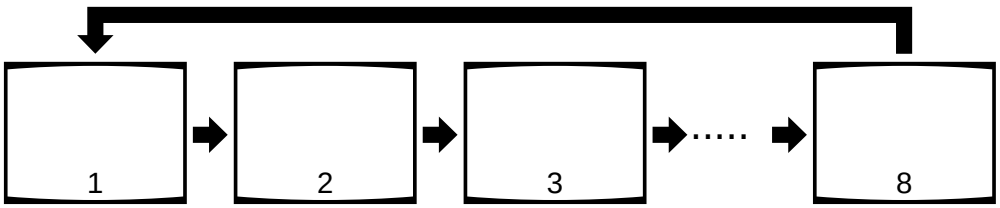
- 映像が入力されているチャンネルボタンを押して、フル画面にします。

メモ
- フル/マルチボタンを繰り返し押して、フル画面表示にすることもできます。 21 ～ 23

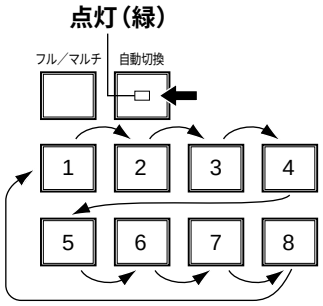


2 自動切換ボタンを押す

- VIDEO IN端子（1～8）からの映像がフル画面の状態で順次自動的に切り換わっていきます。



- 映像が自動的に切り換わっているあいだは、自動切換ボタンのランプが点灯し、チャンネルボタンの数字が切り換わりのタイミングに合わせて点灯します。



チャンネルボタンのランプの点灯（緑）が切り換わります。

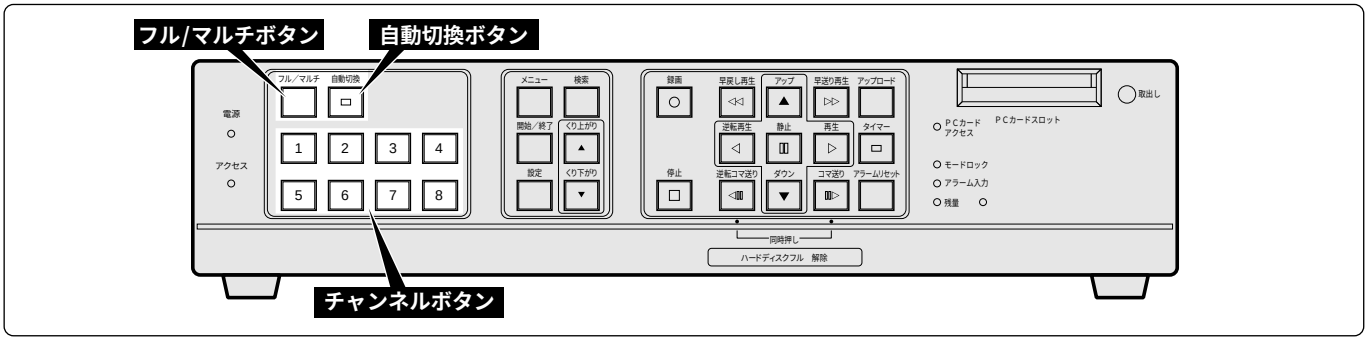
オートスイッチャーを解除するとき

もう一度自動切換ボタンを押すか、チャンネルボタンを押してください。また、フル/マルチボタンを押してもオートスイッチャーを解除できます。

メモ
- 映像の切り換わりタイミングを調節することができます。 58
- 任意のチャンネルをとばして見ることができます。 58

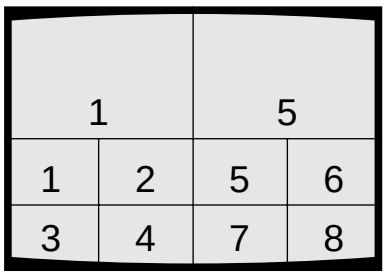
お知らせ
- 映像が切り換わる瞬間、画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 次のような場合、映像はとばされます。
  - VIDEO IN端子に映像が入力されていないとき。
  - 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。

10分割表示でオートスイッチャー機能を働かせる



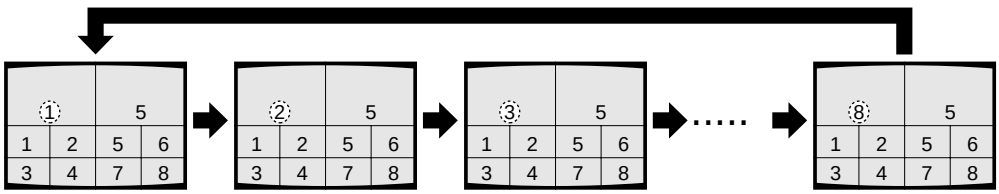
1 10分割表示にする

- フル/マルチボタンを繰り返し押して、10分割表示にします。

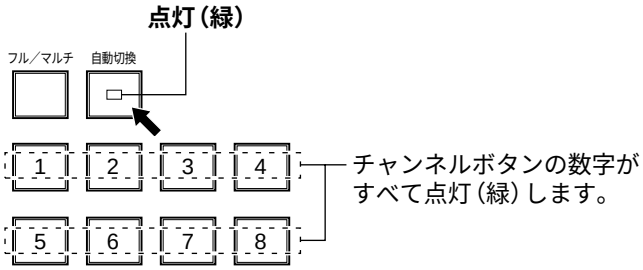


2 自動切換ボタンを押す

- モニターの左上の画面に、VIDEO IN端子（1～8）の映像が順番に切り換わっていきます。



- 映像が自動的に切り換わっているあいだは、自動切換ボタンのランプが点灯し、チャンネルボタンのランプがすべて点灯します。



オートスイッチャーを解除するとき

もう一度自動切換ボタンを押すか、チャンネルボタンを押してください。また、フル／マルチボタンを押してもオートスイッチャーを解除できます。

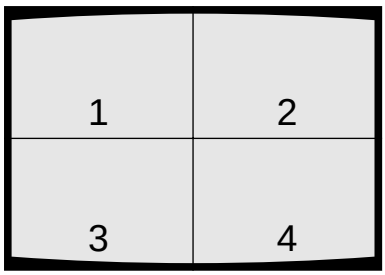
メモ
- 映像の切り換わりタイミングを調節することができます。 58
- 任意のチャンネルをとばして見ることができます。 58

お知らせ
- 映像が切り換わる瞬間、画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
  画面の乱れが気になる場合、入力されるカメラ側で同期を取ると画面は乱れません。
- 次のような場合、映像はとばされます。
  — VIDEO IN端子に映像が入力されていないとき。
  — 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。

4分割表示でオートスイッチャー機能を働かせる

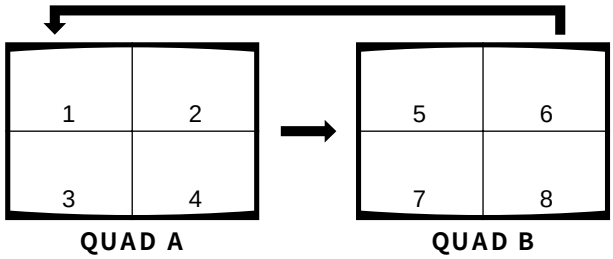
1 4分割表示にする

- フル/マルチボタンを繰り返し押して、4分割表示にします。

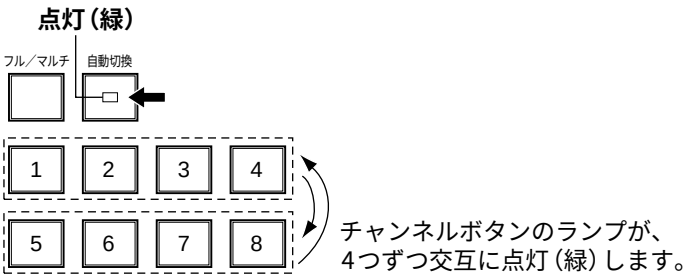


2 自動切換ボタンを押す

- 10分割画面の左下の4画面（QUAD A）と右下の4画面（QUAD B）が交互に切り換わっていきます。



- 映像が自動的に切り換わっているあいだは、自動切換ボタンのランプが点灯します。またチャンネルボタンの数字も切り換わりのタイミングに合わせて4つずつ点灯します。



オートスイッチャーを解除するとき

もう一度自動切換ボタンを押すか、選択ボタンを押してください。また、フル／マルチボタンを押してもオートスイッチャーを解除できます。

メモ

- 映像の切り換わりタイミングを調節することができます。58

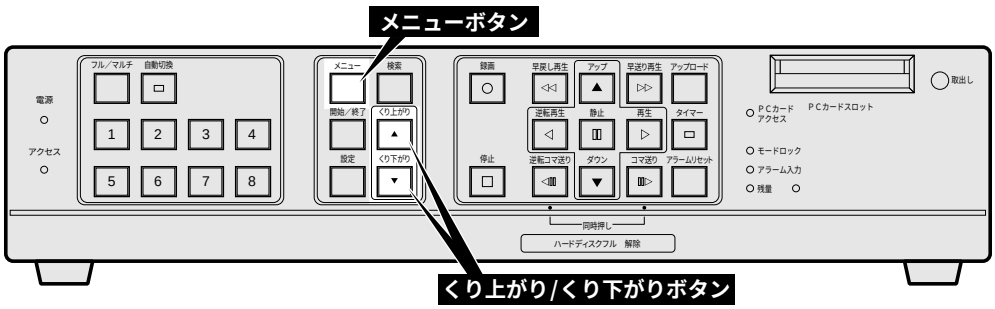
お知らせ

- 映像が切り換わる瞬間、画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 次のような場合、チャンネルは黒く表示されます。
  - VIDEO IN端子に映像が入力されていないとき。
  - 58ページのスイッチャーの切り換わりタイミングを「SKIP」に設定したとき。
- 入力する映像がQUAD A（もしくはQUAD B）の4入力のみの場合、オートスイッチャー機能は働きません。

記録する（タイムラプス記録）

入力されている映像のすべてを、本機のハードディスクに記録します。

お知らせ
- 記録をする前に、必ず日付・時刻を設定してください。18

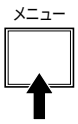


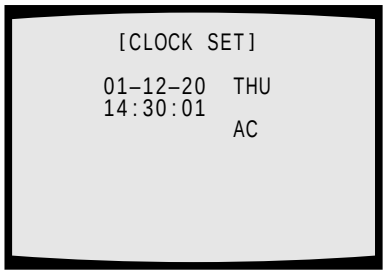
記録するチャンネルのパターンを設定する

通常記録またはタイマー記録で、記録するチャンネルのパターンを設定することができます。

1 メニューボタンを押す

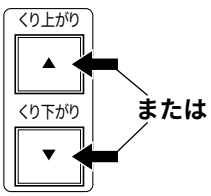
- 日付・時刻設定画面が表示されます。

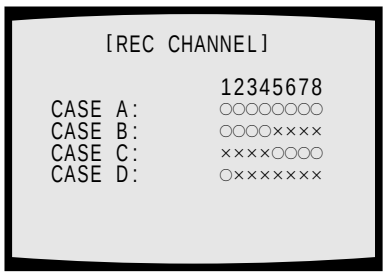




2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [REC CHANNEL]が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。
- 1～8は、それぞれのチャンネルを表わします。
- 工場出荷時は、右のように設定されています。

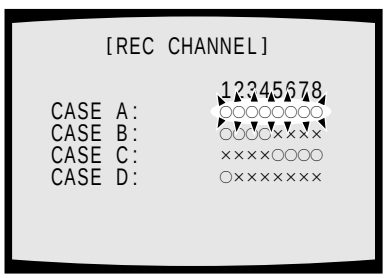




○：記録する
×：記録しない

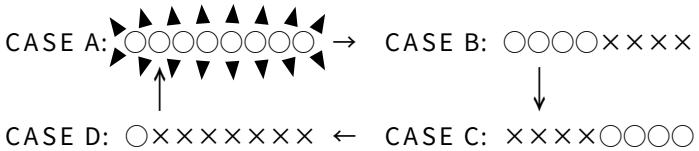
3 開始/終了ボタンを押す

- CASE Aの記録パターンが点滅します。



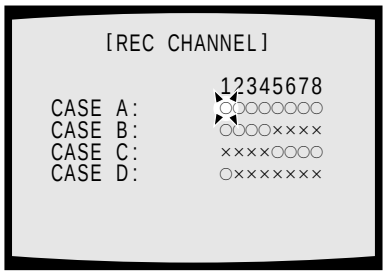
4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して記録パターンを選ぶ

- くり上がりボタンを押すと、下の図のように、矢印の方向に点滅が移動します。



くり下がりボタンは、この逆順で変わります。

5 設定ボタンを押して、設定するチャンネルを選ぶ



- 手順❹で選択した記録パターンのチャンネル１の設定が点滅します。
  設定ボタンを押すたびに次のように設定が点滅します。

CASE A: ○○○○○○○○ →

CASE A: ○→○→○→○→○→○→○→○ →

CASE B: ○○○○××××→

CASE B: ○→○→○→○→×→×→×→× →

CASE C: ××××○○○○ →

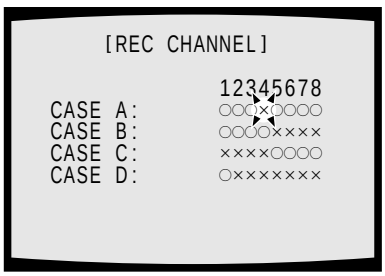
CASE C: ×→×→×→×→○→○→○→○ →

CASE D: ○××××××× →

CASE D: ○→×→×→×→×→×→×→× → CASE Aに戻る

6 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して記録する／しないを選ぶ

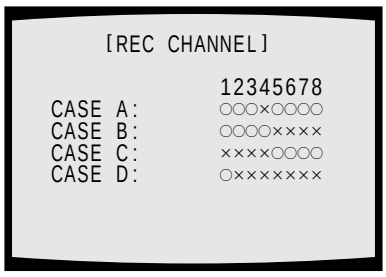
- くり上がりボタン、またはくり下がりボタンを押して記録する／しないを選びます。
  ○：記録する
  ×：記録しない



例：CASE Aのチャンネル4を記録しないように設定した場合

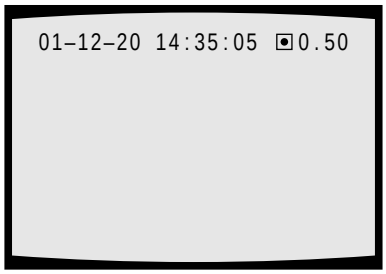
7 開始/終了ボタンを押す

- 設定の点滅が点灯に変わり、設定が完了します。



8 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。



お知らせ

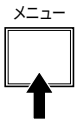
- 映像が入力されていないカメラには“ × ”が表示され、設定を変更することはできません。
- 映像が入力されているチャンネルは、“ × ”を選択してもモニターには表示されますが、記録はされません。

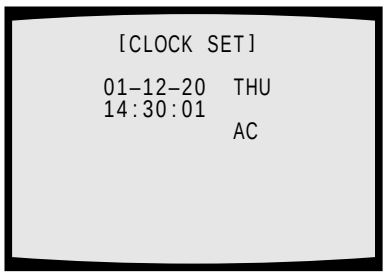
記録モードを設定する

次に、記録モードを設定してください。

1 メニューボタンを押す

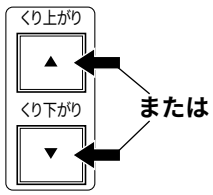
- 日付・時刻設定画面が表示されます。





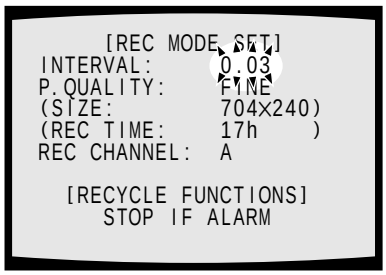
2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [REC MODE SET]が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。



3 開始/終了ボタンを押す

- INTERVALの「0.03」が点滅し、1枚あたりの記録間隔設定画面になります。



4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して記録間隔を選ぶ

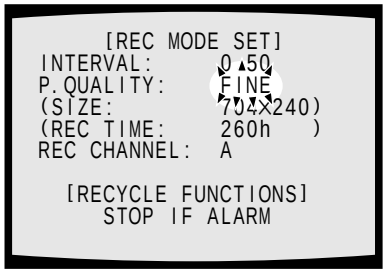
- くり上がりボタンを押すたびに、INTERVALの数字が次のように変わります。くり下がりボタンは、この逆順で変わります。

0.03 → 0.07 → 0.10 → 0.13 → 0.17 → 0.20 → 0.30 → 0.37 → 0.50 → 0.57
↑ ↓
60 ← 30 ← 15 ← 10 ← 5 ← 2 ← 1.13 ← 1 ← 0.90 ← 0.73

- 0.03を選ぶと、0.03秒間隔で記録します。0.07は0.07秒間隔です。ご希望の間隔を選んでください。

5 設定ボタンを押す

- 記録間隔が設定されます。
- 右の画面は、0.5秒を選んだときの例です。
- P.QUALITYの「FINE」が点滅し、画像をデジタル記録するときの画質設定モードになります。ここで画質を選びます。



6 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して画質を選ぶ

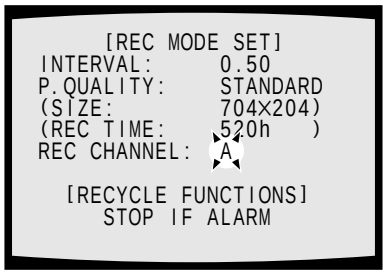
- 選べる画質は次のとおりです。

P.QUALITY	（SIZE）	データ量	画質
FINE	（704×240）	多い	良い
STANDARD	（704×240）	↓	↓
MIDDLE	（352×240）	↓	↓
LONG	（352×240）	少ない	粗い

- P.QUALITYの「FINE」にすると、画質は良くなりますが、ハードディスクに記録できる時間は短くなります。
- P.QUALITYを「LONG」にすると、画質は粗くなりますが、ハードディスクに記録できる時間は長くなります。

7 設定ボタンを押す

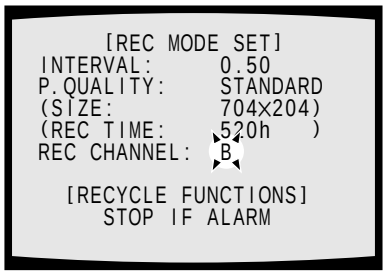
- 画質が設定されます。
- 右の画面は、STANDARDを選んだときの例です。
- 記録チャンネルのパターン「A」が点滅し、記録チャンネルのパターン設定モードになります。
- 記録するチャンネルのパターンを設定することができます。29



8 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して記録チャンネルのパターンを選ぶ

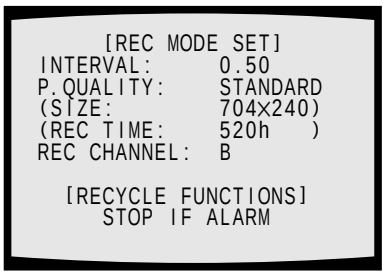
- くり上がりボタンを押すたびに、REC CHANNELの数字が次のように変わります。くり下がりボタンは、この逆順で変わります。

A → B
↑ ↓
D ← C



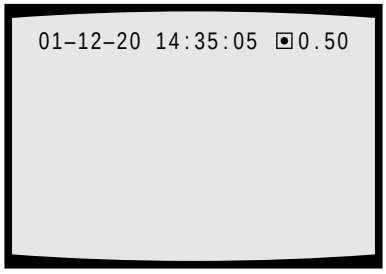
9 開始/終了ボタンを押す

- 記録間隔と画質および記録チャンネルのパターンが設定されます。
  続いて繰り返し記録（リサイクル機能）の設定をしたいときは35ページの手順❹にお進みください。



10 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。



記録間隔／記録時間について

1カメラあたりの記録間隔について

接続したカメラの数によって、カメラ1台あたりの記録間隔が変わります。カメラの入力数が多く、記録間隔が広いほど1台あたりの記録間隔は広くなります。

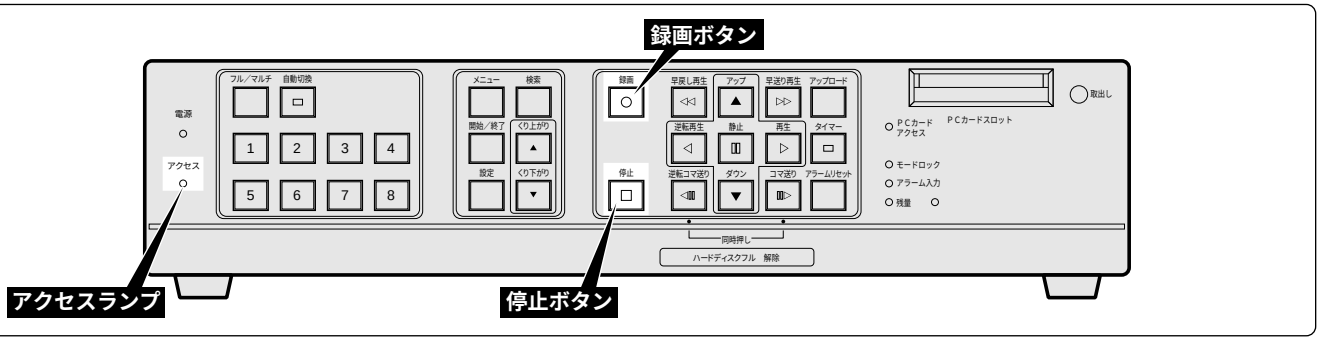
記録間隔（s）	カメラ入力数によるカメラ1台あたりの記録間隔（s）							
	カメラ1台	カメラ2台	カメラ3台	カメラ4台	カメラ5台	カメラ6台	カメラ7台	カメラ8台
0.03	0.03	0.07	0.10	0.13	0.17	0.20	0.23	0.27
0.07	0.07	0.13	0.20	0.27	0.33	0.40	0.47	0.53
0.10	0.10	0.20	0.30	0.40	0.50	0.60	0.70	0.80
0.13	0.13	0.27	0.40	0.53	0.67	0.80	0.93	1.07
0.17	0.17	0.33	0.50	0.67	0.83	1.00	1.17	1.33
0.20	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00	1.20	1.40	1.60
0.30	0.30	0.60	0.90	1.20	1.50	1.80	2.10	2.40
0.37	0.37	0.73	1.10	1.47	1.83	2.20	2.57	2.93
0.50	0.50	1.00	1.50	2.00	2.50	3.00	3.50	4.00
0.57	0.57	1.13	1.70	2.27	2.83	3.40	3.97	4.53
0.73	0.73	1.47	2.20	2.93	3.67	4.40	5.13	5.87
0.90	0.90	1.80	2.70	3.60	4.50	5.40	6.30	7.20
1	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00
1.13	1.13	2.27	3.40	4.53	5.67	6.80	7.93	9.07
2	2.00	4.00	6.00	8.00	10.00	12.00	14.00	16.00
5	5.00	10.00	15.00	20.00	25.00	30.00	35.00	40.00
10	10.00	20.00	30.00	40.00	50.00	60.00	70.00	80.00
15	15.00	30.00	45.00	60.00	75.00	90.00	105.00	120.00
30	30.00	60.00	90.00	120.00	150.00	180.00	210.00	240.00
60	60.00	120.00	180.00	240.00	300.00	360.00	420.00	480.00

記録間隔／画質と記録時間の関係について

DS-H40

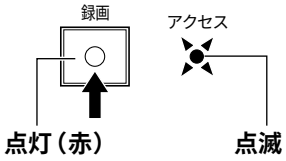
記録間隔（s）	記録時間（h）			
	FINE（64KB）	STANDARD（32KB）	MIDDLE（16KB）	LONG（8KB）
記録枚数（枚）	約180万枚	約370万枚	約740万枚	約1490万枚
0.03	17	34	69	138
0.07	34	69	138	277
0.10	52	104	208	416
0.13	69	138	277	554
0.17	86	173	346	693
0.20	104	208	416	832
0.30	156	312	624	1248
0.37	190	381	762	1525
0.50	260	520	1040	2080
0.57	294	589	1178	2357
0.73	381	762	1525	3051
0.90	468	936	1872	3744
1	520	1040	2080	4160
1.13	589	1178	2357	4715
2	1040	2080	4160	8321
5	2600	5201	10402	20804
10	5201	10402	20804	41608
15	7801	15603	31206	62412
30	15603	31206	62412	124825
60	31206	62412	124825	249651

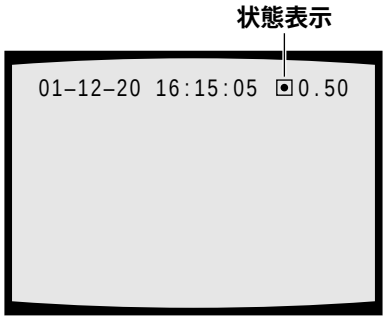
記録を始める



1 記録モードの設定が終わったら、録画ボタンを押す

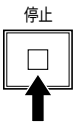
- モニター画面の状態表示「▣」が「⊙」に変わり、記録が始まります。
- 記録中は、録画ボタンのランプが点灯し、アクセスランプが点滅します。





2 停止ボタンを押して、記録を終了する

- 記録を止めたいときは、停止ボタンを押してください。



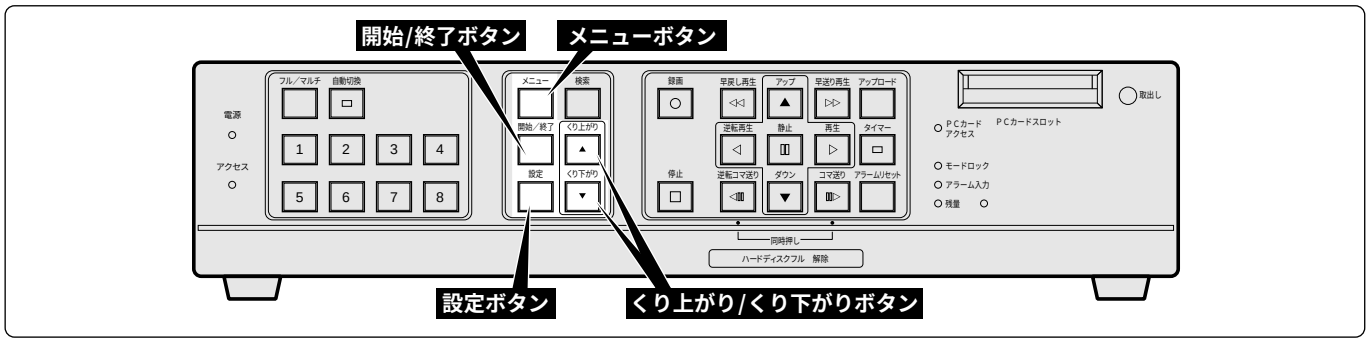
お知らせ

- 停止ボタンを押してすぐに再生ボタンを押したときは、映像が再生されるまで数秒かかります。
- 記録中にトラブルなどによって中断したときは、逆転再生／静止／再生ボタンのランプでお知らせします。93

繰り返し記録する（リサイクル機能）

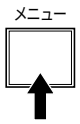
ハードディスクの残量がなくなったら古いデータから上書き記録することができます

お知らせ **記録を始める前に、リサイクル機能「RECYCLE FUNCTIONS」の設定をしてください。特に大切な記録を残しておきたいときは、設定内容を確認ください。また、途中で設定を変更すると、記録済みのデータが上書きされる場合がありますので、注意が必要です。**



1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

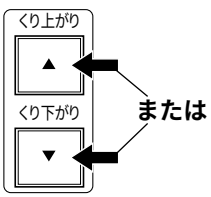



```
[CLOCK SET]

01-12-20  THU
14:30:01
          AC
```

2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [REC MODE SET] が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。




```
    [REC MODE SET]
INTERVAL:     0.50
P.QUALITY:    STANDARD
(SIZE:        704x240)
(REC TIME:    520h    )
REC CHANNEL:  B

  [RECYCLE FUNCTIONS]
    STOP IF ALARM
```

3 開始/終了ボタンを押す

- 記録間隔設定モードになります。

```
    [REC MODE SET]
INTERVAL:     0.50
P.QUALITY:    STANDARD
(SIZE:        704x240)
(REC TIME:    520h    )
REC CHANNEL:  B

  [RECYCLE FUNCTIONS]
    STOP IF ALARM
```

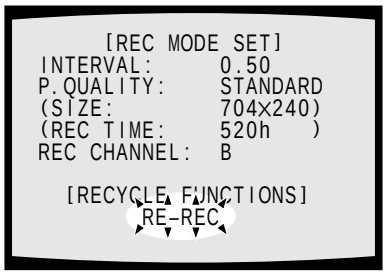
4 設定ボタンを3回押す

- [RECYCLE FUNCTION] の「STOP IF ALARM」が点滅します。

```
    [REC MODE SET]
INTERVAL:     0.50
P.QUALITY:    STANDARD
(SIZE:        704x240)
(REC TIME:    520h    )
REC CHANNEL:  B

  [RECYCLE FUNCTIONS]
    STOP IF ALARM
```

5 くり上がり、またはくり下がりボタンでご希望の機能を選ぶ



- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、この逆順で変わります。

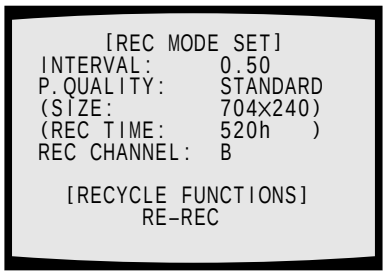
STOP IF ALARM ← ↓ STOP ↓ RE-REC ←

「STOP IF ALARM」：アラーム入力がないときは、「RE-REC」と同様に古いデータから上書き記録を続けます。
前にアラーム入力があった場合は、最初のアラーム入力の手前まで古いデータから上書き記録をし、停止します。アラーム記録を残したいときに選びます。

「STOP」：アラーム入力の有無に関係なく、ハードディスクの残量がなくなったときに記録を停止します。記録したデータを残しておきたいときに選びます。

「RE-REC」：アラーム入力の有無に関係なく、ハードディスクの残量がなくなったときに、古いデータから上書き記録を続けます。

6 開始/終了ボタンを押す



- リサイクル機能が設定されます。
  右の画面は、RE-RECを選んだときの例です。

7 メニューボタンを押す

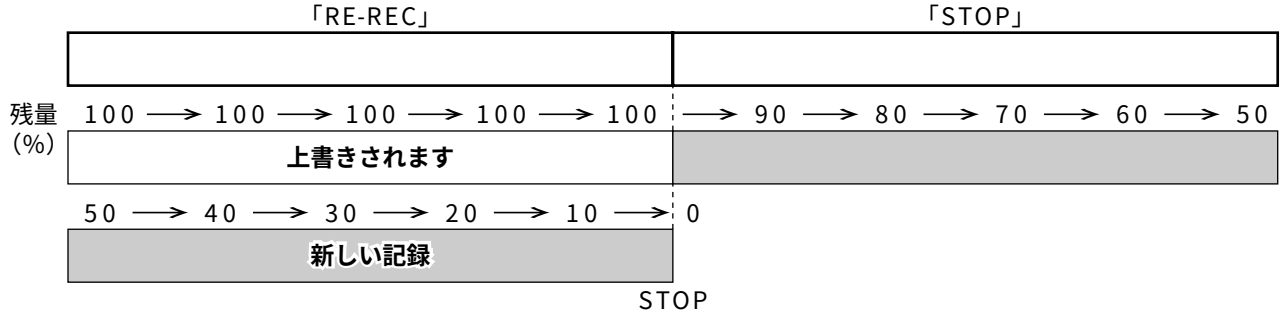
- 元の画面に戻ります。

記録の途中で設定を変更すると

記録の途中で設定を変更すると下記となりますので、ご注意願います。ただし、設定変更は記録をいったん停止しないとできません。

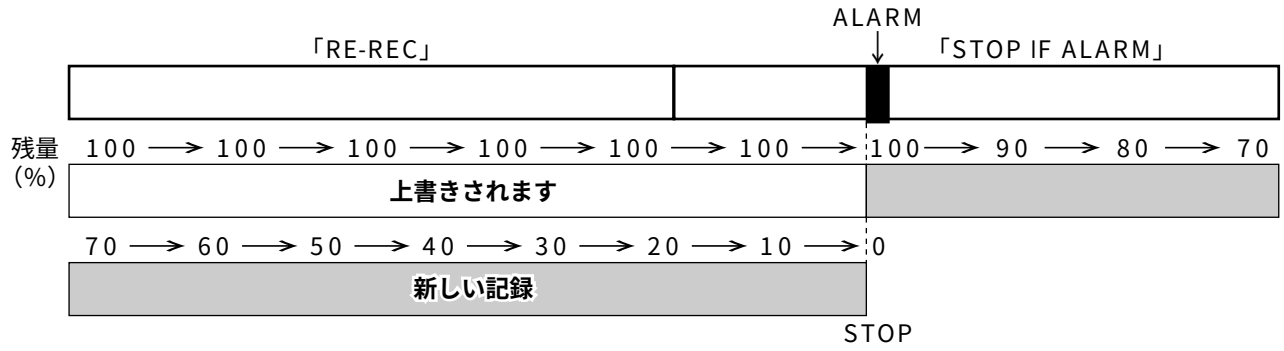
「RE-REC」から「STOP」に変更したとき

「STOP」に変更した時点から、残量の計算をします。したがって「RE-REC」で記録したところは上書きされます。



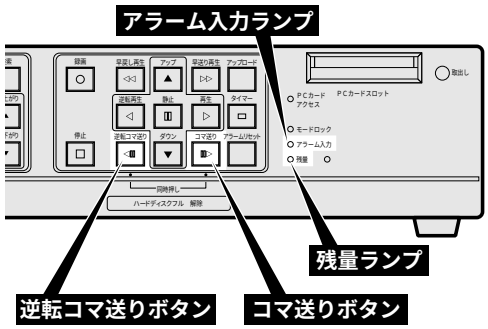
「RE-REC」から「STOP IF ALARM」に変更したとき

「STOP IF ALARM」に変更した時点から、アラーム入力があると残量の計算をします。したがって「RE-REC」で記録したところ、および「STOP IF ALARM」設定以降アラーム入力があるまでは上書きされます。



「STOP IF ALARM」や「STOP」を選んでいるとき、記録終了後に再び記録開始する場合は

ハードディスクの残量が10%以下になると、残量ランプが点滅します。残量がなくなると（ハードディスクフル）、残量ランプが点灯し、録画ボタンを押しても記録できません。89
大切なデータや残しておきたいデータは、PCカードにアップロードできます。85
逆転コマ送りボタンとコマ送りボタンを同時に約4秒以上押し続けて、ハードディスクフルを解除してください。残量ランプが消灯します。
録画ボタンを押すと、再び記録が開始します。



お知らせ

ハードディスクフルを解除すると

- 画面の警告表示「HDD FULL」が消え、ハードディスク残量を示す数値は「100%」表示となります。
- アラーム数をお知らせするアラーム表示は「A00」になります。
- アラーム入力ランプが消灯します。

「STOP IF ALARM」や「STOP」を選んでいるときは、残量がなくならなくてもハードディスクフルを解除できます。ハードディスクフルを解除すると残量は100%となります。

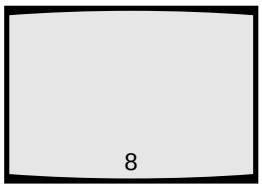
見る（再生）

ハードディスクに記録した映像を再生します。

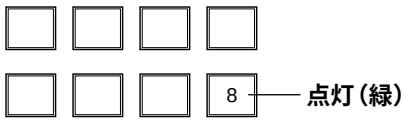
再生画面の種類

再生画面の種類は、次の3通りあります。
再生のしかたは次ページをご覧ください。

フル画面で見る

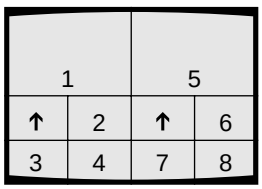


- 記録された映像の中から、1つの映像だけをモニター画面いっぱいに映し出して見ることができます。
- 再生中のチャンネルボタンの数字が点灯します。たとえば、VIDEO IN端子8の映像を再生しているときは、8のランプが点灯します。

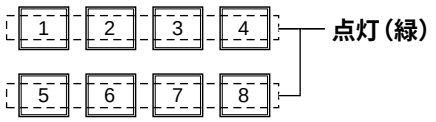


メモ
- 別の場面の映像に切り換えることができます。21

10分割画面で見る



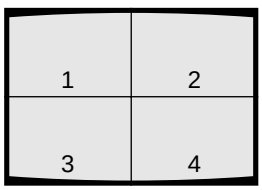
- 記録された8か所すべての映像を、10分割画面で見ることができます。画面の上半分の2つの映像は、特に注目したい場面の映像を映し出します。
- 画面の上半分に映し出された2つのチャンネルは、下半分の画面には表示されません。代わりに↑が表示されます。
- 再生中はチャンネルボタンの数字がすべて点灯します。



メモ
- 上半分の位置に表示される映像を並べ換えることができます。43
- 画面下半分の8つの映像どうしの切り換えはできません。

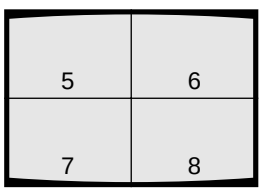
お知らせ
- 13ページの画面表示を消した状態（第3画面）で再生すると、矢印↑は表示されません。

4分割画面で見る



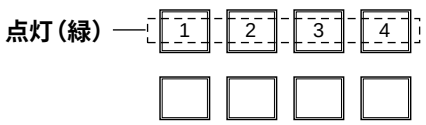
QUAD A

または



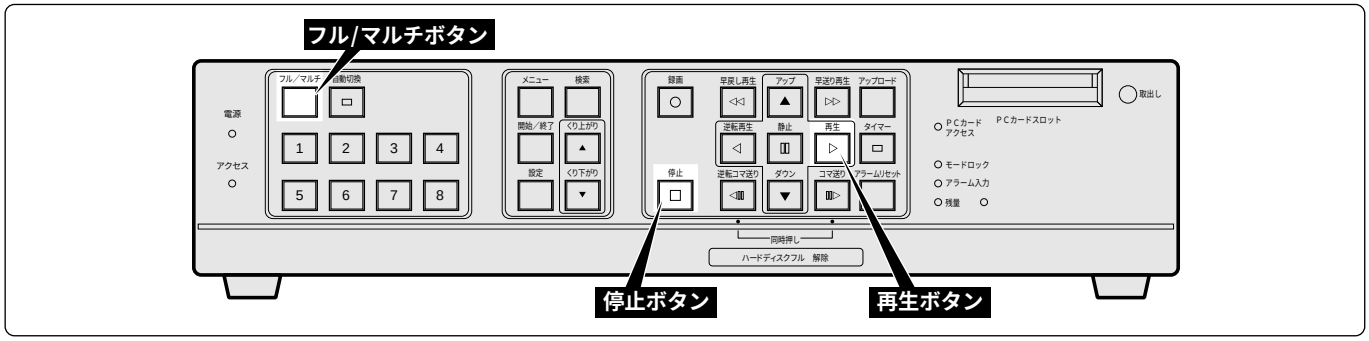
QUAD B

- 10分割画面の左下の4画面（QUAD A）または右下の4画面（QUAD B）どちらかの映像を、4分割画面で見ることができます。ただし4分割画面のとき↑は表示されません。代わりに映像が映し出されます。



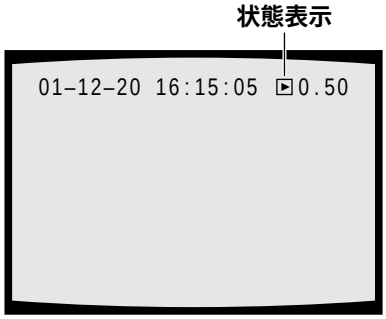
- 再生中のチャンネルボタンの数字が4つ点灯します。たとえば、QUAD Aの映像を再生しているときは、チャンネルボタン1〜4の数字が点灯します。ただし、10分割表示の映像を並び換えた場合は、並び換えた後のQUAD Aのチャンネルボタンの数字が点灯します。

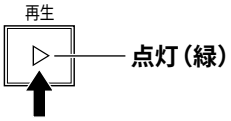
再生のしかた



1 再生ボタンを押す

- モニター画面の状態表示「▣」が「▶」に変わり、再生が始まります。
- 再生中は、再生ボタンのランプが点灯し、古いデータから再生が始まります。再生速度によって、再生画が映し出されるまでに数秒から数十秒間かかる場合があります。

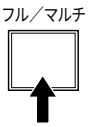




2 再生画面の種類を選ぶ

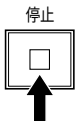
- 前ページの3通りの中から、ご希望の表示画面を選んでください。フル/マルチボタンを押すたびに次のように切り換わります。

10分割表示 ➡ 4分割表示（QUAD A） ➡ 4分割表示（QUAD B） ➡ フル画面表示



3 停止ボタンを押して、再生を終了する

- 停止ボタンを押すと、再生ボタンのランプが消えて、モニターには入力されている映像が映し出されます。

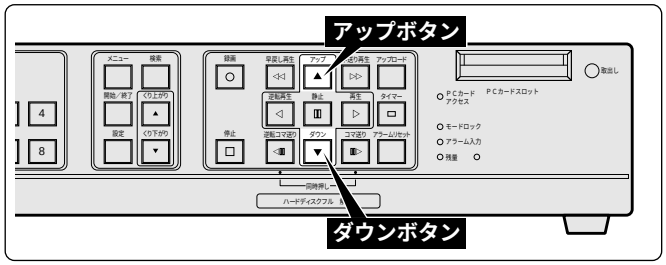


お知らせ

- 記録の最後まで再生すると、静止画になります。この状態で再生ボタンを押すと、古い記録から再生されます。
- 再生中はオートスイッチャー機能を働かせることはできません。
- 再生中はメニュー画面を表示することはできません。
- 記録終了後の最初の再生は、記録した間隔で再生されます。
- 記録を停止してから再生したとき、または本機の電源を入れたあとに再生したときは、古いデータから再生を始めます。
- 再生を一旦停止したあとに再生すると、停止した位置から再生が始まります。
- 画面表示を日付表示の出ている通常画面にしておくと、記録された日付や時刻を確認することができます。

再生スピードを変える

再生中のスピードを変えることができます。



1 再生中に、アップボタンまたはダウンボタンを押す

記録終了後に再生すると、記録された間隔で再生されます。ただし、記録間隔が「1」以上のときは、再生間隔は「1」になります。アップボタン、またはダウンボタンを押して再生間隔を変えることができます。

- アップボタンを押すと、再生間隔が広くなります。
- ダウンボタンを押すと、再生間隔はせまくなります。
- 一度再生したあとアップボタン、またはダウンボタンを押して再生間隔を変えると、その再生間隔を保持します。

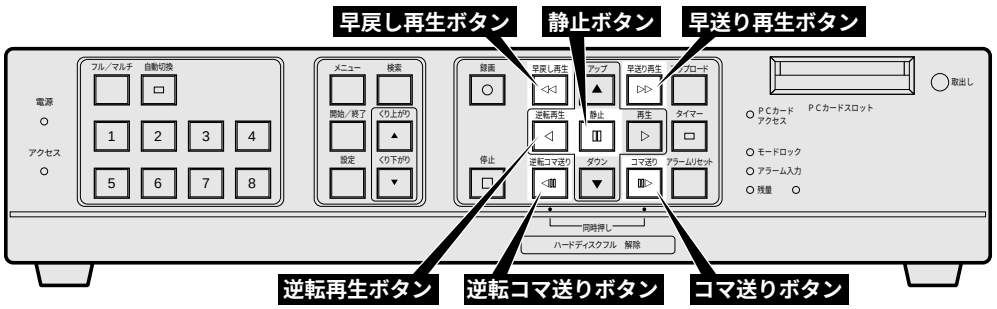
記録時の設定	アップボタン														
0.03	5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07
0.07		5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10
0.10			5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13
0.13				5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17
0.17					5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20
0.20						5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30
0.30							5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37
0.37								5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57	0.50
0.50									5	2	1.13	1	0.90	0.73	0.57
0.57										5	2	1.13	1	0.90	0.73
0.73											5	2	1.13	1	0.90
0.90												5	2	1.13	1
1													5	2	1.13
1.13													5	2	1.13
2													5	2	1.13
5													5	2	1.13
10													5	2	1.13
15													5	2	1.13
30													5	2	1.13
60													5	2	1.13

再生スタート時の再生間隔	ダウンボタン												
0.03	×5												
0.07	0.03	×5											
0.10	0.07	0.03	×5										
0.13	0.10	0.07	0.03	×5									
0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5								
0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5							
0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5						
0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5					
0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5				
0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5			
0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5		
0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5	
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5
1	0.90	0.73	0.57	0.50	0.37	0.30	0.20	0.17	0.13	0.10	0.07	0.03	×5

お知らせ ● ダウンボタンを押して「×5」を選ぶと、0.1秒間に約15コマとばしで再生します。

いろいろな再生

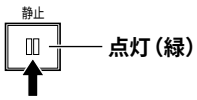
記録した映像を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。



見たい場面を止めて見る（静止画再生）

1 再生中に、静止ボタンを押す

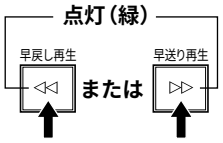
- モニター画面の状態表示「▶」が「⏸」に変わり、静止画再生します。
- 静止画再生中は、静止ボタンのランプが点灯（緑）します。
- もう一度静止ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
  再生ボタンでも、通常の再生に戻すことができます。



画像を見ながら見たい場面を探す（早送り再生/早戻し再生）

1 再生中に、早送り再生、または早戻し再生ボタンを押す

- モニター画面の状態表示「▶」が「⏩」または「⏪」に変わり、映像が早送りまたは早戻し状態で再生されます。
- 0.1秒間に1000コマとばしで再生されます。



2 見たい場面で再生ボタンを押す

- モニター画面の状態表示「▶」に変わり、通常の再生になります。

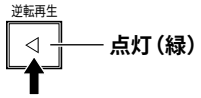
お知らせ

- 早送り再生、または早戻し再生中は、静止ボタンは受けつけません。
- 記録最後の部分まで早送り再生すると、静止画になります。
- 記録最初の部分まで早戻し再生すると、静止画になります。

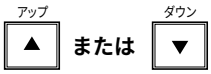
逆の動きで見る（逆転再生）

1 停止中に、逆転再生ボタンを押す

- 記録の新しい順に逆転再生します。
- 記録の最初まで逆転再生すると、静止画状態となります。
  ここで逆転再生ボタンを押すと、新しい記録から逆転再生します。
- 一旦停止して逆転再生すると、停止した位置から逆転再生します。



メモ　アップボタン、またはダウンボタンで再生スピードを変えることができます。40



ゆっくりとした速さで見る（コマ送り再生）

1 静止画再生中に、コマ送りボタンを押す

- 1回押すと、1画面に対して1フィールドコマ送りします。
- 押し続けると、毎秒2コマで連続してコマ送り再生します。

メモ　静止ボタン、または再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

逆の動きをゆっくり見る（逆転コマ送り再生）

1 静止画再生中に、逆転コマ送りボタンを押す

- 1回押すと、1画面に対して逆方向に1フィールドコマ送りします。
- 押し続けると、毎秒2コマで逆方向に連続してコマ送り再生します。

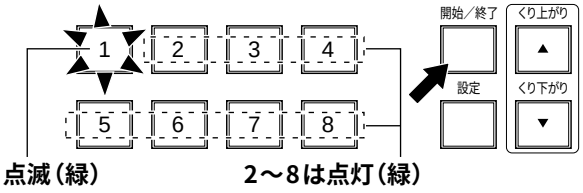
メモ　静止ボタン、または再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

特に注目したい再生画を大きく表示する

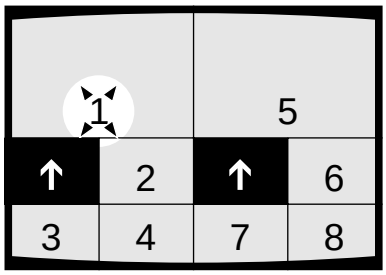
画面下半分に表示される映像のうち2つを、上半分に大きく表示することができます。ただし上半分に映し出された2つのチャンネルは、下半分の画面には表示されず、カメラ番号の代わりに↑が表示されます。

1 10分割表示で再生中に、開始/終了ボタンを押す

- 画面左上のカメラ番号「1」が点滅します。同時にチャンネルボタン1の数字も点滅します。



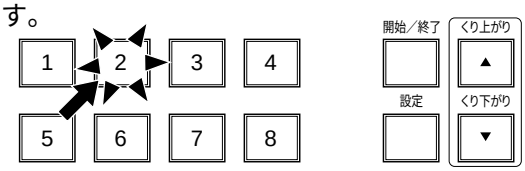
点滅（緑）　　2～8は点灯（緑）



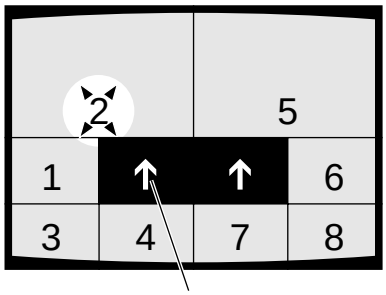
- 右側に別のチャンネルを表示させたいときは手順❸へお進みください。

2 チャンネルボタンを押す

- 大きく表示したい映像のチャンネルボタンを押します。



チャンネルボタンの2を押したとき

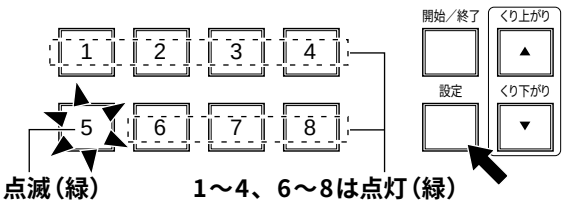


カメラ番号が矢印に変わります。

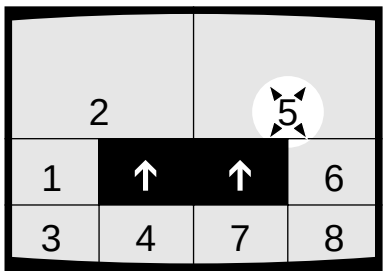
- 右側と同じ映像を表示することはできません。

3 設定ボタンを押す

- 画面右上のカメラ番号「5」が点滅します。同時にチャンネルボタン5の数字も点滅します。

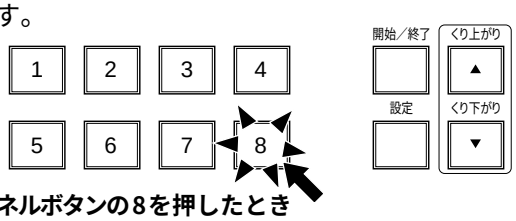


点滅（緑）　　1～4、6～8は点灯（緑）

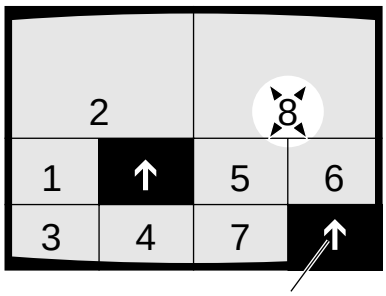


4 チャンネルボタンを押す

- 大きく表示したい映像のチャンネルボタンを押します。



チャンネルボタンの8を押したとき

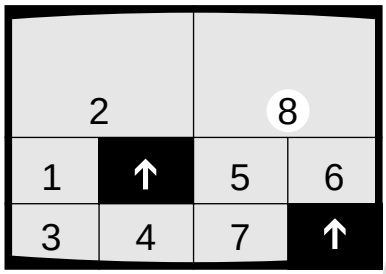


カメラ番号が矢印に変わります。

- 左側と同じ映像を表示することはできません。
- 左側を変更したいときは設定ボタンを押すと、左側のカメラ番号「2」を点滅させることができます。

5 開始/終了ボタンを押す

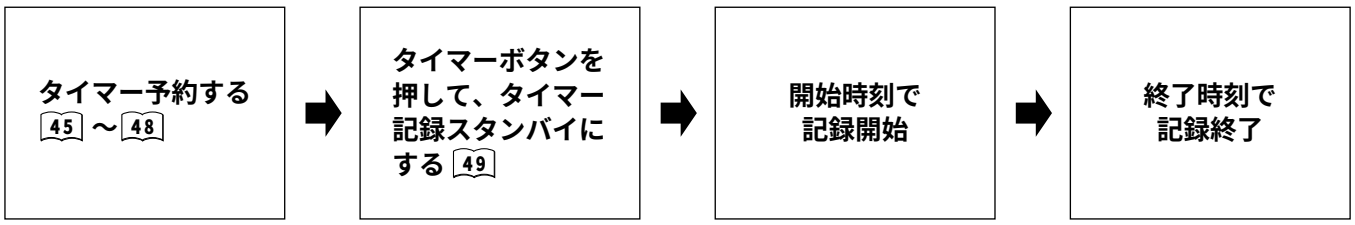
- カメラ番号が点滅から点灯に変わります。



タイマー記録をする

あらかじめ設定した時間帯を、自動的に記録することができます。

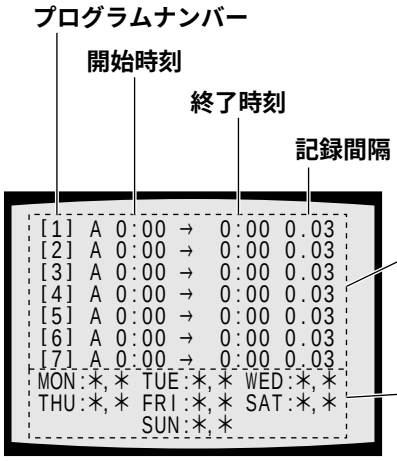
タイマー記録の流れ



メモ　日付・時刻を合わせておかないと、タイマー記録されません。 18

タイマー予約画面について

タイマー予約画面は、図のように7とおりのプログラム［1］～［7］と、各曜日ごとにプログラムを2つまで選択する部分で構成されています。



タイマー予約画面

プログラム［1］～［7］
記録開始時刻と終了時刻、記録間隔（0.03、0.07、0.10、0.13、0.17、0.20、0.30、0.37、0.50、0.57、0.73、0.90、1、1.13、2、5、10、15、30、60のどれか1つ）を設定してください。

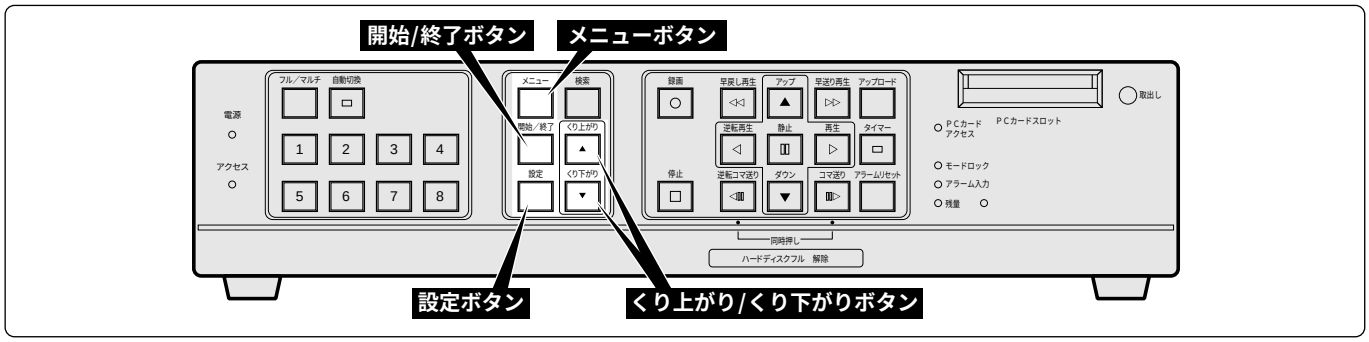
プログラム選択
各曜日ごとにプログラム［1］～［7］のどれかを選びます。2つまで設定することができます。

メモ
- プログラムは7とおりすべて設定する必要はありません。使わないプログラムは、そのままにしておいてください。
- プログラム選択は2つ設定する必要はありません。タイマー記録したくない曜日は「＊、＊」のままにしておいてください。

お知らせ
- タイマー予約画面表示中、何も操作しないで5分経過するともとの画面に戻ります。もう一度表示させたいときは、メニューを押したあとくり上がりボタンを押して表示させてください。
- タイマー記録時の画質は、記録モード設定画面「REC MODE SET」の「P. QUALITY」で設定したモードになります。 32

タイマー予約の設定

説明の例として、「プログラムナンバー［1］に記録パターンBで、AM8：30からPM5：00までを0.1秒間隔で記録するように設定し、このプログラムを月曜日から金曜日まで実行する」というタイマー予約の設定操作を説明します。

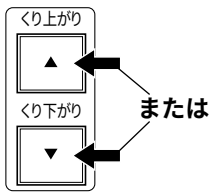


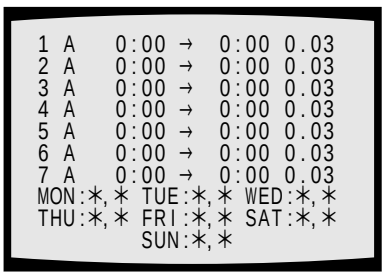
1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

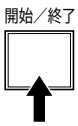
- タイマー予約画面が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。

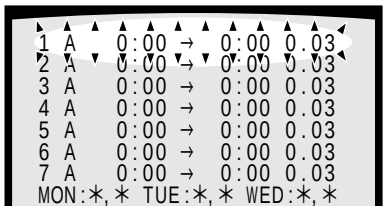




3 開始/終了ボタンを押す

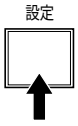
- プログラムナンバー［1］の行がすべて点滅します。





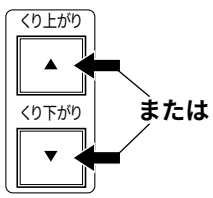
4 設定ボタンを押す

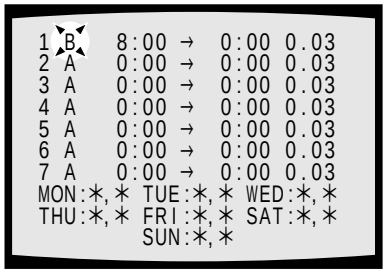
- 記録パターン“ A ”が点滅します。



5 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して記録パターンを選ぶ

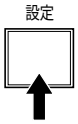
- 「B」に合わせてください。
- くり上がり、またはくり下がりボタンを押すたびにパターンが変わります。ボ タンを押し続けると、パターンは連続して変わります。

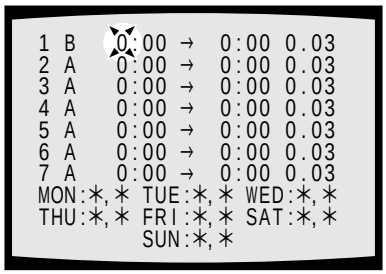




6 設定ボタンを押す

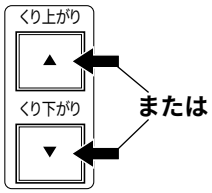
- 開始時刻の「時」が点滅します。

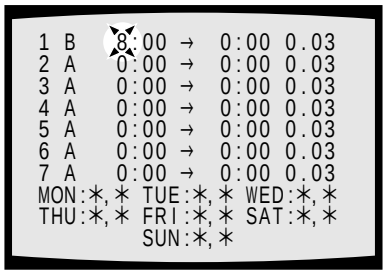




7 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して「時」を合わせる

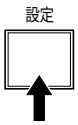
- 「8」に合わせてください。
- くり上がり、またはくり下がりボタンを押すたびに数値が変わります。ボタンを押し続けると、数値は連続して変わります。

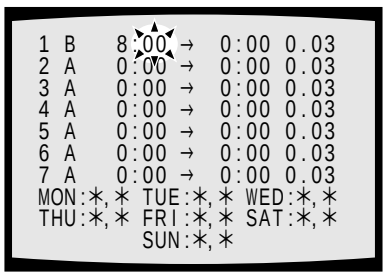




8 設定ボタンを押す

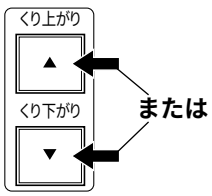
- 開始時刻の「分」が点滅します。

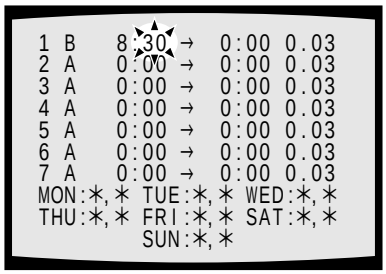




9 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して「分」を合わせる

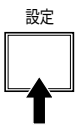
- 「30」にしてください。
- くり上がり、またはくり下がりボタンを押すたびに数値が変わります。ボタンを押し続けると、数値は連続して変わります。

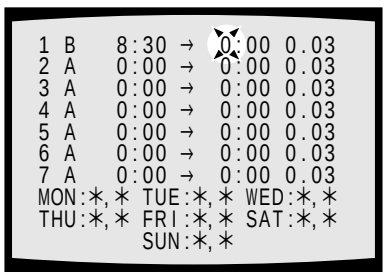




10 設定ボタンを押す

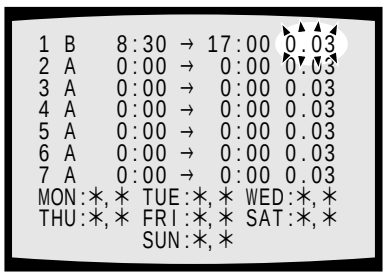
- 開始時刻が設定され、終了時刻の「時」が点滅します。





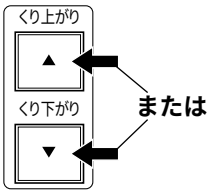
11 手順❺～❽を繰り返して終了時刻を設定する

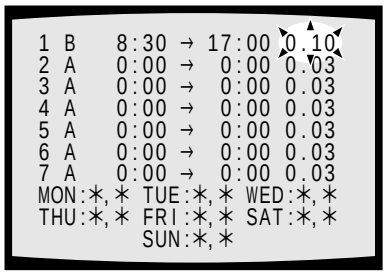
- 記録間隔が点滅します。



12 くり上がり、またはくり下がりボタンで記録間隔を選ぶ

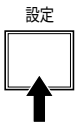
- 「0.10」にしてください。

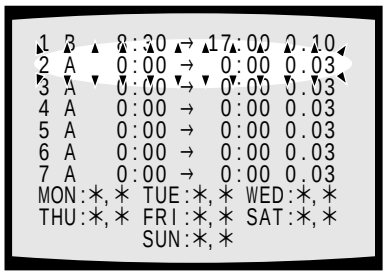




13 設定ボタンを押す

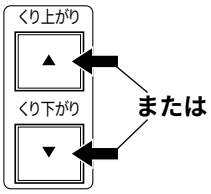
- プログラムナンバー[2]の行がすべて点滅します。
- プログラム[2]から[7]も設定したいときは、手順❹から❿と同じ要領で設定してください。

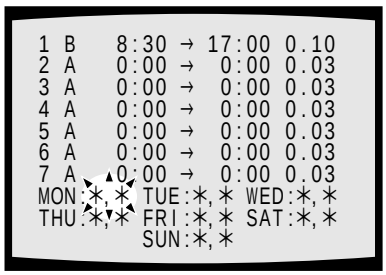




14 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して、「MON＊，＊」を点滅させる

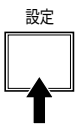
- プログラムナンバーの1行がすべて点滅しているときに、くり上がり、またはくり下がりボタンを押すと、早く飛び越すことができます。

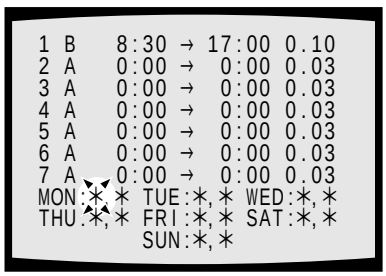




15 設定ボタンを押す

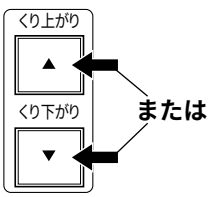
- MON（月曜日）の1つ目の「＊」が点滅します。

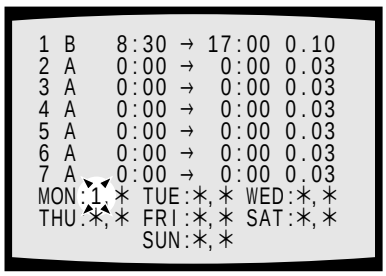




16 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

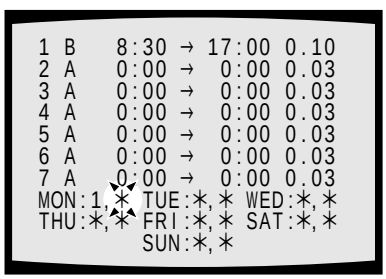
- 「1」にしてください。
- くり上がり、またはくり下がりボタンを押すたびに、数値が変わります。ボタンを押し続けると、数値は連続して変わります。





17 設定ボタンを押す

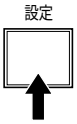
- MON（月曜日）の2つ目の「＊」が点滅します。

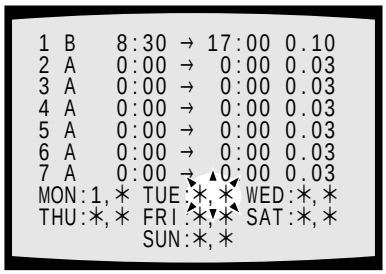


18 設定ボタンを押す

- TUE（火曜日）の「∗,∗」が点滅します。

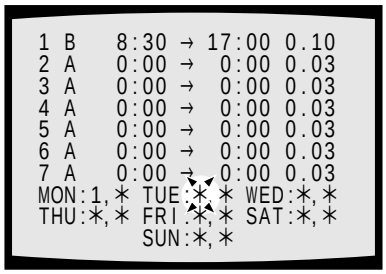
設定





19 手順⓭～⓰を繰り返す

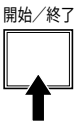
- 手順⓭～⓰と同じ要領で、金曜日まで設定してください。

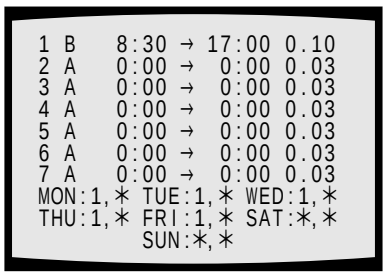


20 開始/終了ボタンを押す

- 点滅が止まります。

開始／終了

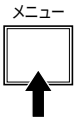




21 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

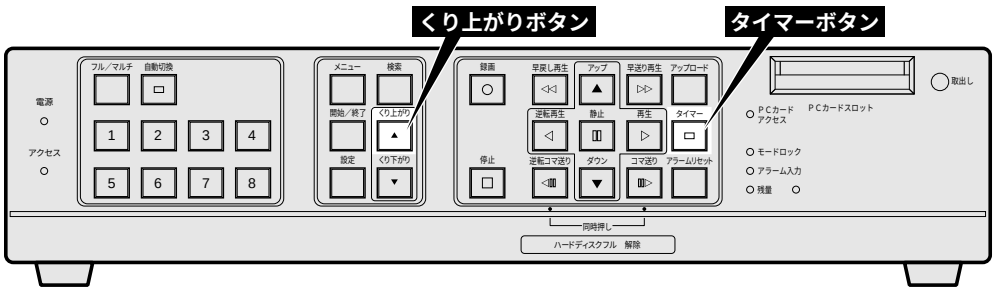
メニュー



これでタイマー予約の設定は終わりです。
タイマー記録のしかたは、次のページをご覧ください。

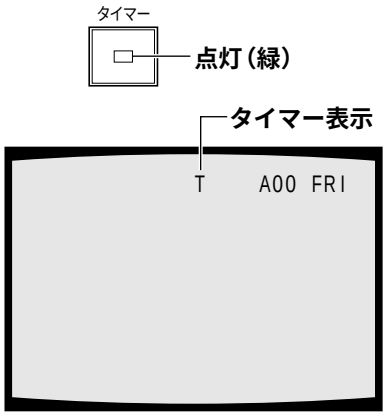
タイマー予約する

タイマー予約が終わったら、タイマー記録待機状態にします。



1 タイマーボタンを押す

- タイマーボタンのランプが点灯し、タイマー記録待機状態になります。
- くり上がりボタンを押して画面表示を第2画面に変えているときは、「T」が表示されます。



（第2画面）

あとは設定された内容でタイマー記録されます。

お知らせ タイマーボタンのランプが点滅したときは、タイマー記録されません。以下の原因が考えられますので、ご確認ください。

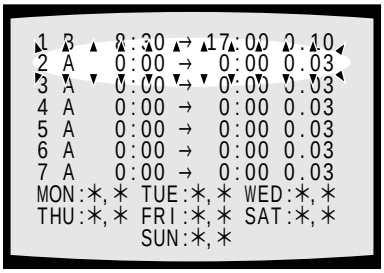
- 日付・時刻を合わせていないとき 18
- タイマー予約していないとき 45
- ハードディスクフル（ハードディスクの残量なし）のとき 89

タイマー予約の訂正のしかた

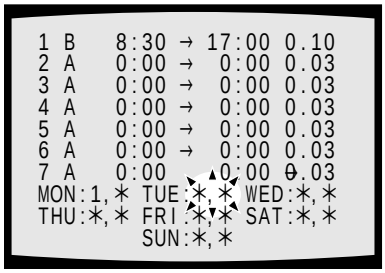
タイマー予約を設定中に訂正したいとき

直したいところが点滅するまで、設定ボタンを繰り返し押し、くり上がりまたはくり下がりボタンで訂正してください。

メモ 図のように1行全部点滅しているときに、くり上がりまたはくり下がりボタンを押すと、早く前後の項目へ点滅を移すことができます。



- くり上がりボタンを押すとプログラム［3］の行すべてが点滅します。
- くり下がりボタンを押すとプログラム［1］の行すべてが点滅します。



- くり上がりボタンを押すとWED：（水曜日）の「＊,＊」が点滅します。
- くり下がりボタンを押すとMON：（月曜日）の「＊,＊」が点滅します。

タイマー予約を設定したあとに訂正したいとき

お知らせ タイマー記録待機中（タイマーボタンのランプが点灯しているとき）は訂正できません。このようなときは、タイマーボタンを押して、タイマー記録待機状態を解除してください。
45ページの手順❶～❸の操作をしたあと、上記と同じ要領で訂正してください。訂正が終わったら、開始/終了ボタンを押してください。

こんなときは…

タイマー記録終了後の予約内容は

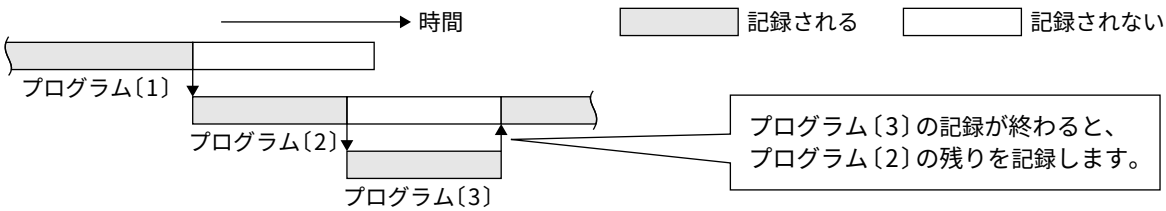
記録終了後も予約内容は保持されます。

タイマー記録待機中に記録、再生したいときは

タイマー記録待機中も普通に操作することができます。

タイマー予約が重なったときは

記録開始時刻の遅い方へ切り換わります。



開始時刻を過ぎているときは

タイマーボタンを押すと記録を始めます。終了時刻になると自動的に停止します。

タイマー記録を中断したあと、再びタイマー記録を始めるときは

- 停止ボタンでタイマー記録を一時中断したときは、録画ボタンを押すとタイマー記録を再開します。このとき、終了時刻が過ぎていなければ終了時刻で停止し、終了時刻が過ぎているときは、次のタイマー記録の終了時刻まで記録したあと、自動的に停止します。
- タイマー記録を中断したあと、いったんタイマーボタンを押してランプを消してから、再びタイマーボタンを押してください。ランプが点灯し、タイマー記録が再開します。

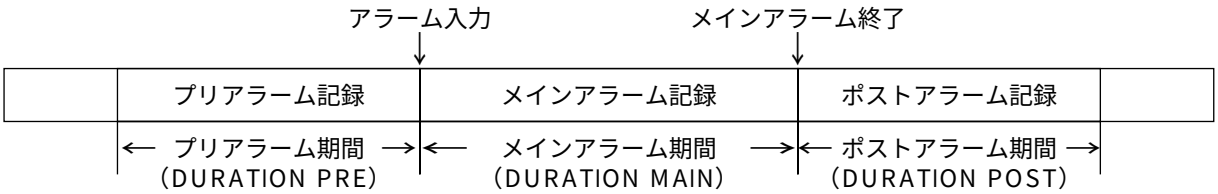
アラーム記録をする

アラーム記録とは

ドアスイッチやセンサーなどを本機のアラーム入力端子に接続することにより、センサーと連動して、あらかじめ設定しておいたモードで記録することができます。
アラーム入力はカメラ入力単位に設けられており、アラームが入ったカメラの信号だけを集中的に記録するモードや、アラーム入力があったときよりも前の時刻の映像も記録するモードがあります。

アラーム記録される部分について

アラーム記録される部分は、プリアラーム記録、メインアラーム記録、ポストアラーム記録の3つから成り立っています。



プリアラーム記録　：アラーム入力される数秒前からの映像を記録します。
- 記録間隔は［ALARM SET］画面の「INTERVAL PRE・POST」で設定します。
- 記録期間は「DURATION PRE」で設定します。

メインアラーム記録：アラーム入力されてから、設定されたモードで記録します。
- 記録モードは、［ALARM SET］画面の「MODE」で設定します。
- 記録間隔は「INTERVAL MAIN」で設定します。
- 記録期間は「DURATION MAIN」で設定します。

ポストアラーム記録：メインアラーム終了後、数秒間記録を続けます。
- 記録間隔は、［ALARM SET］画面の「INTERVAL PRE・POST」で設定します。
- 記録期間は「DURATION POST」で設定します。

アラーム記録モードについて

アラーム記録モードの種類は、MODE 1～MODE 3の3種類です。

MODE 1：アラーム入力があったとき、どのチャンネルにアラーム入力があっても、入力されている信号全てを順番に記録していきます。例えばチャンネル1～チャンネル4に信号が入力されているときは、

1 → 2 → 3 → 4 → 1 → 2 → 3 → 4 → 1 → 2 …

の順に記録します。プリアラーム記録、メインアラーム記録、ポストアラーム記録とも共通です。

MODE 2：

プリアラーム記録時　アラーム入力があったチャンネルのみを記録します。例えば、チャンネル1～4に信号が入力されているときに、チャンネル2にアラーム入力があった場合は、

(1) → **2** → (3) → (4) → (1) → **2** → (3) → (4) → (1) → **2** …

のように、チャンネル2の信号のみを記録します。ただし、2つ以上のアラームが重なった場合は、最初にアラーム入力されたチャンネルのみ、プリアラーム記録します。

メインアラーム記録時　アラーム入力があったチャンネルのみを集中的に記録します。例えば、チャンネル1～4に信号が入力されているときに、チャンネル2にアラーム入力があった場合は、

2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 …

のように記録します。チャンネル2とチャンネル4にアラーム入力があった場合は、

2 → 4 → 2 → 4 → 2 → 4 → 2 → 4 → 2 → 4 …

のように記録します。

ポストアラーム記録時　プリアラーム記録時と同じ動作をします。
ただし、2つ以上のポストアラームが重なった場合は、アラーム入力があったチャンネルのみを記録します。例えば、チャンネル1～4に信号が入力されており、チャンネル2と4のポストアラームが重なった場合は、

(1) → **2** → (3) → **4** → (1) → **2** → (3) → **4** → (1) → **2** …

のように、チャンネル2とチャンネル4の信号のみを記録します。

アラーム記録モードについて

MODE 3：アラーム入力があったチャンネルのみを記録します。例えば、チャンネル1～チャンネル4に信号が入力されているときに、チャンネル2にアラーム入力があった場合は、

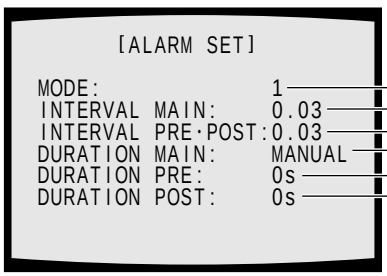
（1）→ **2** →（3）→（4）→（1）→ **2** →（3）→（4）→（1）→ **2** …

のように、チャンネル2の信号のみを記録します。チャンネル2とチャンネル4にアラーム入力があった場合は、

（1）→ **2** →（3）→**4** →（1）→ **2** →（3）→**4** →（1）→ **2** …

というようにチャンネル2とチャンネル4の信号のみを記録します。プリアラーム記録、メインアラーム記録、ポストアラーム記録とも共通です。

アラーム設定画面について



MODE

どのカメラの映像を記録するかを選択します。

「1」：接続されているカメラすべてを切り換えて記録します。

「2」：アラームがあったカメラのみを記録します。複数のカメラにアラームがあったときは、アラームのあったカメラを切り換えて記録します。

「3」：接続されている全てのカメラを切り換え、アラームがあったカメラのみを記録します。

INTERVAL MAIN

メインアラーム記録時の記録間隔を設定します。

0.03秒、0.07秒、0.10秒、0.13秒、0.17秒、0.20秒、0.30秒、0.37秒、0.50秒、0.57秒、0.73秒、0.90秒、1秒、1.13秒、2秒、5秒、10秒、15秒、30秒、60秒の間隔の中から選択することができます。

INTERVAL PRE･POST

メインアラーム記録の前後に記録するための記録間隔を設定します。

0.03秒、0.07秒、0.10秒、0.13秒、0.17秒、0.20秒、0.30秒、0.37秒、0.50秒、0.57秒、0.73秒、0.90秒、1秒、1.13秒、2秒、5秒、10秒の間隔の中から選択することができます。

DURATION MAIN

メインアラームの記録時間を設定します。

「MANUAL」：アラーム入力のある間記録します。
「5s」：5秒間記録します。
「10s」：10秒間記録します。
「15s」：15秒間記録します。
「30s」：30秒間記録します。
「1min」：1分間記録します。
「3min」：3分間記録します。
「5min」：5分間記録します。
「10min」：10分間記録します。

DURATION PRE

メインアラームの記録の直前に記録する時間を設定します。

「0s」：記録はしません。
「3s」：3秒間記録します。
「5s」：5秒間記録します。

DURATION POST

メインアラームの記録の直後に記録する時間を設定します。

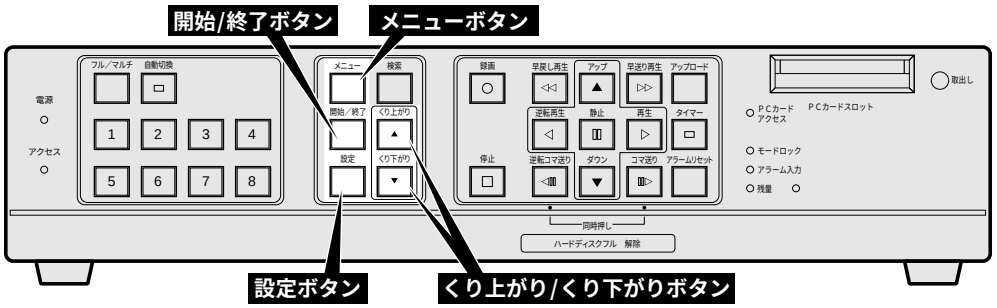
「0s」：記録はしません。
「5s」：5秒間記録します。
「10s」：10秒間記録します。

お知らせ

- アラーム記録時の画質は、記録モード設定画面［REC MODE SET］の「P. QUALITY」で設定したモードになります。32
- 記録時間より長い記録間隔を設定すると、記録されませんのでご注意ください。

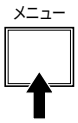
設定のしかた

説明の例として、「MODE: 1」でプリアラーム記録・ポストアラーム記録をせずに、メインアラーム入力のある間0.03秒間隔で記録をするようにアラーム記録を設定する操作を説明します。



1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

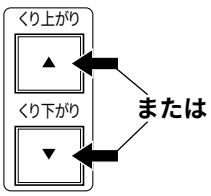



```
[CLOCK SET]

01-12-20  THU
14:30:01
          AC
```

2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [ALARM SET]が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。

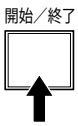



```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

3 開始/終了ボタンを押す

- MODE：の「1」が点滅します。

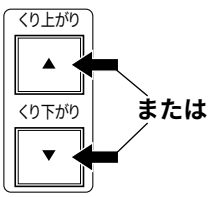



```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- 記録モードを選んでください。
- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆です。



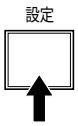
1 → 2 → 3

```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

5 設定ボタンを押す

- INTERVAL MAIN：の「0.03」が点滅します。

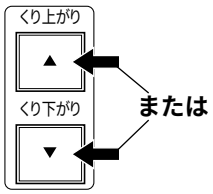



```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

6 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- 記録間隔を選んでください。
- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆です。



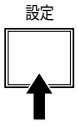

```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

0.03 → 0.07 → 0.10 → 0.13 → 0.17 → 0.20 → 0.30 → 0.37 → 0.50
↑ ↓
60 ← 30 ← 15 ← 10 ← 5 ← 2 ← 1.13 ← 1 ← 0.90 ← 0.73 ← 0.57

7 設定ボタンを押す

- INTERVAL PRE･POST：の「0.03」が点滅します。

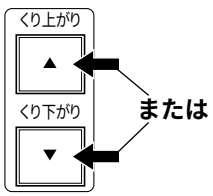



```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

8 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆です。



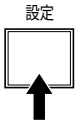

```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

0.03 → 0.07 → 0.10 → 0.13 → 0.17 → 0.20 → 0.30 → 0.37
↑ ↓
10 ← 5 ← 2 ← 1.13 ← 1 ← 0.90 ← 0.73 ← 0.57 ← 0.50

9 設定ボタンを押す

- DURATION　MAIN：の「MANUAL」が点滅します。

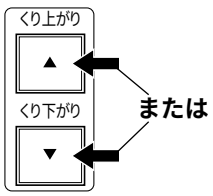



```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

10 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆順です。



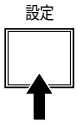
MANUAL → 5s → 10s → 15s → 30s
↑ ↓
10min ← 5min ← 3min ← 1min

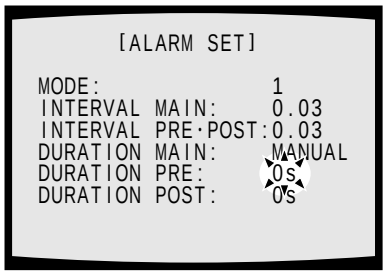
```
[ALARM SET]

MODE:                1
INTERVAL MAIN:     0.03
INTERVAL PRE･POST:0.03
DURATION MAIN:     MANUAL
DURATION PRE:      0s
DURATION POST:     0s
```

11 設定ボタンを押す

- DURATION PRE：の「0s」が点滅します。

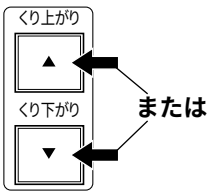


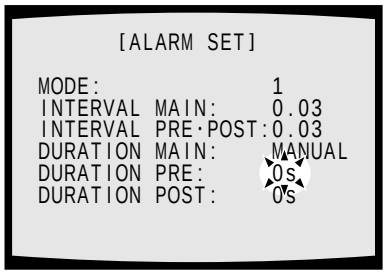


12 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆です。

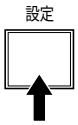
0s → 3s → 5s

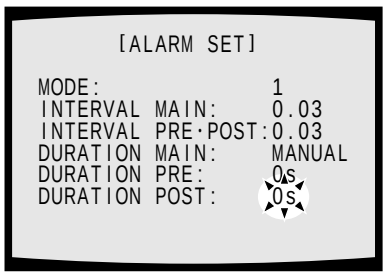




13 設定ボタンを押す

- DURATION POST：の「0s」が点滅します。

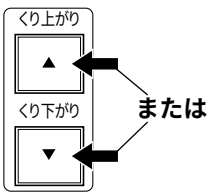


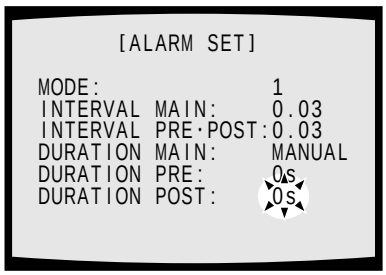


14 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- くり上がりボタンを押すたびに、表示は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆です。

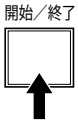
0s → 5s → 10s

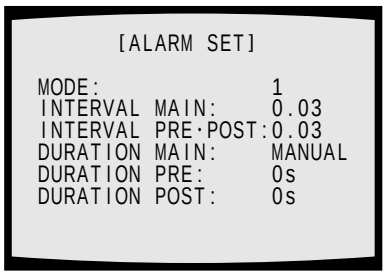




15 開始/終了ボタンを押す

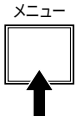
- アラーム記録の条件の設定は終わりです。





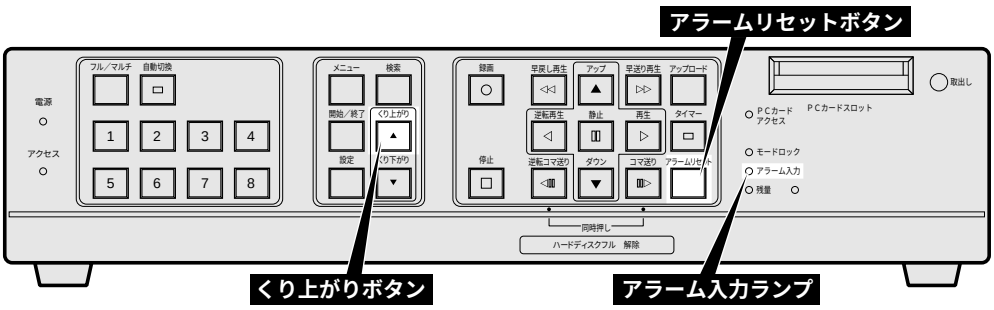
16 メニューボタンを押す

- 元の画面に戻ります。

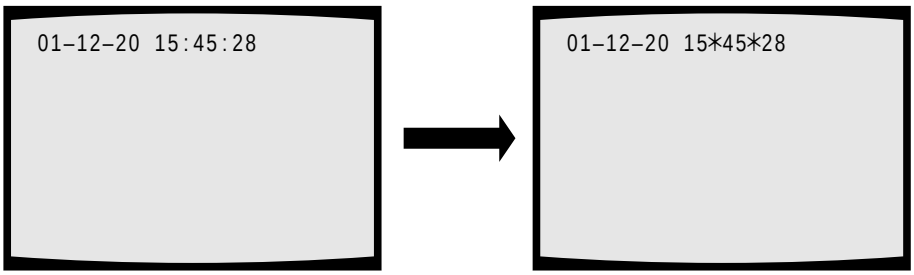


アラーム入力があると

アラーム入力があると、本機のアラーム入力ランプが点灯し、アラーム設定画面で設定した内容でアラーム記録されます。アラーム記録があった場合は、アラーム入力ランプが点滅してお知らせします。



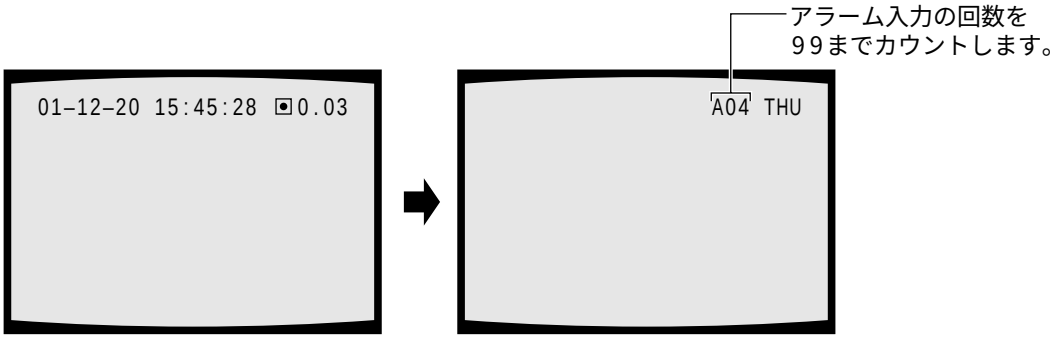
第1画面の時刻表示の“ ： ”が“ ＊ ”に変わり、アラーム記録中であることをお知らせします。



また、今までのアラーム入力回数も確認することができます。

1 くり上がりボタンを押す

- 第2画面でアラーム入力の回数を確認することができます。
- アラーム入力があると、アラーム入力ランプが点灯してお知らせします。



メモ ● アラーム入力のあった映像を確認することができます。69

2 くり上がりボタンを押して、元の画面に戻す

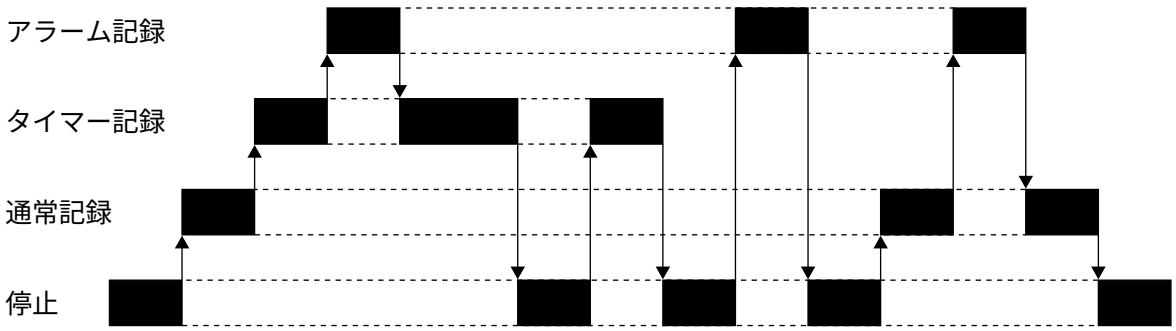
- くり上がりボタンを1回押すと、画面表示が消えます。
- もう一度くり上がりボタンを押すと、第1画面に戻ります。

アラームリセットボタンを押したとき

アラーム入力の回数がA00になり、アラーム入力ランプの点滅が消えます。

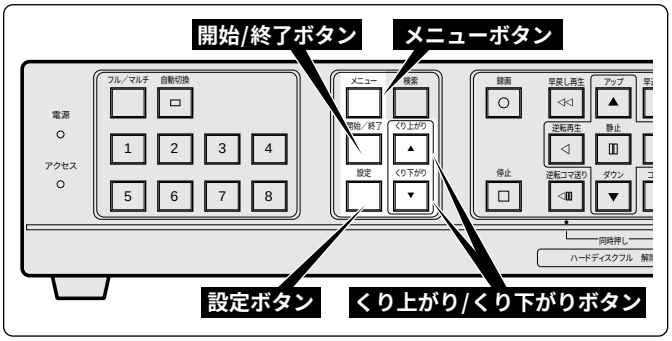
お知らせ

- 停電などにより、第2画面（13）の「P」が点滅しているときには、アラームリセットボタンを2回押してください。1回目で「P」の点滅を消し、2回目でアラームをリセットします（56）。
- 記録の優先順位は、アラーム記録、タイマー記録、通常記録の順です。
  通常記録中にタイマー記録の時間になると、タイマー記録が始まります。
  タイマー記録中にアラーム入力があると、アラーム記録が始まります。
  一例を下図に示します。



スイッチャーの切り換わりタイミングを設定する

フル画面、10分割表示の場合は、自動切換時の映像の表示時間を、チャンネルごとに1、2、3、5、10秒、SKIPのどれか1つ選ぶことができます。また、モニターに表示させたくないチャンネルはスキップするように設定することも可能です。
4分割表示の場合は、4分割ごとの表示時間を1、2、3、5、10秒のどれか1つ選ぶことができます。



オートスイッチャー設定画面について

オートスイッチャー設定画面

```
[AUTO SW SET]

FULL/MULTI AUTO SW
 CH1:    1s  CH2:  SKIP
 CH3:    1s  CH4:    1s
 CH5:  SKIP  CH6:    1s
 CH7:    1s  CH8:    1s
QUAD AUTO SW
 QUAD A:        1s
 QUAD B:        1s
```

フル画面、10分割表示でオートスイッチャーを働かせる場合の、各チャンネルの表示間隔を設定します。
表示したくないチャンネルには、「SKIP」を選択してください。映像が入力されていないときは、自動的に「SKIP」が表示されます。

4分割表示でオートスイッチャーを働かせる場合の、4分割ごとの表示間隔を設定します。

間隔を調節する（フル画面/10分割表示のとき）

1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

```
[CLOCK SET]

01-12-20  THU
14:30:01
          AC
```

2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

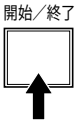
- [AUTO SW SET]が表示されるまで、くり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。

```
[AUTO SW SET]

FULL/MULTI AUTO SW
 CH1:    1s  CH2:  SKIP
 CH3:    1s  CH4:    1s
 CH5:  SKIP  CH6:    1s
 CH7:    1s  CH8:    1s
QUAD AUTO SW
 QUAD A:        1s
 QUAD B:        1s
```

3 開始/終了ボタンを押す

- CH1（チャンネル1）の表示間隔（秒数）が点滅します。

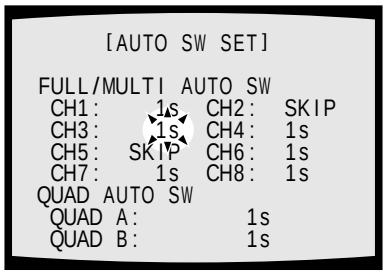



```
[AUTO SW SET]

FULL/MULTI AUTO SW
 CH1:    1s  CH2:  SKIP
 CH3:    1s  CH4:    1s
 CH5:  SKIP  CH6:    1s
 CH7:    1s  CH8:    1s
QUAD AUTO SW
 QUAD A:        1s
 QUAD B:        1s
```

4 設定ボタンをくり返し押して、設定したいチャンネルの秒数を点滅させる

- 未入力による「SKIP」表示は、選択する（点滅させる）ことができません。

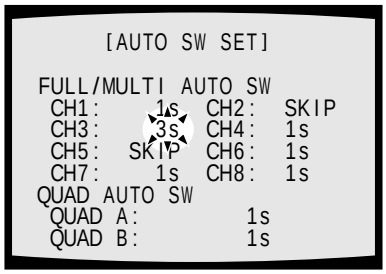


5 くり上がり、またはくり下がりボタンで秒数を選ぶ

- くり上がりボタンを押すたびに、次のように変わります。くり下がりボタンはこれの逆です。

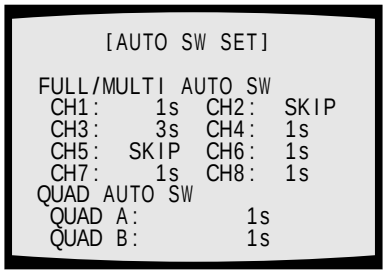
1s → 2s → 3s → 5s → 10s → SKIP

- 工場出荷時は1s（1秒）に設定されています。



6 開始/終了ボタンを押す

- 秒数の点滅が点灯に変わります。



7 メニューボタンを押す

- 元の表示に戻ります。

オートスイッチャーを働かせたいとき

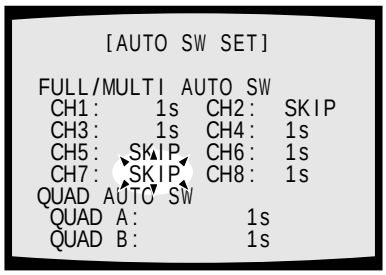
26、27ページの操作をしてください。

チャンネルスキップ（フル画面/10分割表示のとき）

任意のチャンネルをとばして見ることができます。

1 上記の手順❺で「SKIP」を選ぶ

- ここで「SKIP」を設定したチャンネルはモニター上には表示されませんが、ハードディスク上には記録されます。
- ここで「SKIP」を設定したチャンネルの映像は、10分割／4分割表示のとき黒く表示されます。



とばしたチャンネルを再び表示させたいとき

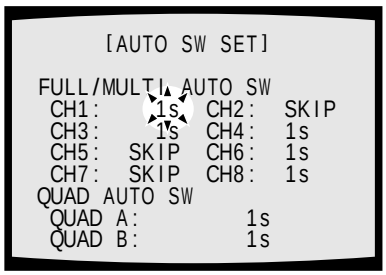
「SKIP」以外の秒数を選んでください。

- 映像が入力されていないチャンネルは、自動的に「SKIP」が表示されます。未入力による「SKIP」表示を、秒数指定することはできません。

間隔を調節する（4分割表示のとき）

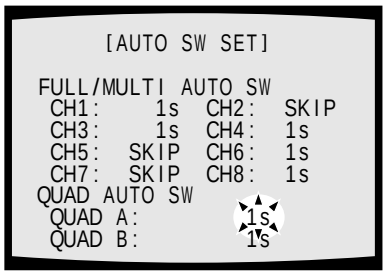
1 58ページの手順❶～❸の操作をする

- [AUTO SW SET]の画面を表示させます。



2 設定ボタンを押す

- QUAD Aの表示間隔（秒数）が点滅するまで設定ボタンを押す。

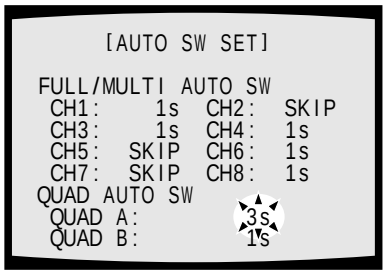


3 くり上がり、またはくり下がりボタンで秒数を選ぶ

- くり上がりボタンを押すたびに、次のように変わります。くり下がりボタンはこれの逆です。

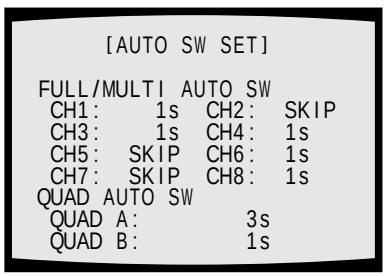
1s → 2s → 3s → 5s → 10s

- 工場出荷時は1秒に設定されています。
- 「SKIP」は表示されません。



4 設定ボタンを押す

- 秒数の点滅が点灯に変わります。
- 続けてQUAD Bの秒数を設定したいときは、手順❸、❹を繰り返してください。



5 開始/終了ボタンを押す

- 間隔が設定されます。

6 メニューボタンを押す

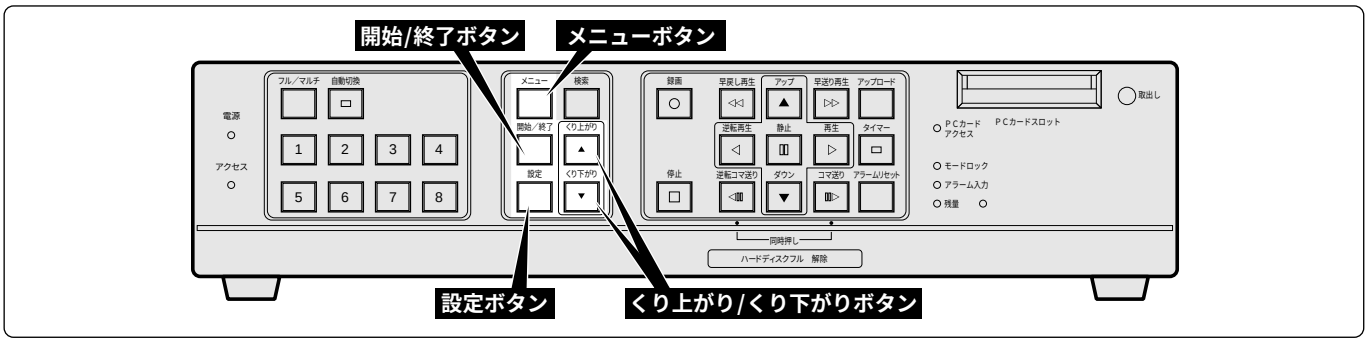
- 元の画面に戻ります。

オートスイッチャーを働かせたいとき

28ページの操作をしてください。

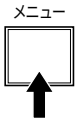
カメラ番号を表示する、タイトルを設定する

接続したカメラの番号を表示させたり、カメラ番号の代わりに、画面にタイトルを入れることができます。



1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

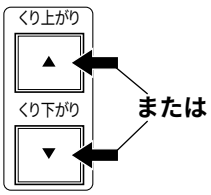



```
[CLOCK SET]

01-12-20  THU
14:30:01
          AC
```

2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [TITLE SET]が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。




```
[TITLE SET]
TITLE:      OFF
 CH1:         1
 CH2:         2
 CH3:         3
 CH4:         4
 CH5:         5
 CH6:         6
 CH7:         7
 CH8:         8
```

3 開始/終了ボタンを押す

- TITLEの「OFF」が点滅します。

```
[TITLE SET]
TITLE:      OFF
 CH1:         1
 CH2:         2
 CH3:         3
 CH4:         4
 CH5:         5
 CH6:         6
 CH7:         7
 CH8:         8
```

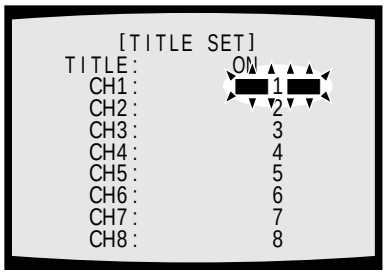
4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- TITLEを「ON」にします。
- タイトルを設定したいときは、手順❺にお進みください。
- カメラ番号を表示するときは手順⓬にお進みください。

```
[TITLE SET]
TITLE:      ON
 CH1:         1
 CH2:         2
 CH3:         3
 CH4:         4
 CH5:         5
 CH6:         6
 CH7:         7
 CH8:         8
```

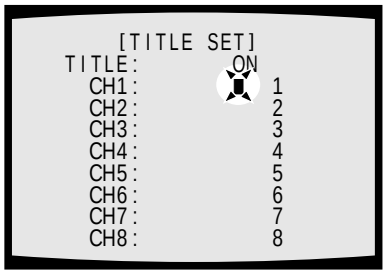
5 設定ボタンを押す

- タイトル設定画面になります。



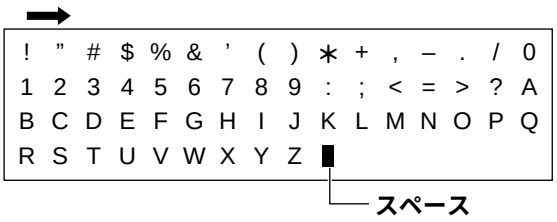
6 設定ボタンを押す

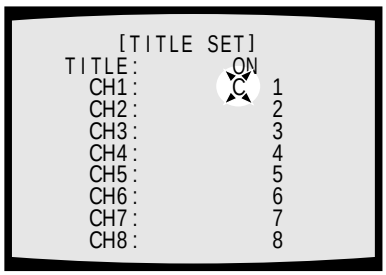
- 1文字目が点滅します。



7 くり上がり、またはくり下がりボタンを押して文字を選ぶ

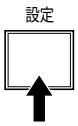
- くり上がりボタンを押すたびに文字が次のように変わります。くり下がりボタンは、この逆順で変わります。お好みの文字を選んでください。

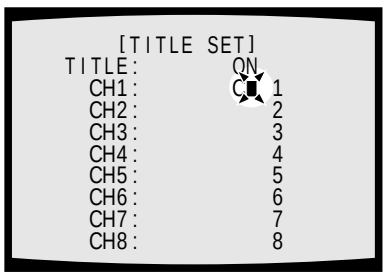




8 文字が決まったら設定ボタンを押す

- 1文字目が設定されます。



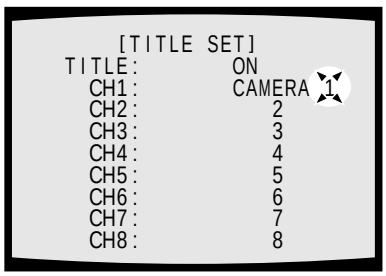


9 手順❼、❽を繰り返してタイトルを作成する

- スペースを入れたいときは、「■」を点滅させてから設定ボタンを押してください。カーソルが次に移動します。

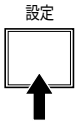
お知らせ

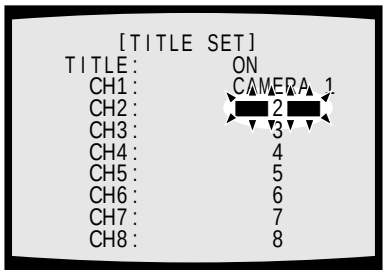
- タイトルは、1行に8文字まで設定することができます。



10 設定ボタンを押す

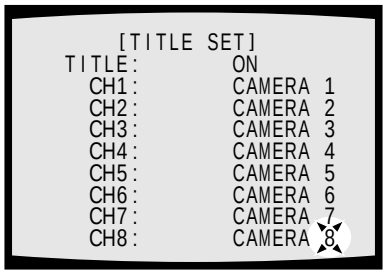
- CH1のタイトルが設定されます。





11 手順❻～❿を繰り返す

- CH8までのタイトルを設定します。
- 1行全てが点滅しているときにくり上がりボタンを押すと、次の行のタイトル設定モードに移ります。



12 開始/終了ボタンを押す

- 各チャンネルのタイトルが設定されます。

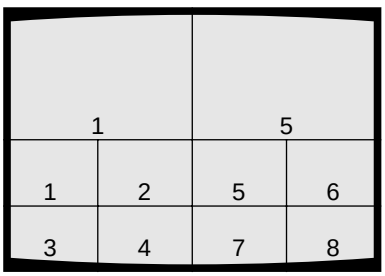
13 メニューボタンを押す

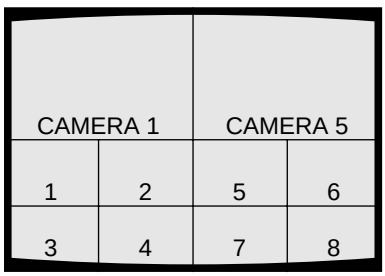
- 元の画面に戻ります。

カメラ番号を表示させた場合

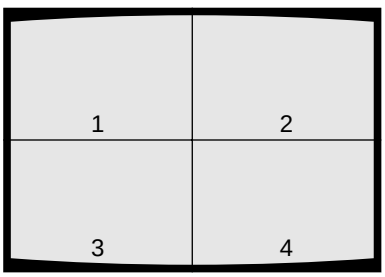
タイトルを入れた場合の例

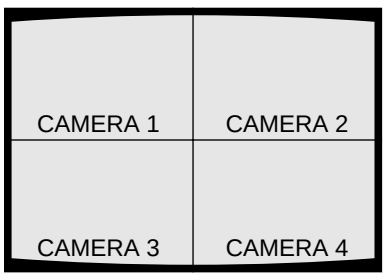
10分割表示



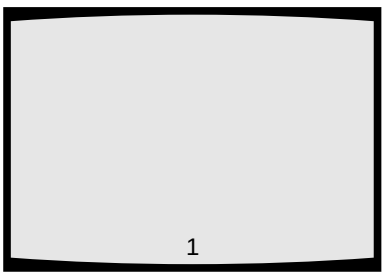


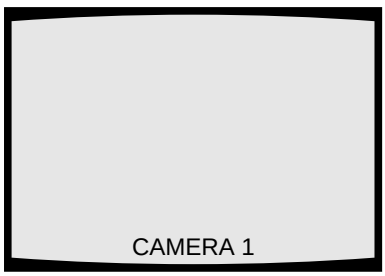
4分割表示





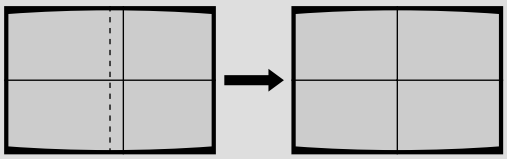
フル画面表示

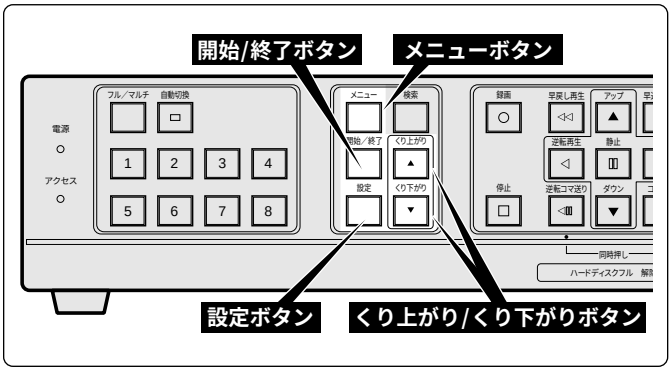




4、10分割表示の中心を、モニター画面の中心に合わせる

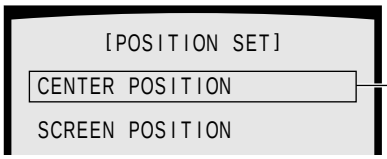
お使いになるモニターによっては、4分割表示または10分割表示の中心部分（画面を区切っている十字の部分）が、モニター画面の中心にならない場合があります。このようなときは、次のように調節してください。





ポジション設定画面について

ポジション設定画面



「CENTER POSITION」が点滅しているときに、4、10分割表示の中心を、左右方向に移動させることができます。

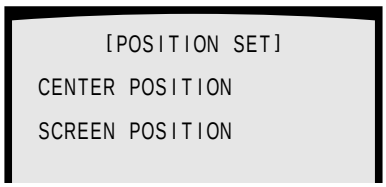
調節のしかた

1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

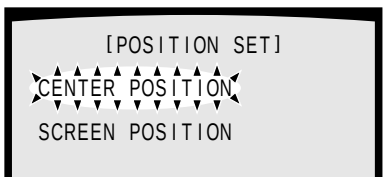
2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [POSITION SET] が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押す。



3 開始/終了ボタンを押す

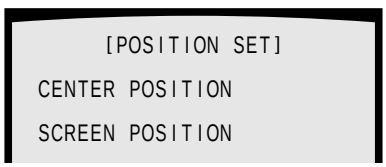
- 「CENTER POSITION」が点滅します。



4 中心の位置を調節する

- 「CENTER POSITION」を点滅させたまま、画面を見ながら調節してください。

① くり上がりまたはくり下がりボタンを押す
　くり上がりボタンを押すと、初期値から最大5ポジション右へ移動します。
　くり下がりボタンを押すと、初期値から最大5ポジション左へ移動します。
② 開始/終了ボタンを押して、確定する
　「CENTER POSITION」が点滅から点灯に変わります。



5 メニューボタンを押す

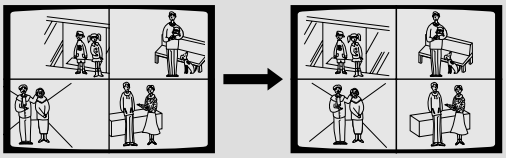
- 元の表示に戻ります。

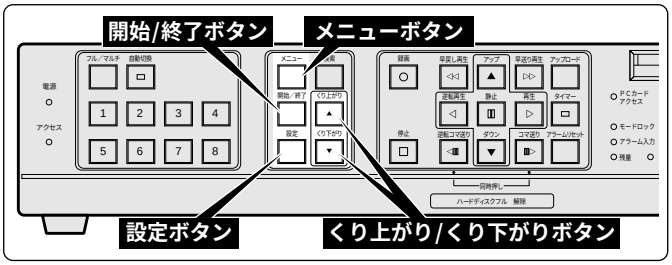
お知らせ

- 上記の調節を行っても、お使いになるモニターテレビによっては、画面を区切っている十字の部分が画面の中央にならない場合があります。

4分割表示の水平位置を微調節する

4分割表示中に、映像（被写体）の位置が左右どちらかにずれているときに調節します。



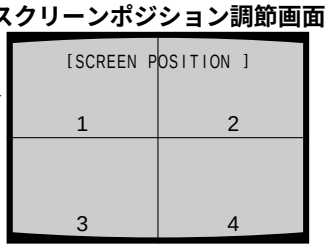


スクリーンポジション設定画面について

スクリーンポジション設定画面

チャンネルボタン

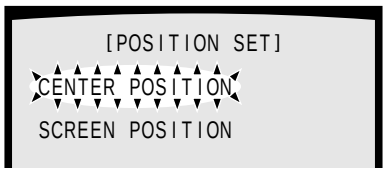
スクリーンポジション調節画面



- 調節したい映像のカメラ番号を点滅させて、調節します。

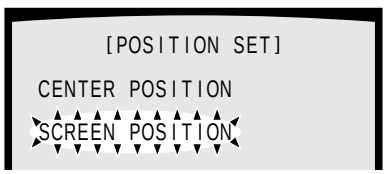
調節のしかた

1 64ページの手順❶～❸の操作をする

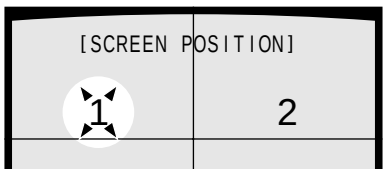


2 設定ボタンを押す

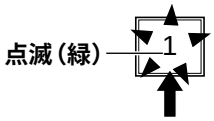
- 「SCREEN POSITION」が点滅します。



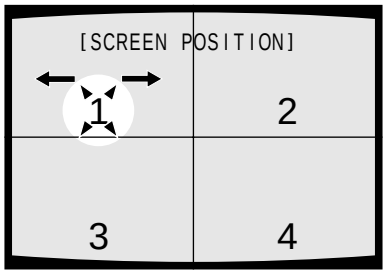
3 調節したい映像のチャンネルボタンを押す



- スクリーンポジション調節画面になり、自動的に4分割画面が表示されます。
- 調節したい映像のチャンネルボタンを押すとカメラ番号が点滅します。また、チャンネルボタンの数字も点滅します。
- CH5（チャンネル5）～CH8（チャンネル8）のいずれかのチャンネルボタンを押すと、CH5～CH8の4分割画面が表示されます。



4 水平位置を調節する



① くり上がりまたはくり下がりボタンを押す
- くり上がりボタンを押すと、映像は初期値から最大3ポジション右へ移動します。
  くり下がりボタンを押すと、映像は初期値から最大3ポジション左へ移動します。
- ほかのチャンネルを調節するときは、チャンネルボタンを押してください。

② 開始/終了ボタンを押して、確定する
ポジション設定画面に戻ります

5 メニューボタンを押す

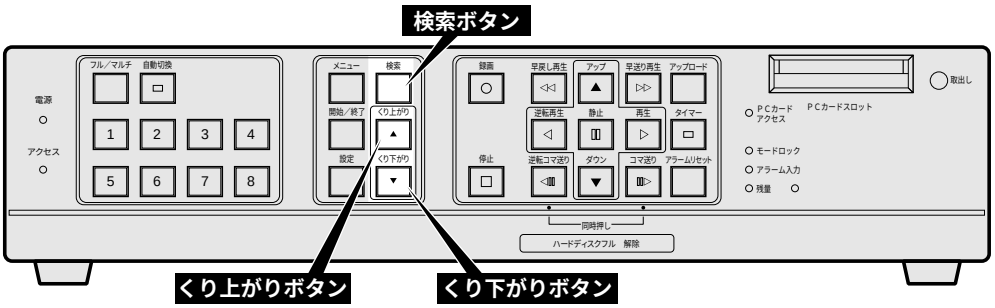
- 元の表示に戻ります。

検索ボタンの使いかた

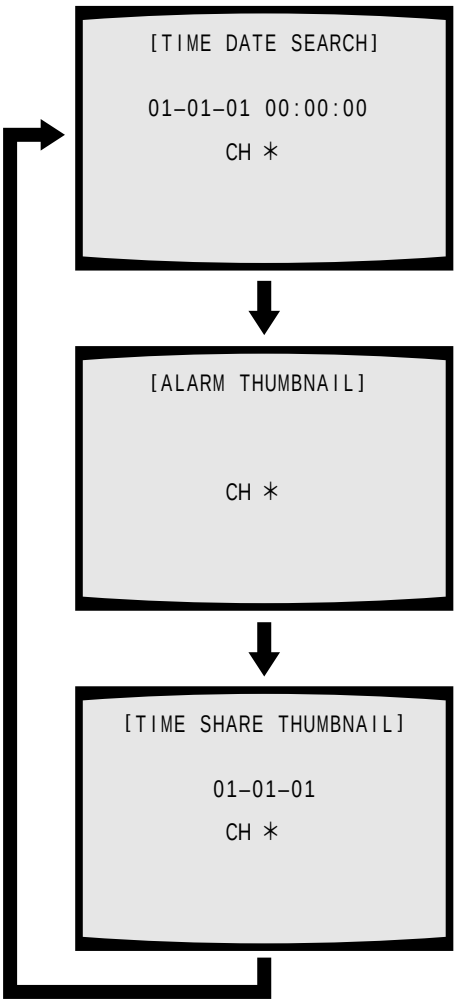
記録した日付・時刻から映像を頭出ししたり、アラーム記録した場面を頭出しすることができます。

お知らせ

- **日付・時刻を設定しない状態で記録した映像は検索できません。記録する前に必ず日付・時刻を設定してください。**



検索ボタンを押すと、タイムデートサーチ画面になります。くり上がりボタンを押すたびに画面は次のように変わります。くり下がりボタンは、これの逆です。



①タイムデートサーチ画面 67

- 指定した日付・時刻・チャンネルの映像を頭出しします。

②アラーム検索画面 69

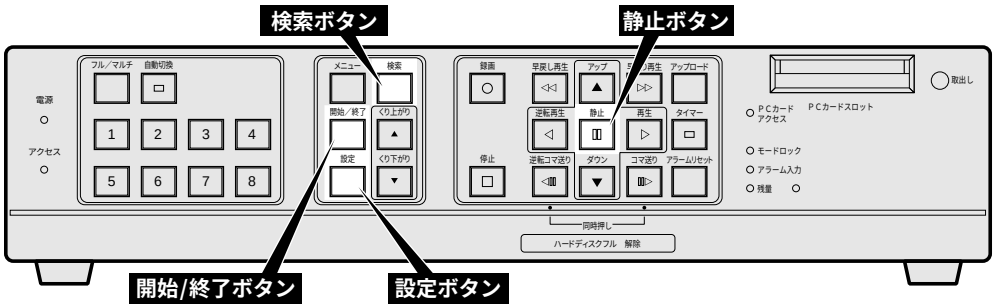
- アラーム記録した映像の頭出しをします。

③時分割検索画面 72

- 指定した日付・チャンネルの映像を、日・時・分・秒単位で13分割表示します。

見たい場面を、日付・時刻から頭出しする（タイムデートサーチ）

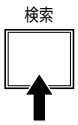
日付を設定して記録すると、自動的に日付・時刻の信号が記録されます。日付・時刻の信号を検知して、記録した映像の頭出しができます。

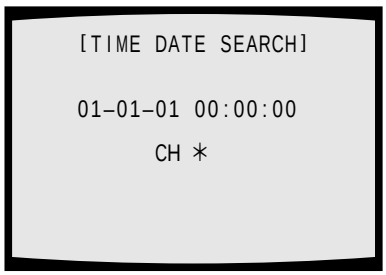


説明の例として、見たい場面をチャンネル5の西暦2001年12月20日午後2時50分に合わせるとき

1 検索ボタンを押す

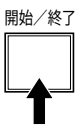
- [TIME DATE SEARCH] 画面が表示されます。

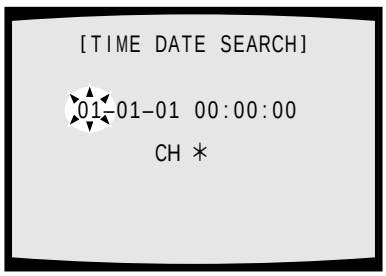




2 開始/終了ボタンを押す

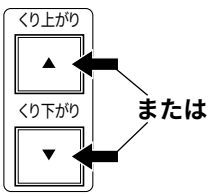
- 「年」が点滅します。

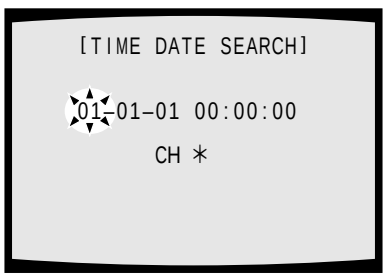




3 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

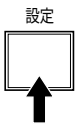
- 「年」を合わせます。

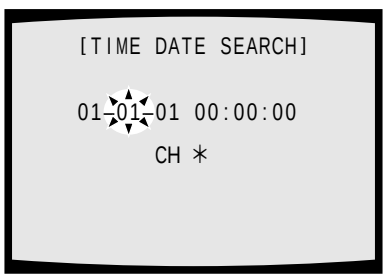




4 設定ボタンを押す

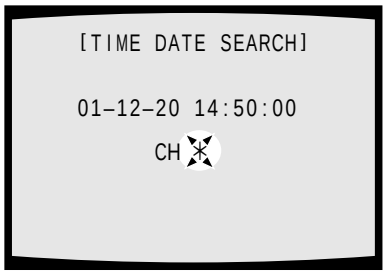
- 「月」が点滅します。





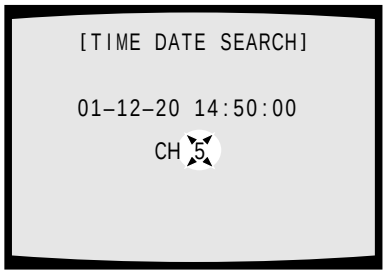
5 手順❸、❹を繰り返して、日付と時刻（秒まで）を合わせる

- チャンネルが点滅します。



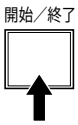
6 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

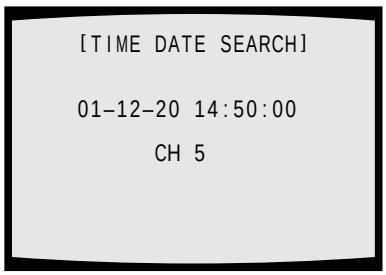
- チャンネルを選んでください。「＊」を選ぶと、全チャンネルが対象となります。



7 開始/終了ボタンを押す

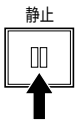
- 見たい場面が設定されます。

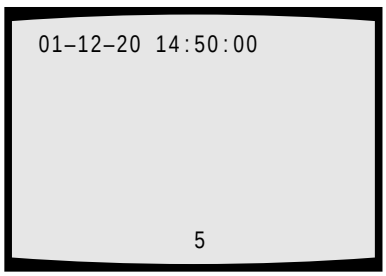




8 静止ボタンを押す

- 「Please Wait…」と約1秒表示が出て、指定した日時の指定したチャンネル5の映像が静止画再生されます。
- 静止画再生後は、静止ボタンまたは再生ボタンを押すと通常の再生になります。



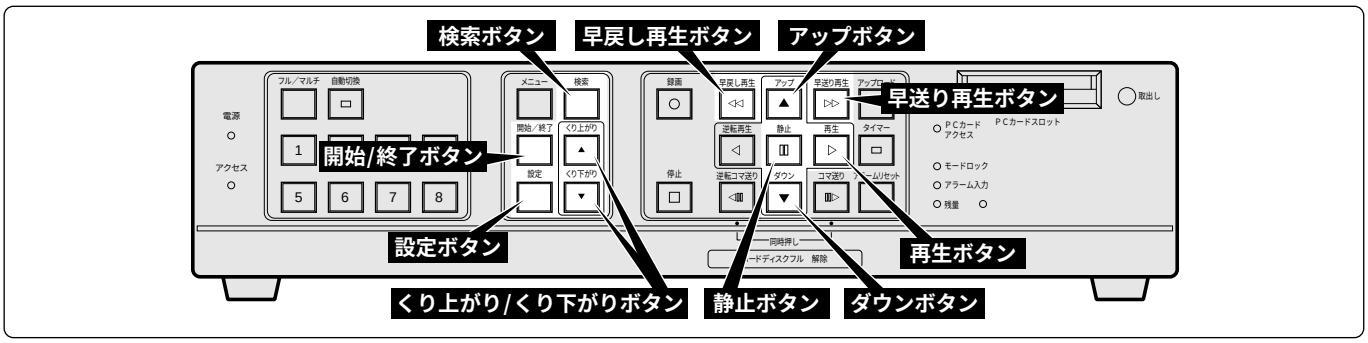


お知らせ

- 指定した時刻に指定したチャンネルの映像がない場合は、一番近い時刻の指定チャンネルを静止画再生します。
- 全チャンネルを指定した場合は、チャンネル数に合わせて分割表示します。チャンネル指定がある場合は、フル画面で表示します。

アラーム検索をする

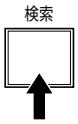
アラーム記録をするたびに、自動的に頭の部分にインデックス信号が記録されます。この信号を検知して、アラーム記録した場面の頭出しができます。



説明の例として、チャンネル5のアラーム記録画面を検索するとき

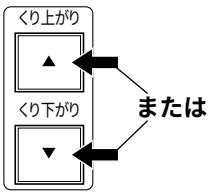
1 検索ボタンを押す

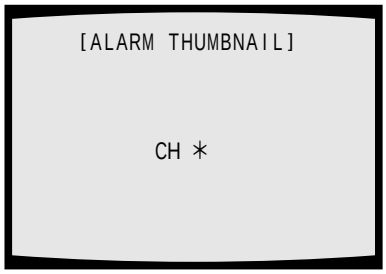
- [TIME DATE SEARCH] 画面が表示されます。



2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

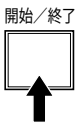
- [ALARM THUMBNAIL] が表示されるまで、くり上がり、またはくり下がりボタンを押す。

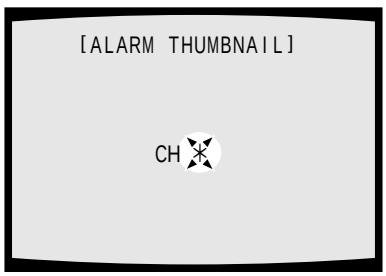




3 開始／終了ボタンを押す

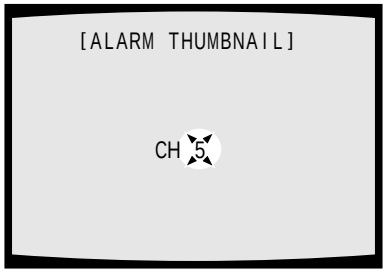
- チャンネルが点滅します。





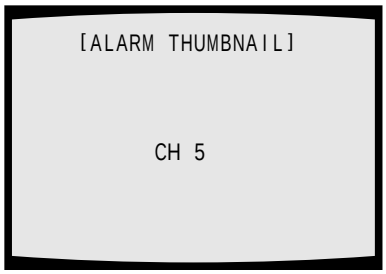
4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- チャンネルを選んでください。「＊」を選ぶと、全チャンネルが対象となります。



5 開始/終了ボタンを押す

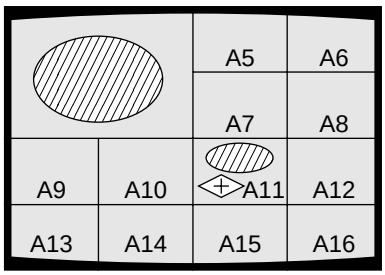
- チャンネルが設定されます。



6 静止ボタンを押す

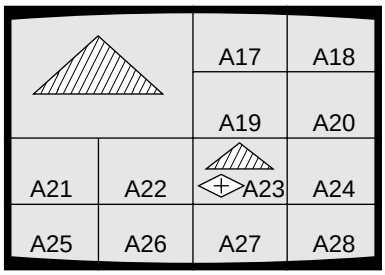
- 最新の36個のアラームのうち、最初の12個を表示します。
  例えばアラームが40個あった場合には、5番目のアラーム（A5）から16番目のアラーム（A16）のそれぞれの開始時刻の映像を表示します。
- 十字マーク「⊕」のある映像が左上の画面に拡大して表示されます。

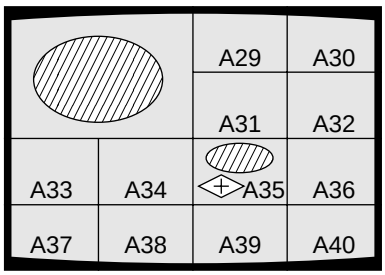
お知らせ
- 画面のA5～A16は、アラームの順番を示すもので実際には表示されません。



7 早送り再生、または早戻し再生ボタンを押す

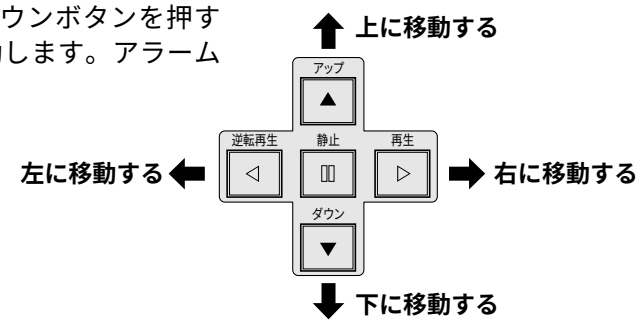
- 早送り再生ボタンを押すと、次の12個のアラームを表示します。
  この例では、17番目のアラーム（A17）から28番目のアラーム（A28）のそれぞれの開始時刻の映像を表示しています。
- さらに早送り再生ボタンを押すと、次の12個のアラームを表示します。
  この例では、29番目のアラーム（A29）から40番目（A40）のそれぞれの開始時刻の映像を表示しています。
- この状態で早送り再生ボタンを押しても画面は切り換わりません。
- 早戻し再生ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。最初の画面に戻ったら、早戻し再生ボタンを押しても画面は切り換わりません。





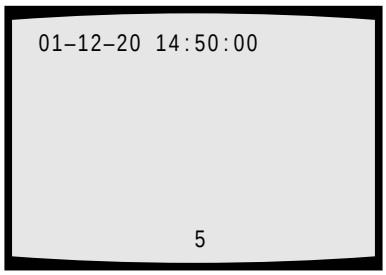
8 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンで画面を選ぶ

- 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンを押すと、十字マーク「⊹」が移動します。アラーム画面を選んでください。



9 静止ボタンを押す

- 十字マーク「⊹」のある場面が選択され、映像が静止画再生されます。
- 静止画再生後は、静止ボタンまたは再生ボタンを押すと通常の再生になります。

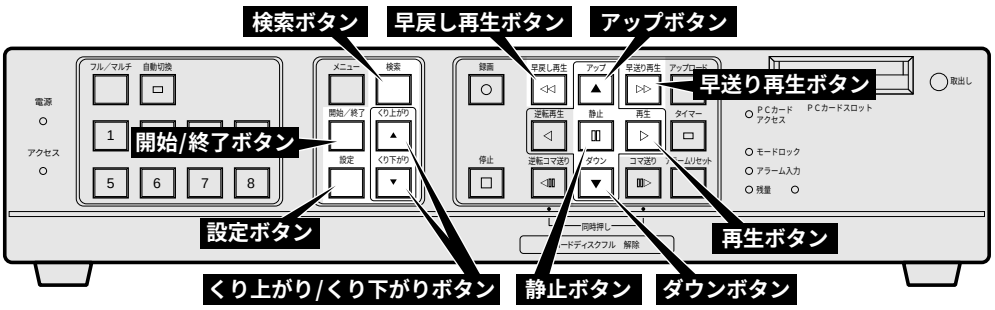


お知らせ

- 全チャンネルを指定した場合は、チャンネル数に合わせて分割表示します。チャンネル指定がある場合は、フル画面で表示します。

指定した場面を時間・分・秒で検索する（時分割検索）

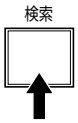
指定した日付・チャンネルの映像を、日・時・分・秒単位で13分割画面で表示することができます。

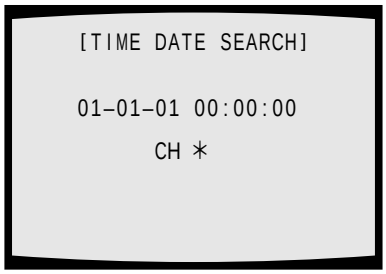


説明の例として、見たい場面をチャンネル5の西暦2001年12月20日からに合わせるとき

1 検索ボタンを押す

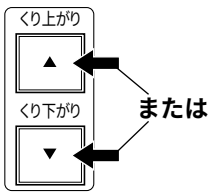
- ［TIME DATE SEARCH］画面が表示されます。

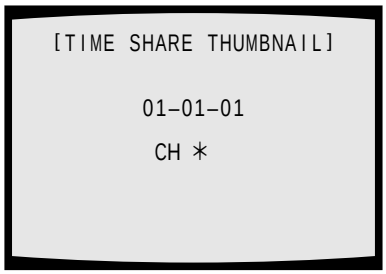




2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

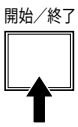
- ［TIME SHARE THUMBNAIL］が表示されるまで、くり上がり、またはくり下がりボタンを押す。

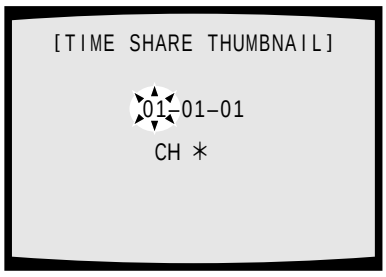




3 開始/終了ボタンを押す

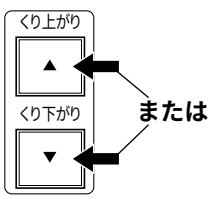
- 「年」が点滅します。

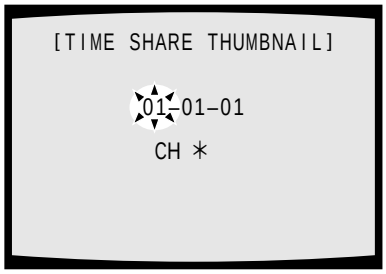




4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

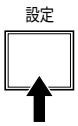
- 「年」を合わせます。

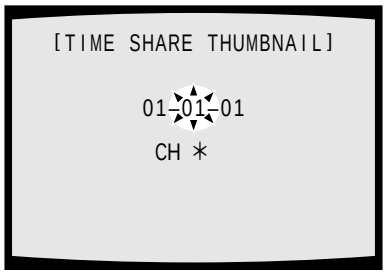




5 設定ボタンを押す

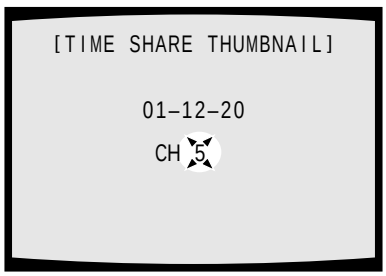
- 「月」が点滅します。





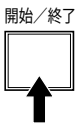
6 手順❹、❺を繰り返して日付とチャンネルを選ぶ

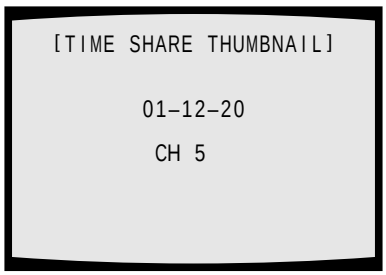
- チャンネル「＊」を選ぶと、全チャンネルが対象となります。



7 開始／終了ボタンを押す

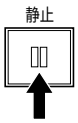
- 日付とチャンネルが設定されます。

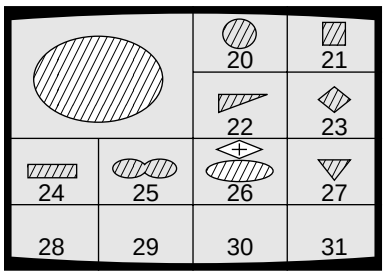




8 静止ボタンを押す

- 指定した日付からの12日間を、指定したチャンネルの映像で13分割表示されます。
  ここでは、12月20日から12月31日までの12日間の映像が表示されます。
- 十字マーク「⊕」のある映像が左上の画面に拡大表示されます。





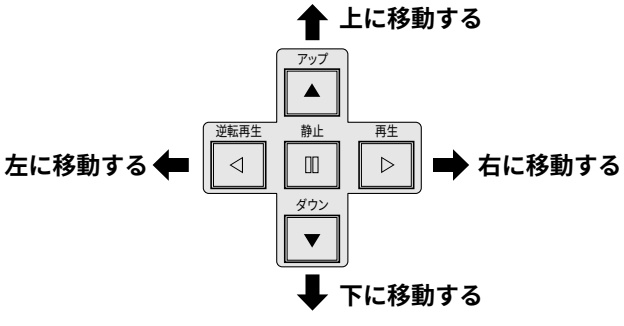
画面が切り換わった時、画面中央に約3秒間「STAGE 1 <DAY>」が表示されます。

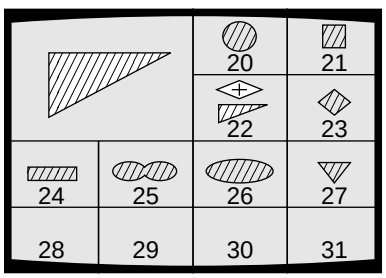
お知らせ

- 映像がない場合は、黒い場面になります。
- 最初の12日間の映像は、その日のうちの記録の1番古い映像が表示されます。

9 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンで日付を選ぶ

- 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンを押すと、十字マーク「⊕」が移動します。目的の日付に移動してください。

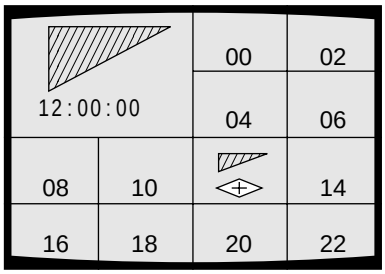




例：12月22日を選んだとき

10 早送り再生ボタンを押す

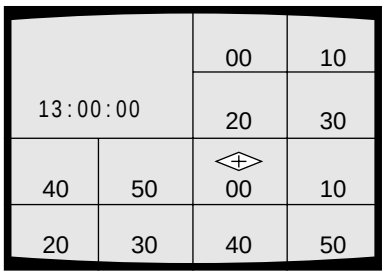
- 早送り再生ボタンを押すと、十字マーク「⊕」のある画面が左上に拡大表示され、指定した日の午前0時から2時間単位で静止画再生されます。
- 「00」は午前0時、「02」は2時を表します。
- 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンで検索したい映像の「時間」を選んでください。



画面が切り換わった時、画面中央に約3秒間「STAGE 2 <HOUR>」が表示されます。

11 早送り再生ボタンを押す

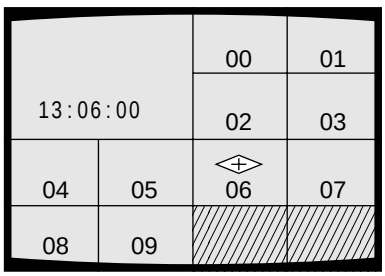
- 早送りボタンを押すと、十字マーク「⊕」のある「時間」の映像が左上に拡大表示され、0分から10分単位で静止画再生されます。
- 「00」は0分、「10」は10分を表します。
- 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンで検索したい映像の「分」を選んでください。



画面が切り換わった時、画面中央に約3秒間「STAGE 3 <MINUTE>」が表示されます。

12 早送り再生ボタンを押す

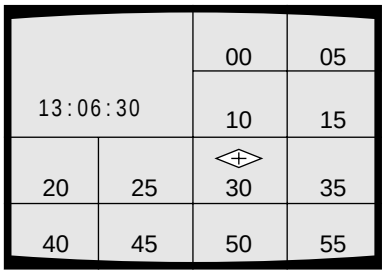
- 早送りボタンを押すと、十字マーク「⊕」のある「分」の映像が左上に拡大表示され、1分単位で静止画再生されます。
- 「00」は0分、「01」は1分を表します。
- 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンで検索したい映像の「分」を選んでください。



画面が切り換わった時、画面中央に約3秒間「STAGE 4 <MINUTE>」が表示されます。

13 早送り再生ボタンを押す

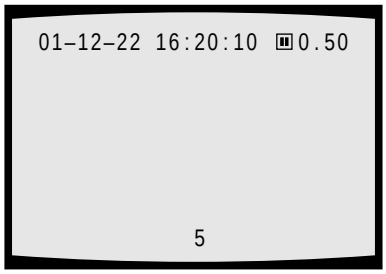
- 早送りボタンを押すと、十字マーク「⊕」のある「分」の映像が左上に拡大表示され、5秒単位で静止画再生されます。
- 再生、逆転再生、アップ、ダウンボタンで検索したい映像の「秒」を選んでください。



画面が切り換わった時、画面中央に約3秒間「STAGE 5 <SECOND>」が表示されます。

14 静止ボタンを押す

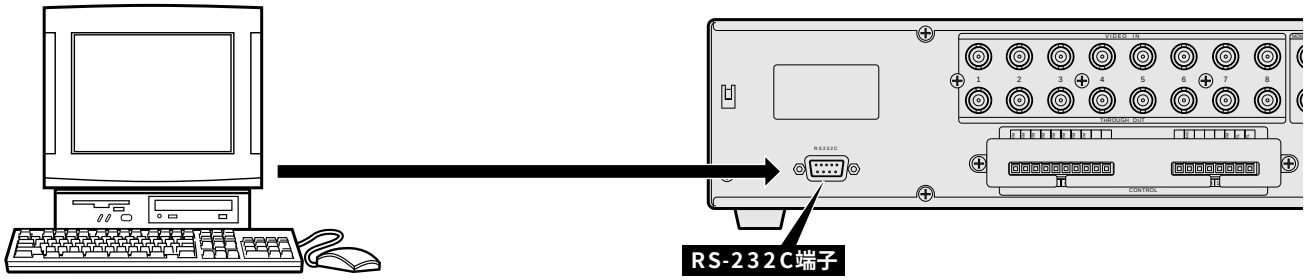
- 手順⓭で選んだ画面がフル画面で静止画再生されます。
- 静止画再生後は、静止ボタンまたは再生ボタンを押すと通常の再生になります。



お知らせ
- 手順⓾～⓭で、早戻しボタンを押すと、前の画面に戻ります。

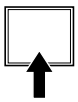
RS-232C設定について

本機をパーソナルコンピュータと接続して制御するときに、通信速度を設定します。



1 メニューボタンを押す

- 日付・時刻設定画面が表示されます。

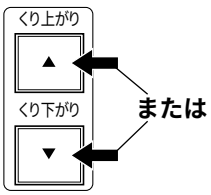



```
[CLOCK SET]

01-12-20  THU
14:30:01
          AC
```

2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- [RS－232C SET]が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。

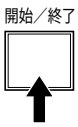



```
[RS-232C SET]
BAUD RATE:      1200BAUD
(DATA LENGTH:   8BIT)
(PARITY BIT:    NONE)
(STOP BIT:      1BIT)

 [REAR CONTROL PIN SET]
WARNING OUT:ACTIVE CLOSE
```

3 開始／終了ボタンを押す

- BAUD RATEの「1200BAUD」が点滅し、通信速度設定モードになります。




```
[RS-232C SET]
BAUD RATE:      1200BAUD
(DATA LENGTH:   8BIT)
(PARITY BIT:    NONE)
(STOP BIT:      1BIT)

 [REAR CONTROL PIN SET]
WARNING OUT:ACTIVE CLOSE
```

4 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

- くり上がりボタンを押すたびに、表示が次のように変わります。くり下がりボタンは、この逆順で変わります。

1200BAUD→2400BAUD→4800BAUD→9600BAUD

```
[RS-232C SET]
BAUD RATE:      2400BAUD
(DATA LENGTH:   8BIT)
(PARITY BIT:    NONE)
(STOP BIT:      1BIT)

 [REAR CONTROL PIN SET]
WARNING OUT:ACTIVE CLOSE
```

5 開始／終了ボタンを押す

- 通信速度が設定されます。

```
[RS-232C SET]
BAUD RATE:      2400BAUD
(DATA LENGTH:   8BIT)
(PARITY BIT:    NONE)
(STOP BIT:      1BIT)

 [REAR CONTROL PIN SET]
WARNING OUT:ACTIVE CLOSE
```

お知らせ • [DATA LENGTH]、[PARITY BIT]、[STOP BIT]の設定はできません。

6 メニューボタンを押す

● 元の表示に戻ります。

お知らせ ● 接続されたパーソナルコンピュータから各操作・設定ができます。本機とパーソナルコンピュータを接続するときは、市販のRS-232Cケーブル（クロスタイプ）をお使いください。

RS-232Cの仕様

通 信 方 式 ：全二重（full duplex）方式
通 信 速 度 ：1200／2400／4800／9600 BAUD
通 信 形 式 ：スタート 1ビット
　　データ　8ビット
　　パリティ なし
　　ストップ 1ビット
通信コード ：ASCIIコードと表示文字コードの2種類

ASCIIコード

□部は未使用コードです。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SX	EX												
1																
2	(余白)	!									＊		,	–		
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:		<		>	?
4		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
6																
7																

表示文字コード

□部は未使用コードです。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2	(余白)		“		$	%	&	’	(	)	＊	＋	,	–	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	＝	>	?
4		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
6																
7																

通信プロトコル

① 通信の始めには［SX］コードを、終わりには［EX］コードを必ず付けてください。付け忘れると受付けません。
② 本機は、パーソナルコンピュータから受信したコマンドに対する返信のみを送信します。
③ 77ページのコマンドを受信したとき、本機は受信確認用ステータスまたは、要求された現在のステータスを返信します。
④ 通信を頻繁に行うと、［SX］BUSY［EX］を返信することがあります。そのようなときは、通信の間隔を広くしてください。
⑤ 本機は、受信した通信フォーマットにミスがあった場合、以下のいずれかの通信エラーコードを返信します。
- ERL　　コード長エラー
- ERC　　コードフォーマットエラー
- ERH　　本機内部エラー（約2秒以内に返信できない場合）

⑥ 本機は、受信時にストップビットエラーやビット長エラーのような通信エラーを検出した場合、その受信バイトを！に置き換えて処理します。
※タイトル設定データに通信エラーが発生した場合にはOSD文字が！に置き換わります。
上記以外のデータに通信エラーが発生した場合には通信エラーコードが返信されます。

コマンド およびステータスのフォーマット

表中の小文字のアルファベットの意味は、78〜79ページをご覧ください。

	コマンドの機能	コマンドのフォーマット	ステータスのフォーマット
遠隔操作	停止	Sx STO Ex	Sx STO Ex
	早送り	Sx CUE Ex	Sx CUE Ex
	早戻り	Sx REV Ex	Sx REV Ex
	録画	Sx REC Ex	Sx REC Ex
	再生	Sx FPL Ex	Sx FPL Ex
	逆転再生	Sx RPL Ex	Sx RPL Ex
	コマ送り	Sx FAD Ex	Sx FAD Ex
	逆転コマ送り	Sx RAD Ex	Sx RAD Ex
	静止	Sx PAU Ex	Sx PAU Ex
	静止ON／OFF	Sx PAb Ex	Sx PAb Ex
	アラーム検索	Sx ALS c_2 Ex	Sx ALS Ex
	タイムデートサーチ	Sx TDS c_2, yy-mm-dd, hh:ff:ss Ex	Sx TDS Ex
	時分割検索	Sx TSS c_2, yy-mm-dd Ex	Sx TSS Ex
	サムネイルコマンド	Sx SCM e Ex	Sx SCM Ex
	アラームリセット	Sx AL– Ex	Sx AL– Ex
	ハードディスクフル　解除	Sx HF– Ex	Sx HF– Ex
	システムリセット	Sx SY– Ex	
	タイマースタンバイ	Sx TSt Ex	Sx TSt Ex
	モードロック	Sx ML1 Ex	Sx ML1 Ex
	多分割表示	Sx MUL m Ex	Sx MUL Ex
	再生間隔	Sx PBF rr_1 Ex	Sx PBF Ex
	OSD表示画面	Sx SCR nnn, i Ex	Sx SCR Ex
	時刻設定	Sx CLK yy-mm-dd, hh:ff, x Ex	Sx CLK Ex
	録画モード設定	Sx RMS rr_2, h, u, qqqq Ex	Sx RMS Ex
	タイマープログラム設定	Sx PRp u, hh:ff, hh:ff, rr_2 Ex	Sx PRp Ex
	記録カメラ選択設定	Sx CSu o, o, o, o, o, o, o, o Ex	Sx CSu Ex
	タイマー曜日設定	Sx www p, p Ex	Sx www Ex
	アラーム設定	Sx ALA f, rr_2, rr_3, ddd_1, ddd_2, ddd_3 Ex	Sx ALA Ex
	自動切替ON／OFF	Sx SSd Ex	
	自動切換え時間設定	Sx ATc$_3$ s Ex	Sx ATc$_3$ Ex
	タイトル設定	Sx TTc$_1$ tttttttt Ex	Sx TTc$_1$ Ex
	フル画面チャンネル	Sx FLC c_1 Ex	Sx FLC Ex
	10分割上半分チャンネル並べ換え	Sx MUC c_1, c_1 Ex	Sx MUC Ex
	10分割下半分チャンネル並べ換え	Sx MUS c_1, c_1, c_1, c_1, c_1, c_1, c_1, c_1 Ex	Sx MUS Ex
	スクリーンポジション	Sx SPc$_1$ g Ex	Sx SPc$_1$ Ex
	センターポジション	Sx CPS g Ex	Sx CPS Ex
状態確認	状態確認	Sx HDD? Ex	Sx HDD bbb, t, l, v, a, eee Ex
	多分割表示確認	Sx MUL? Ex	Sx MUL c_4 Ex
	再生間隔確認	Sx PBF? Ex	Sx PBF rr_1 Ex
	時刻設定	Sx CLK? Ex	Sx CLK yy-mm-dd, hh:ff:ss, x, www Ex
	アラームカウント確認	Sx ALC? Ex	Sx ALC aa Ex
	録画設定情報確認	Sx RMS? Ex	Sx RMS rr_2, h, hhhhhh, u, qqqq Ex
	記録カメラ設定情報確認	Sx CSu? Ex	Sx CSu o, o, o, o, o, o, o, o Ex
	プログラム設定情報確認	Sx PRp? Ex	Sx PRp u, hh:ff, hh:ff, rr_2 Ex
	タイマー設定情報確認	Sx www? Ex	Sx www p, p Ex
	アラーム設定情報確認	Sx ALA? Ex	Sx ALA f, rr_2, rr_3, ddd_1, ddd_2, ddd_3 Ex
	自動切換え設定確認	Sx ATc$_3$? Ex	Sx ATc$_3$ s Ex
	タイトル設定確認	Sx TTc$_1$? Ex	Sx TTc$_1$ tttttttt Ex
	OSD表示画面確認	Sx SCR? Ex	Sx SCR nnn, i Ex

小文字アルファベットの明細

<table>
<tr><th>記　号</th><th>意　味</th><th>コード種別</th><th>コード内容</th></tr>
<tr><td>a</td><td>アラームの有無</td><td>ASCII</td><td>1＝アラーム有り　0＝アラーム無し</td></tr>
<tr><td>aa</td><td>発生回数</td><td>ASCII</td><td>2桁の数値（00～99 or E0～E9）</td></tr>
<tr><td>b</td><td>静止画</td><td>ASCII</td><td>1＝ON　0＝OFF</td></tr>
<tr><td>bbb</td><td>ハードディスク状態</td><td>ASCII</td><td>3桁のアルファベット
STO…停止　REV …早戻し
FPL …再生　CUE …早送り
REC…録画　TDS …タイムデートサーチ
STI …再生一時停止　ALS …アラーム検索
FAD…コマ送り　TTS …時分割検索
RAD…逆転コマ送り　UPL …アップロード
RPL…逆転再生　WRN…異常状態</td></tr>
<tr><td>c_1～c_4</td><td>カメラ番号</td><td>ASCII</td><td>1桁のHEX（1～B or ＊, T）
<table>
<tr><th></th><th>C_1</th><th>C_2</th><th>C_3</th><th>C_4</th></tr>
<tr><td>1</td><td>CH1</td><td>CH1</td><td>CH1</td><td>CH1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>CH2</td><td>CH2</td><td>CH2</td><td>CH2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>CH3</td><td>CH3</td><td>CH3</td><td>CH3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>CH4</td><td>CH4</td><td>CH4</td><td>CH4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>CH5</td><td>CH5</td><td>CH5</td><td>CH5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>CH6</td><td>CH6</td><td>CH6</td><td>CH6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>CH7</td><td>CH7</td><td>CH7</td><td>CH7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>CH8</td><td>CH8</td><td>CH8</td><td>CH8</td></tr>
<tr><td>A</td><td></td><td></td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>B</td><td></td><td></td><td>B</td><td>B</td></tr>
<tr><td>＊</td><td></td><td>指定なし</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>M</td><td></td><td></td><td></td><td>10分割</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>d</td><td>自動切替</td><td>ASCII</td><td>1＝ON　0＝OFF</td></tr>
<tr><td>dd</td><td>日</td><td>ASCII</td><td>2桁の数値（01～31）</td></tr>
<tr><td>ddd_1～ddd_3</td><td>アラーム実行時間</td><td>ASCII</td><td>3桁のアルファベットを含む数字
<table>
<tr><th></th><th>ddd_1（メイン）</th><th>ddd_2（プリ）</th><th>ddd_3（ポスト）</th></tr>
<tr><td>MAN</td><td>MANUAL</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>00S</td><td></td><td>0秒</td><td>0秒</td></tr>
<tr><td>03S</td><td></td><td>3秒</td><td></td></tr>
<tr><td>05S</td><td>5秒</td><td>5秒</td><td>5秒</td></tr>
<tr><td>10S</td><td>10秒</td><td></td><td>10秒</td></tr>
<tr><td>15S</td><td>15秒</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>30S</td><td>30秒</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>01M</td><td>1分</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>03M</td><td>3分</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>05M</td><td>5分</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>10M</td><td>10分</td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>e</td><td>サムネイルコマンド</td><td>ASCII</td><td>1桁のアルファベット
U…カーソル上移動　S…決定
D…カーソル下移動　F…早送り
R…カーソル右移動　B…早戻り
L…カーソル左移動　Q…強制終了</td></tr>
<tr><td>eee</td><td>ハードディスク残量</td><td>ASCII</td><td>3桁の数値（000～100）</td></tr>
<tr><td>f</td><td>アラームモード</td><td>ASCII</td><td>1桁の数値（1～3）</td></tr>
<tr><td>ff</td><td>分</td><td>ASCII</td><td>2桁の数値（00～59）</td></tr>
<tr><td>g</td><td>ポジションコマンド</td><td>ASCII</td><td>D＝初期状態、R＝右、L＝左</td></tr>
<tr><td>h</td><td>録画圧縮率</td><td>ASCII</td><td>F＝高、S＝標準、M＝中、L＝低</td></tr>
<tr><td>hh</td><td>時</td><td>ASCII</td><td>2桁の数値（00～23）</td></tr>
<tr><td>hhhhhh</td><td>総録画時間</td><td>ASCII</td><td>6桁の数値</td></tr>
<tr><td>i</td><td>タイトル表示</td><td>ASCII</td><td>1＝ON　0＝OFF</td></tr>
<tr><td>l</td><td>モードロック</td><td>ASCII</td><td>1＝ON　0＝OFF</td></tr>
</table>

記　号	意　味	コード種別	コード内容
m	多分割表示	ASCII	1桁のアルファベット F…フル画面　　B…4分割B面 A…4分割A面　　M…10分割画面
mm	月	ASCII	2桁の数値（01～12）
nnn	OSD表示画面	ASCII	3桁の数字を含むアルファベット※
o	記録カメラ選択ON/OFF	ASCII	1＝ON　0＝OFF
p	プログラム番号	ASCII	1桁の数値（1～7）or＊
qqqq	RECYCLE FUNC.	ASCII	4桁のアルファベット ALRM…STOP IF ALARM STOP…STOP REPE …RE-REC
rr_1～rr_4	記録／再生間隔	ASCII	1桁の数値（0～F） 2桁の数値（00～FF）

	rr1（再生）	rr2（記録）	rr3（アラーム）	rr4（トラブル）
00	0.03	0.03	0.03	0.03
01	0.07	0.07	0.07	0.07
02	0.1	0.1	0.1	0.1
03	0.13	0.13	0.13	0.13
04	0.17	0.17	0.17	0.17
05	0.2	0.2	0.2	0.2
08	0.3	0.3	0.3	0.3
0A	0.37	0.37	0.37	0.37
0E	0.5	0.5	0.5	0.5
10	0.57	0.57	0.57	0.57
15	0.73	0.73	0.73	0.73
1A	0.9	0.9	0.9	0.9
1D	1	1	1	1
21	1.13	1.13	1.13	1.13
3B	2	2	2	2
44	5	5	5	5
49		10	10	10
4E		15		15
5D		30		30
7B		60		60
80				停止
81	×5			×5
82				×30

s	自動切換え時間	ASCII	2桁の数値（00～10） 00…SKIP　　05…5秒 01…1秒　　10…10秒 03…3秒
ss	秒	ASCII	2桁の数値（00～59）
t	タイマースタンバイ	ASCII	1＝ON　0＝OFF
tttttttt	タイトル	ASCII	8桁のアルファベット 76ページの文字コード表を参照。
u	記録カメラ選択ケース	ASCII	1桁のアルファベット（A～D）
v	停電の有無	ASCII	1＝停電有り　0＝停電無し
www	曜日	ASCII	3桁のアルファベット SUN…日曜日　　MON…月曜日　　TUE …火曜日 WED…水曜日　　THU …木曜日　　FRI　…金曜日 SAT …土曜日
x	時刻カウントの基準信号	ASCII	1＝内部水晶発信の周波数　0＝商用電源の周波数
yy	年	ASCII	2桁の数値（00～99）

※　**nnnコードの定義一覧**

nnn	意　味	nnn	意　味	nnn	意　味
TIM	日付・時刻表示画面（第1画面）	PSM	画面位置設定画面（センター／スクリーン）	CSM	記録カメラ選択画面
CLM	日付・時刻設定画面	OFF	表示OFF画面（第3画面）	WRN	警告表示画面（第2画面）
LNM	LAN設定画面	R2M	RS-232C設定画面	REM	記録モード設定画面
ALM	アラーム設定画面	RTM	タイマー予約画面	DWL	アップロード画面
TDS	タイムデートサーチ画面（画面確認のみ）	ALS	アラーム検索画面（画面確認のみ）	AUM	自動切換え時間設定画面
		TTM	タイトル設定画面	TSS	時分割検索画面（画面確認のみ）

お知らせ　● PSM、DWLコードは状態確認コマンドの時のみ有効となりますので、ご注意ください。

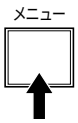
CONTROLの出力を設定する

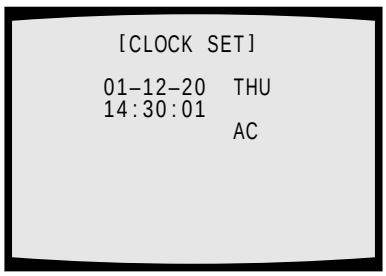
CONTROL端子のWARNING OUTの出力を設定できます。
CLOSEに設定すると、ハードディスク、ファンまたは映像入力の異常を検知したときにGNDと短絡します。
OPENに設定すると、ハードディスク、ファンまたは映像入力の異常を検知したときにOPENとなります。また本機電源が入っていない場合は、設定に関係なくOPENとなります。

お知らせ ● RS-232Cでの設定変更はできません。

1 メニューボタンを押す

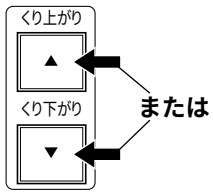
● 日付・時刻設定画面が表示されます。

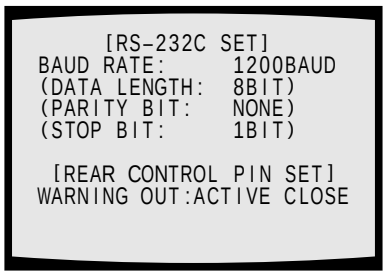




2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

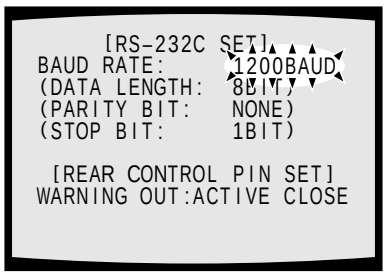
● [RS－232C SET]が表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。





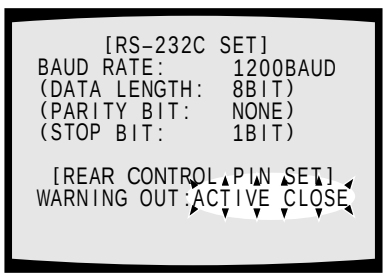
3 開始／終了ボタンを押す

● RS-232C設定モードになります。
● BAUD RATEの「1200BAUD」が点滅します。



4 設定ボタンを押す

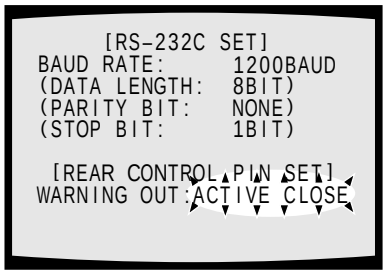
● 「REAR CONTROL PIN SET」WARNING OUTの「ACTIVE CLOSE」が点滅します。



5 くり上がり、またはくり下がりボタンでご希望機能を選ぶ

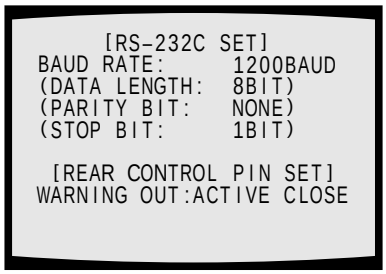
- くり上がりまたはくり下がりボタンを押すたびに表示は次のように変わります。

ACTIVE CLOSE
↓
ACTIVE OPEN



6 開始／終了ボタンを押す

- CONTROL端子のWARNING OUTの出力が設定されます。
  右の画面はACTIVE CLOSEを選んだ場合の例です。



7 メニューボタンを押す

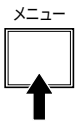
- 元の画面に戻ります。

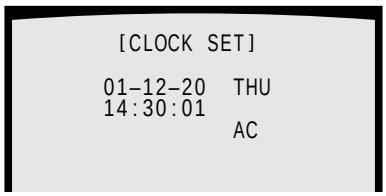
LAN接続の設定をする

説明の例として、IP ADDRESSを「192、168、000、001」に、SUB NET MASKを「255、255、255、000」に設定するときの操作を説明します。

1 メニューボタンを押す

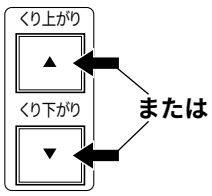
- 日付・時刻設定画面が表示されます。

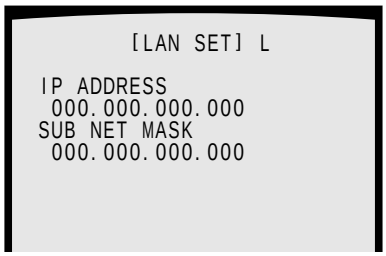




2 くり上がり、またはくり下がりボタンを押す

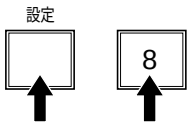
- [LAN SET] Lが表示されるまでくり上がり、またはくり下がりボタンを押してください。

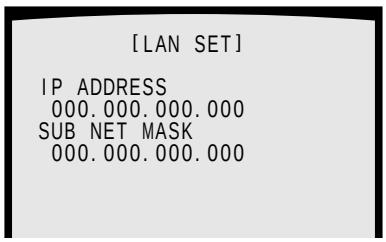




3 設定ボタンとチャンネル「8」ボタンを同時に押す

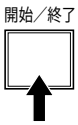
- 「LAN SET」の「L」が消え、ロックが解除されます。

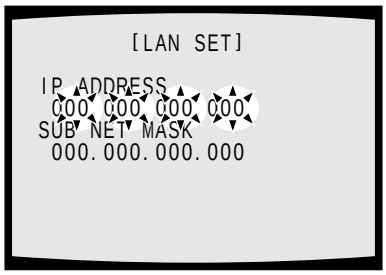




4 開始／終了ボタンを押す

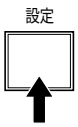
- IP ADDRESSの数値が点滅します。
- SUB NET MASKを設定したいときは、くり上がりボタンかくり下がりボタンを押してください。
- 手順⓫の画面になります。

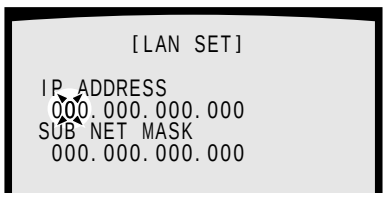




5 設定ボタンを押す

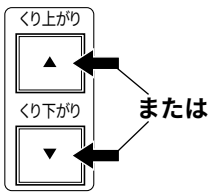
- 数値の点滅が左の一桁のみになります。

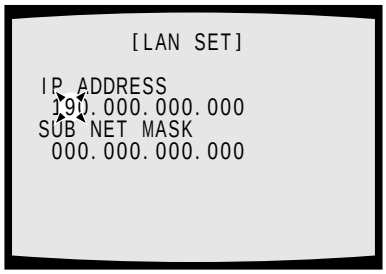




6 くり上がり、くり下がりボタンを押す

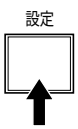
- くり上がりボタンを押して、数値を190にしてください。（表記は0～255までの10進数です。0が点滅中にくり下がりボタンを押すと、246になります。）





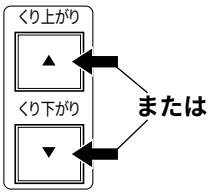
7 設定ボタンを押す

- 点滅が次の桁に移ります。



8 くり上がりボタンを押す

- 2になるまで、くり上がりボタンを押します。（0が点滅中にくり下がりボタンを押すと、189になります。）

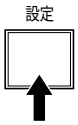



```
        [LAN SET]

IP ADDRESS
 192.000.000.000
SUB NET MASK
 000.000.000.000
```

9 設定ボタンを押す

- 点滅が次の桁に移ります。




```
        [LAN SET]

IP ADDRESS
 192.000.000.000
SUB NET MASK
 000.000.000.000
```

10 手順❻～❾を繰り返す

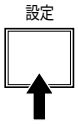
- 手順❻～❾と同じ要領で、IPアドレスの全ての桁を設定してください。

```
        [LAN SET]

IP ADDRESS
 192.168.000.001
SUB NET MASK
 000.000.000.000
```

11 設定ボタンを押す

- SUB NET MASKの設定可能な数値が点滅します。




```
        [LAN SET]

IP ADDRESS
 192.168.000.001
SUB NET MASK
 000.000.000.000
```

12 手順❺～❿を繰り返す

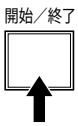
- 手順❺～❿と同じ要領で、SUB NET MASKの設定をしてください。

```
        [LAN SET]

IP ADDRESS
 192.168.000.001
SUB NET MASK
 255.255.255.000
```

13 開始／終了ボタンを押す

- 数値の点滅が点灯に変わり、設定が完了します。

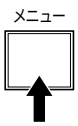



```
        [LAN SET]

IP ADDRESS
 192.168.000.001
SUB NET MASK
 255.255.255.000
```

14 メニューボタンを押す

- 元の表示に戻ります。



PCカードを使う

**本機に記録した映像の中から、大切な映像や決定的瞬間をPCカードにアップロードし、Windows®パソコンで映像を表示することができます。
また、LANカードを使用することによりWindows®パソコンと接続し、本体が録画中でも、Windows®パソコンへの映像の記録や、記録された映像の検索等ができます。**

お知らせ

- PCカードの初期化は、Windows®パソコンにより、FAT（FAT16）で行ってください。
- PCカードへのアップロード中は記録できません。

使用できるPCカードは

本機ではPCMCIA－ATAカード（注1）の利用が可能ですが、（株）アイ・オー・データ機器製のPCCFもしくはPCCF-Hシリーズを推奨します。推奨カードの品名は変更になる場合があります。
詳細仕様等につきましては、（株）アイ・オー・データ機器のホームページ（注2）をご参照ください。
（注1）PC Card Standard ATA仕様、True－IDE仕様 準拠品
（注2）http://www.iodata.co.jp/

PCカードのアップロード枚数

32MBのカードを使用した場合

画　質	枚　数
FINE	約　500枚
STANDARD	約 1000枚
MIDDLE	約 2000枚
LONG	約 4000枚

また、PCMCIA対応のLANカードについては、（株）アイ・オー・データ機器製のLANアダプタPCカードPCLA/TEをご使用ください。
詳細仕様等につきましては、（株）アイ・オー・データ機器のホームページ（注2）をご参照ください。

PCカード取り扱い上のご注意

安全のため、次のことにご注意ください。

⚠危険

PCカードを火気に近づけたり、火の中に投げ入れたりしないでください。発熱して破裂し、けがややけどの原因となります。

故障やデータの消失を防ぐために、PCカードを取り扱う際は、次のことにご注意ください。

- PCカードを折り曲げたり、強い力や衝撃を加えたり、落としたりしないでください。
- 静電気や磁気的、電気的ノイズの発生しやすいところでの使用・保管は避けてください。
- 高温多湿のところ、ほこりの多い場所、および侵食性の高い環境での使用・保管は避けてください。
- コネクタ部にごみや異物を入れないでください。
- アップロード中にPCカード、本体の電源コードを抜かないでください。アップロード中のファイルはアップロードされない場合があります。また、ファイルを破壊するおそれがあります。

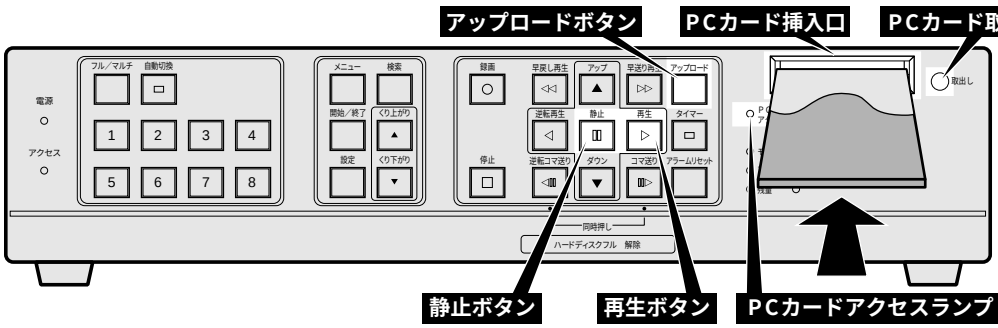
データについて

お客様または第三者がPCカードの使いかたを誤ったり、PCカードが電気的ノイズの影響を受けたり、故障・修理したりしたときに、アップロードしたデータが消失することがあります。アップロードしたデータの消失による損害については当社は一切責任を負いません。ご了承ください。

PCカードにデータをアップロードする

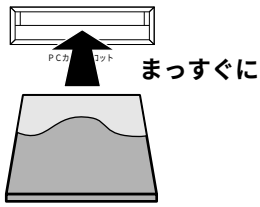
内蔵のハードディスクの記録データを、PCカードにアップロードすることができます。
日付・時刻を設定しない状態でアップロードを行うと、正しく動作しません。必ず日付・時刻を設定している状態で操作してください。

お知らせ
- PCカードの取り扱いについて、詳しくは84ページをお読みください。



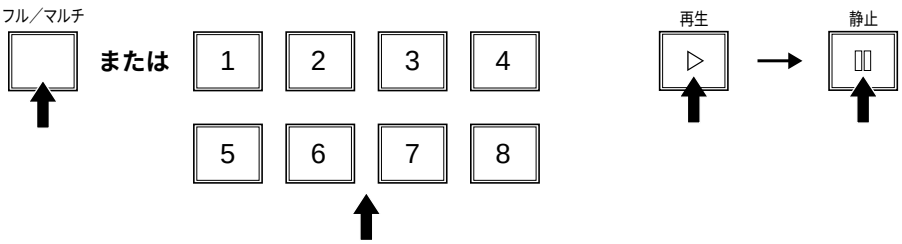
1 PCカードを入れる

- PCカード挿入口にまっすぐに入れて、しずかに差し込みます。
- PCカードアクセスランプが点滅します。



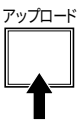
2 アップロードしたい映像を選び、静止画再生する

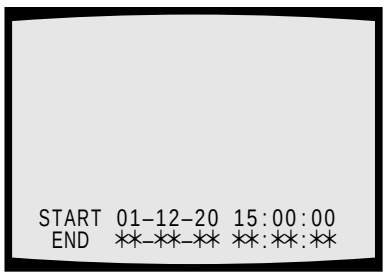
- 再生し、アップロードしたい映像を選んで、静止ボタンを押してください。



3 アップロードボタンを押す

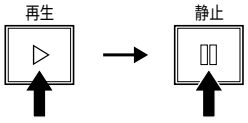
- 手順 ❷ で選んだ映像が、アップロードの開始時間に設定されます。
- 1映像のみをアップロードしたいときは、手順 ❺ にお進みください。





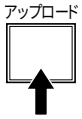
4 再び映像を再生し、アップロードを終了したいところで静止画再生する

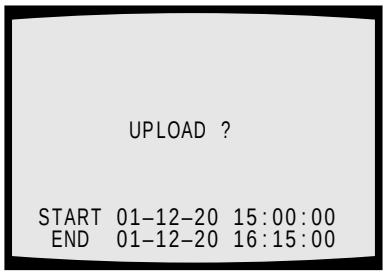
- 再生ボタンを押して再生し、アップロードを終了したいところで静止ボタンを押してください。



5 アップロードボタンを押す

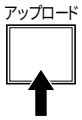
- 手順❹で選んだ映像が、アップロードの終了時刻に設定されます。
- 画面に「UPLOAD？」が表示され、アップロード開始確認画面になります。

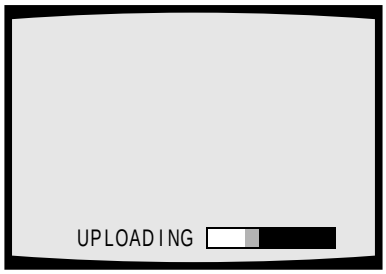




6 アップロードボタンを押す

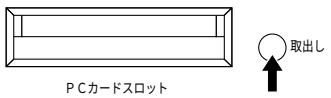
- アップロードが開始され、PCカードアクセスランプが点滅します。
- アップロード中は、画面に「UP-LOADING ■■■」が表示され、アップロードの経過をお知らせします。
- アップロードが終わると、通常画面に戻ります。





7 アップロードが終わったら、PCカードを取り出す

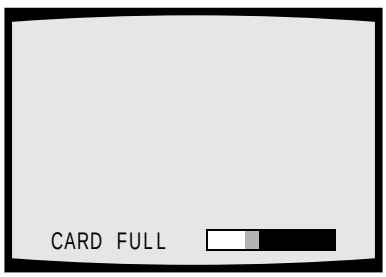
- PCカード取り出しボタンを押してPCカードを取り出してください。
- アップロードしたデータは、Windows®パソコンで見ることができます。
- Windows®パソコン用のアプリケーションソフトについては、お買い上げの営業もしくは販売店にお問い合わせください。



お知らせ
- PCカードが取り出しにくい場合は、再度PCカードを挿入した後、取出しボタンを少し強めに押して、PCカードを取り出してください。

PCカードのメモリーがいっぱいのときは

画面に「CARD FULL」が点滅表示され、アップロードが完了できなかったことをお知らせします。このときアップロードボタン、または停止ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。



「R/W ERROR」のメッセージが出たら

次の順序で確認・処置を行ってください。

① 時刻が設定されていますか？
　時刻の設定を行ってください。
② もう一度、アップロードの操作を行ってください。
　85ページからのアップロード操作をもう一度行ってください。
③ PCカードのメモリーがいっぱいになっていませんか？
　Windows®パソコンで確認してください。

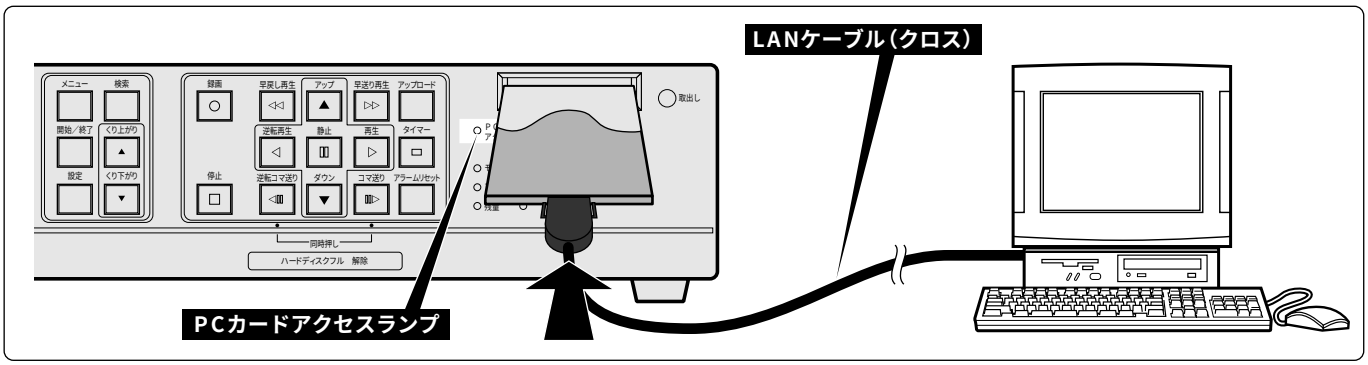
以上の処置を行っても改善されないときは、Windows®パソコンでPCカードの内容を確認の上、初期化してください。

お知らせ
- **PCカードを挿入した直後やアップロード中は、本機のPCカードアクセスランプが点灯します。ランプ点灯中にPCカードを抜かないでください。**
  PCカードアクセスランプが点灯中に、誤ってPCカードを抜いてしまった場合、その後PCカードを挿入してもアップロード動作をしなくなる場合があります。この場合は、システムリセット 92 を行ってください。
- PCカードのデータを消去するときも、パーソナルコンピュータ側で行ってください。
- 本機に未対応のPCカードを入れると「CARD ERROR」が表示され、データをアップロードすることはできません。
- PCカードが初期化されていない場合、「UNFORMAT」と表示されアップロードすることはできません。Windows®パソコンで初期化してください。
- 10分割または4分割でアップロードした場合は、記録されているすべてのチャンネルの映像がアップロードされます。
- PCカードにアップロードしたデータは、Windows®パソコンでご確認ください。

LAN機能を使う

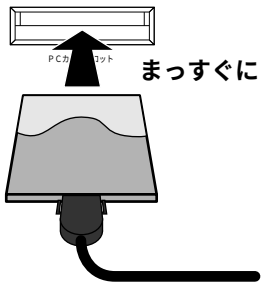
**内蔵のハードディスクの記録データを、本機の記録動作を継続しながら、記録済のデータをWindows®パソコンにアップロードできます。
また検索等をすることもできます。**

お知らせ
- PCカードの取り扱いについて、詳しくは84ページをお読みください。



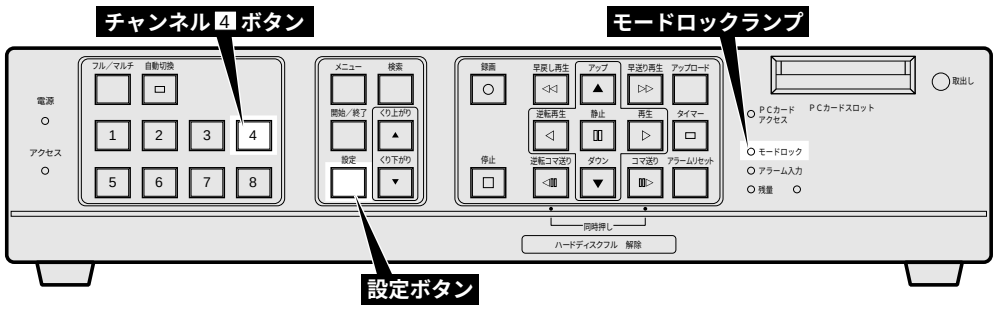
1 Windows®パソコンと接続したPCカードを入れる

- Windows®パソコンとPCカードの接続には、LANケーブル（クロス）をご使用ください。
- PCカード挿入口にまっすぐに入れて、しずかに差し込みます。
- PCカードアクセスランプが点滅します。
- Windows®パソコン用のアプリケーションソフトについては、お買い上げの営業もしくは販売店にお問い合わせください。

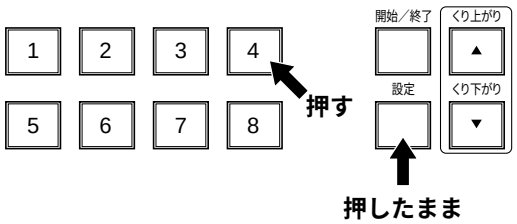


誤操作を防ぐ（モードロック機能）

ボタンを押しても受け付けないようにすることができます。



1 設定ボタンを押したまま、チャンネルボタン 4 を押す



- モードロックがかかると、モードロックランプが点灯（緑）し、第2画面に「L」が表示されます。

モードロックを解除するには

もう一度設定ボタンを押したまま、チャンネルボタン 4 を押してください。モードロックランプと、第2画面の「L」表示が消えて、解除されます。

メモ

モードロック中でも、次の操作は受け付けます。

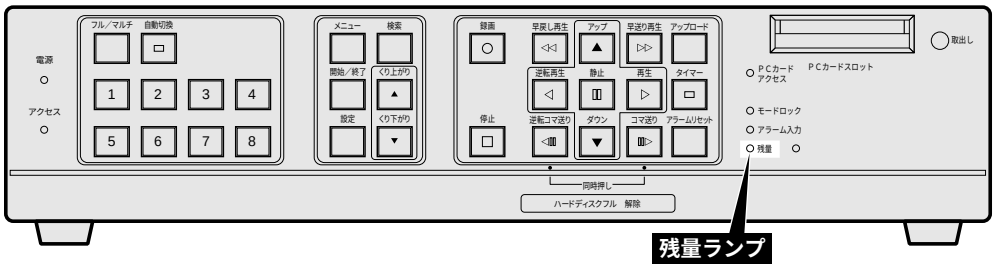
- RS-232C端子を介した操作
- 本機後面のアラーム入力
- リセットボタンを押して、工場出荷時の状態にするリセット（オールリセット）
- 設定ボタンを押しながら、チャンネルボタン 1 を押した本機のリセット（システムリセット）
- 画面の切り替え（くり上がり／くり下がりボタン） 13

お知らせ

- 記録中にモードロックを設定した映像を再生した場合、再生中にモードロックが設定されていなくても第2画面に「L」が表示されます。

ハードディスクの残量がなくなると

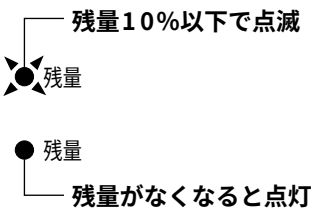
ハードディスクの残量が10%以下になると、残量ランプが点滅してお知らせします。



残量ランプについて

ハードディスクの残量が10%以下になると残量ランプが点滅します。ハードディスクの残量がなくなると、残量ランプが点滅から点灯に変わります。
残量ランプが点滅、または点灯するのは次の記録の場合です。

- リサイクル記録で「STOP」を選んでいるとき 36
- リサイクル記録で「STOP IF ALARM」を選んでいるとき 36



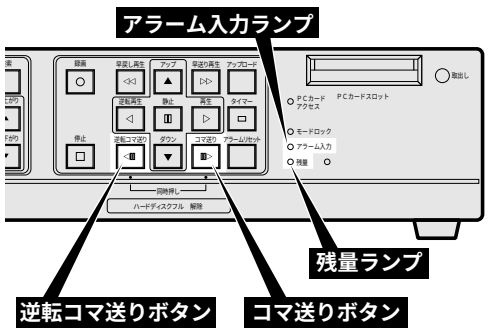
ハードディスクの残量がなくなったときは

ハードディスクの残量がなくなると、記録を続けることはできません。必要なデータをPCカードにアップロードした後、ハードディスクフルを解除してから記録してください。

- PCカードに必要なデータをアップロードする。 85

ハードディスクフルを解除する

逆転コマ送りボタンとコマ送りボタンを同時に約4秒以上押し続けて、ハードディスクフルを解除してください。残量ランプが消灯します。
録画ボタンを押すと、再び記録が開始します。



お知らせ

ハードディスクフルを解除すると

- 画面の警告表示「HDD FULL」が消え、ハードディスク残量を示す数値は「100%」表示となります。
- アラーム数をお知らせするアラーム表示は「A00」になります。
- アラーム入力ランプが消灯します。

「STOP IF ALARM」や「STOP」を選んでいるときは、残量がなくならなくてもハードディスクフルを解除できます。ハードディスクフルを解除すると残量は100%となります。

故障かな…と思ったら

下記のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、アフターサービスについては、96ページをご覧ください。

症　状	お調べください	処　置	参照ページ
電源ランプが点灯（赤）しない	● 電源入力端子から、電源コードが抜けていませんか。 ● 電源コードはコンセントに差し込まれていますか。	● 電源コードを電源入力端子とコンセントに差し込んでください。	16
ボタンを押しても受け付けない	● モードロックランプが点灯（緑）していませんか。点灯しているときはモードロック中です。	● 設定ボタンを押したまま、チャンネル 4 を押して、モードロックを解除してください。	88
オートスイッチャー中、映像が出ない	● 映像信号は入力されていますか。	● 入力されていないチャンネルは、自動的にスキップされます。	26
	● カメラからの接続ケーブルが断線していませんか。	● 接続ケーブルが断線していないか確認してください。	—
	● チャンネルスキップされていませんか。	● オートスイッチャー設定画面で「SKIP」以外の秒数を選んでください。	58
黒い画面が表示される	● 映像信号は入力されていますか。	● 入力されていないチャンネルは黒く表示されます。	20
	● チャンネルスキップされていませんか。	● オートスイッチャー設定画面で「SKIP」以外の秒数を選んでください。	59
オートスイッチャーが動作しない	● メニュー画面を表示していませんか。	● メニューボタンを押してメニュー画面を消してください。	—
チャンネルの映像を切り換えられない	● 静止画再生モードになっていませんか。	● 通常の再生モードにしてください。（静止画再生中は映像を切り換えることができません。）	—
10分割画面が表示できない	● 入力されている映像が4つ、もしくは4つ以下ではありませんか。	● 入力する映像を増やし、フル／マルチボタンを押して、10分割表示にしてください。	20
	● 映像が4つ以上「SKIP」に設定されていませんか。	● オートスイッチャー設定画面で「SKIP」以外の秒数を設定し、フル／マルチボタンを押して、10分割表示にしてください。	58
10分割中、黒い画面がある。	● そのチャンネルは、入力されていますか。	● 入力されていないチャンネルは黒く表示されます。	22
	● スキップの設定をしていませんか。	● スキップの設定を解除してください。	58
10分割表示の下半分を並べかえることができない	● 再生中ではありませんか。	● 10分割表示の再生画面下半分はは並べ替えることができません。	25

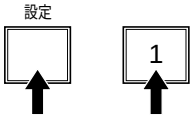
症　状	お調べください	処　置	参照ページ
タイマー録画ができない	● 残量ランプが点灯していませんか。	● コマ送りボタンと逆転コマ送りボタンを4秒以上押して残量ランプを消してください。	37 89
	● 日付、時刻を設定しましたか。	● 時刻設定画面で、設定をしてください。	18
	● タイマー予約の設定をしましたか。	● タイマー設定画面で、設定をしてください。	44
	● タイマーボタンを押して、タイマーランプを点灯させていますか。	● タイマーボタンを押してタイマースタンバイ状態にしてください。	44
アラーム記録ができない	● 残量ランプが点灯していませんか。	● コマ送りボタンと逆転コマ送りボタンを4秒以上押して残量ランプを消してください。	37 89
	● センサーなどとアラーム入力端子を正しく接続していますか。	● 正しく接続してください。	14
再生中、自動的に静止画再生になってしまう	● 記録の最後まで再生すると、自動的に静止画再生になります	● 再生を続けたいときは、再生ボタン、静止ボタンを押してください。	39
再生ボタンを押すと、記録のはじめに戻って再生をはじめる	● 記録→停止→再生ボタンで記録のはじめから再生します。 再生→停止→再生時は、停止していたところから再生します。	———	39
逆転再生中、自動的に静止画再生になってしまう	● 記録の最初まで再生すると、自動的に静止画再生になります。	● 逆転再生を続けたいときは、逆転再生ボタン、静止ボタンを押してください。	42
残量ランプを消灯できない	● 同時押しを4秒以上行いましたか。	● コマ送りボタンと逆転コマ送りボタンを4秒以上押して残量ランプを消してください。	37 89
	● モードロックしていませんか。	● 設定ボタンを押したまま、チャンネル 4 を押して、モードロックを解除してください。	88
アラーム検索すると、NO DATAと表示され検索できない	● アラーム記録をしましたか。	● アラーム記録をしてください。	14、51
	● アラーム記録部分を上書きしていませんか。	● アラーム記録部分を上書きしないよう、リサイクル設定をしてください。	35
時分割検索すると、NO DATAと表示され検索ができない	● 検索時に指定した日は記録されていますか。	● 記録されている日付に再設定をしてください。	72
日付・時刻表示が、自動的に別の表示になってしまう	● 入力していた信号が無くなると、CHn LOSTを表示します。	● くり上がりボタン、くり下がりボタンで第1画面表示にしてください。	13
	● ハードディスクの残量がなくなると、HDD FULLを表示します。	● くり上がりボタン、くり下がりボタンで第1画面表示にしてください。	13
フル画面表示できない	● そのチャンネルをスキップ設定していませんか。	● SKIPの設定を解除してください。	58
	● そのチャンネルは入力されていますか。	● 入力してください。 ● カメラからの映像信号を確認してください。	21

故障かな…と思ったら（つづき）

症　状	お調べください	処　置	参照ページ
4分割中、黒い画面がある	● そのチャンネルは、入力されていますか。	● 入力されていないチャンネルは黒く表示されます。	22
	● スキップの設定をしていませんか。	● スキップの設定を解除してください。	58
オートスイッチャーが動かない	● 再生モードになっていませんか。	● 停止状態にしてください。	26
オートスイッチャーで表示されないチャンネルがある	● 信号は入力されていますか。	● 信号を入力してください。	26
	● SKIPの設定をしていませんか。	● SKIPの設定を解除してください。	58
録画できない	● モードロックしていませんか。	● 設定ボタンを押したまま、チャンネル 4 を押して、モードロックを解除してください。	88
	● 残量ランプが点灯していませんか。	● コマ送りボタンと逆転コマ送りボタンを4秒以上押して残量ランプを消してください。	37 89
	● 再生モードになっていませんか。	● 停止ボタンを押して停止状態にしてください。	39
RS-232Cを使って制御できない	● ケーブルは接続されていますか。	● 正しく接続してください。	75
	● ケーブルの種類は合っていますか。	● クロスケーブルを使用してください。	75
	● コマンドは間違っていませんか。	● 確認してください。	77
PCカードにアップロードできない	● PCカードの空き容量はありますか。	● Windows®パソコンで確認してください。	84
	● 未対応のカードではありませんか。	● 推奨のものをご使用ください。	84
	● PCカードはフォーマットされていますか。	● Windows®パソコンでフォーマットしてください。	84
	● 時刻は設定されていますか。	● 時刻の設定をしてください。	18
	● PCカードが破損していませんか。	● Windows®パソコンで確認してください。	—
LAN機能が使えない。	● IP ADDRESSおよびSUB NET MASKが設定されていますか。	● IP ADDRESSおよびSUB NET MASKを設定してください。	82
	● 推奨のLANカードを使用していますか。	● 推奨のLANカードを使用してください。	84
	● ケーブルの種類は合っていますか。	● LANケーブル（クロス）を使用してください。	87

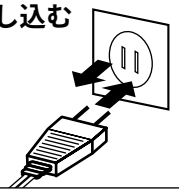
上記以外の異常な動作が発生したときは…

設定ボタンを押しながらチャンネル 1 ボタンを押す（システムリセット）



直らない

電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込む



直らない

リセットボタンを押す
（日付・時刻や設定内容など、すべてが工場出荷時の値になります。ご注意ください。）

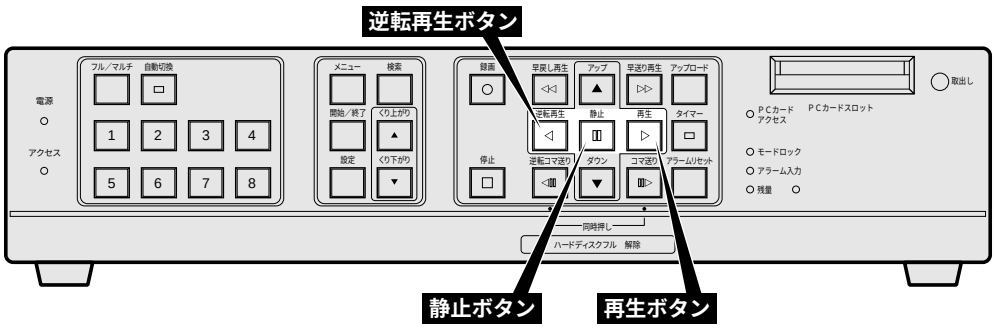
直らない

お買い上げの販売店へご連絡ください。

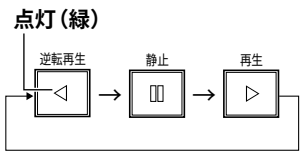
OSD第2画面の警告表示について

表示の優先順位	表示内容	意　味	対処方法
1	HDD ERROR M-HDD ERROR S-HDD ERROR	マスター／スレーブ両方のハードディスクが未接続である。 マスター側のハードディスクが未接続である。 スレーブ側のハードディスクが未接続である。	販売店へお問い合わせください。
2	NO HDD LIFE	ハードディスクのエラー数が限度をオーバーした。	販売店へお問い合わせください。
3	FAN TROUBLE	FANが回転しない。	販売店へお問い合わせください。
4	CHn LOST （nはチャンネル番号）	電源投入時にあった信号がなくなった。	入力が正しく接続されているか確認してください。
5	CARD ERROR	本機では未対応のカードがPCカードスロットに挿入されている。	推奨のPCカードをお使いください。84
6	HDD FULL	ハードディスクが一杯であり、記録できない。	ハードディスクフルを解除をしてください。
7	n%（n＝1～100）	ハードディスクに記録できる残量を表示する。	

記録中断時のランプ表示

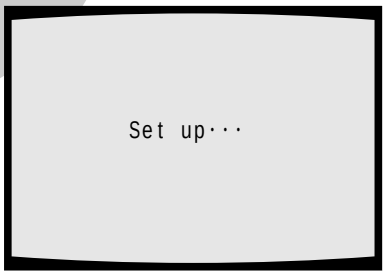


- 記録中の中断時は、逆転再生／静止／再生ボタンのランプが順番に点灯（緑）します。トラブルから復帰すると消灯し、記録を再開します。

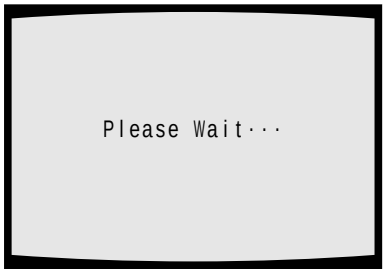


逆転再生／静止／再生ボタンのランプが順番に点灯（緑）します。

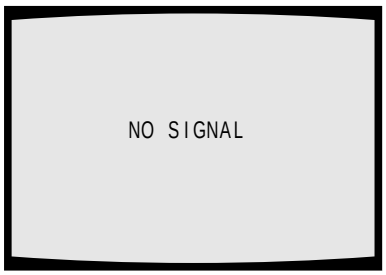
メッセージについて



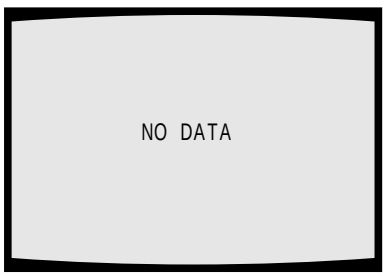
- 電源を入れた直後や、リセットしたときに約10秒間表示されます。
- このメッセージが表示されているときに録画モードにすると、正常な映像が録画されません。記録するときは、このメッセージが消えて映像が映し出されてから始めてください。



- 検索中に、約1秒表示されます。
- 停止から再生（再生から停止）を行うときに約1秒表示されます。



- VIDEO IN端子（1～8）に1つも映像を入力していないときに表示されます。
- 上記を記録して再生したときも表示されます。



- 録画されていない状態で、再生したときに表示されます。

ラックに取り付ける

設置上のお願い

- 設置するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本機側面の通風孔や、および後面の放熱ファンをふさがないでください。また、壁などに近づけて設置しないでください。
- ラックに取り付けるときは、ラック内の温度が35℃以上にならないようにしてください。必要に応じて、ラックへ放熱ファンを取り付けてください。
- 本機の上下に熱を多く発生する機器（アンプなど）を取り付けないでください。やむをえず取り付ける場合は、上下の機器と本機1台以上の間隔をあけてください。
- 本機の移動は、電源コードを抜いて30秒以上たってから行ってください。
  ハードディスクの故障の原因となります。

取り付けかた

付属のラック取り付け金具を、取り付けネジ（M4×8）を使って本機に取り付けたあと、市販のラック用取り付けネジ4個を使って、EIAラックに設置します。

1 底面のゴム足を取り外す

- ゴム足を固定しているネジ（4本）を、ドライバーを使って外してください。

2 本機の両側面にある、ラック取り付け金具用ネジを外す

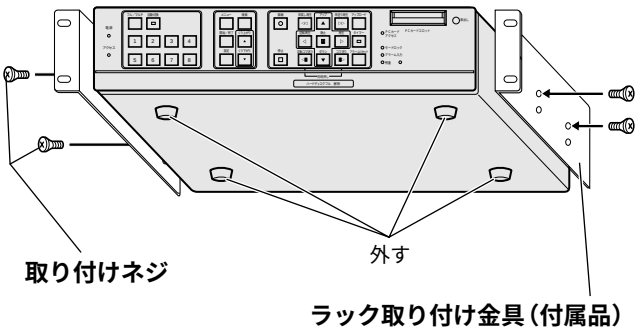
- 取り付けネジ（M4×8）4個を本機から取り外してください。

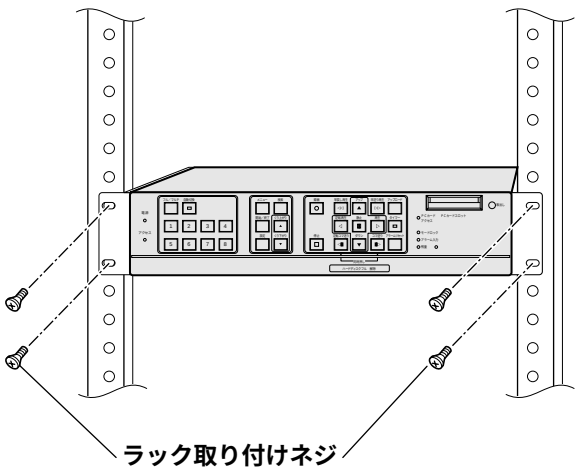
3 取り付け金具を取り付ける

- 本機の側面に合わせて取り付け金具を取り付けネジでしっかり固定してください。

4 本機をラックに取り付ける

- 市販の取り付けネジで、しっかり固定してください。（4か所）





お知らせ

- 上下に取り付ける機器の発熱量に注意し、ラック内の温度が本機の使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。やむをえず、発熱量の多い機器を上下に設置するときは、本機1台以上の間隔をあけてください。
- 本機をラックに取り付けないときは、底面のゴム足を外さないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証書（別添）について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このデジタルレコーダーの補修用性能部品（ハードディスクドライブは相当品）を、製造打切後８年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙ご相談窓口一覧表（黄色用紙）の窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。

転居にともない本機を設置する環境（建物内部の配線等）が変わると、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、設置業者による配線工事や調整が必要です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（90～93ページ）をお調べください。それでも不具合な場合は、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
なお、デジタルレコーダーの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	デジタルレコーダー
形　名	DS-H40形
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技　術　料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部　品　代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出　張　料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は、保守員を派遣して装置の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ハードディスクドライブと放熱ファンは消耗部品です。3年を目安に交換してください。（目安であり、保証ではありません。）

別売品のご紹介

カラービデオカメラ		
VK-C77MK2 ●ズームレンズ内蔵	**VK-C306/VK-C336** ●バリフォーカルレンズ内蔵	**VK-C456** ●バリフォーカルレンズ内蔵
VK-C170 ●カメラレンズ別売	**VK-C838** ●固定レンズ内蔵	**VK-C858/VK-C878** ●バリフォーカルレンズ内蔵

白黒ビデオカメラ	
VK-M17 ●カメラレンズ別売	**VK-M306** ●バリフォーカルレンズ内蔵

カラーモニター	
CT-1460（14型） 	**CT-2160（21型）**

仕　様

形式	DS-H40形
圧縮方式	JPEG
記録メディア	HDD（60GB×2）
ビデオ入力	8入力　BNC接栓　1.0Vp-p　75Ω
スルー出力	8出力　BNC接栓　1.0Vp-p　75Ω
ビデオ出力	2出力　BNC接栓　1.0Vp-p　75Ω
アラーム入力	8入力
分割表示	1、4、10分割
画質	FINE、STANDARD、MIDDLE、LONG（4段階）
画素数	704（H）×240（V）（FINE、STANDARD）、 352（H）×240（V）（MIDDLE、LONG）
記録間隔	0.03秒～60秒
プリアラーム記録	0秒　3秒 または 5秒
ポストアラーム記録	0秒　5秒 または 10秒
タイマー記録	2PRO／日、7PRO／週
再生方法	フル画面、4分割、10分割再生
再生モード	通常再生（正、逆）、早送り再生／早戻し再生、 コマ送り再生（正、逆）、静止画再生
トラブル検出出力	ワーニング出力（入力信号異常、HDD異常、ファン異常） （後面CONTROL端子より出力）
検索機能	タイムデートサーチ、時分割検索（サムネール画面表示） アラーム検索（サムネール画面表示）
通信機能	RS-232C（外部コントロール）
アップロード	フラッシュメモリーカード、HDDカード（PCMCIA）
電源	AC 100V　50/60 Hz
消費電力	約46W
許容動作温度	5～40℃
許容相対湿度	10～75%
質量	約8.2kg
付属品	電源コード1本、EIAラック取り付け金具2個
外形寸法	幅420×高さ88×奥行350mm

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このデジタルレコーダーは日本国内専用です。電源電圧、信号方式の異なる外国ではお使いになれません。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120ー3121ー68

FAX 0120ー3121ー87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120ー3121ー11

FAX 0120ー3121ー34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所 在 地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌２条４－１－１０
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町１－１－４５
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野２－７－５（日立家電上野ビル）
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区川宮町５５(日立家電守山ビル)
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町１－３－８
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町１－７－１７
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町４２８５－１４３
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町７－１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

ご購入店名：　　後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

電話（　　—　　—　　）　ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号
が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ニーズにおこたえする窓口
0120-312119
家電ビジネス情報センター 平日午前9時～午後5時30分、土・日・祝日は休業

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

QR32109 ©Hitachi, Ltd. 2001

Printed in Japan OH-G(HE)